

## 綾森林生態系保護地域における保護林及び保存地区の拡張について

## 1 保護林及び保存地区拡張の背景及び目的

綾森林生態系保護地域に隣接した「てるは郷土の森」は、照葉樹林都市を宣言する綾町のシンボリックな存在である照葉大吊り橋周辺の照葉樹林を適切に保存するとともに、国民の余暇や保健休養の増進、森林の持つ公益的機能等を学ぶ森林環境教育の場としても活用を図ることで、地域の振興に寄与することを目的に綾の照葉樹林プロジェクトの立ち上げと合わせ、平成 17 年度に保護林に設定された。

しかしながら、平成 27 年 9 月の保護林制度の改正により、今後、「郷土の森」は保護林区分から外れることとなり、「てるは郷土の森」は隣接する綾森林生態系保護地域への統合の可能性について検討を行うこととなっている。

また、既設の綾森林生態系保護地域は、日本最大級の照葉樹林を含む貴重な森林生態系を保護する目的で、平成 19 年度に設定された。本保護林の保存地区（コアエリア）は、原生的な天然林として、森林生態系の厳正な維持を図ることを目的に、必要なまとまりと広がり性を考慮して区域が設定されているが、比較的弱齢の林齢 80 年生以下の天然林であっても、原生的な天然林の中に介在する林分等については、保存地区として位置付けられている。また、保全利用地区（バッファゾーン）は、保存地区に外部の影響が直接及ばないよう緩衝の役割を果たすために、必要な広がり性を考慮して区域が設定されている。

なお、平成 28 年度に綾町ユネスコエコパーク推進室による動植物の調査がなされ、保全利用地区で希少な動植物が新たに確認されたことから、綾森林生態系保護地域の保全利用地区の一部について、保存地区への追加設定の可能性についての検討を行うこととなっている。

## 2 位置及び区域

当該地域は、宮崎県東諸県郡綾町及び小林市須木に位置し、大淀川森林計画区の一部として宮崎森林管理署が管轄している。

綾森林生態系保護地域及びてるは郷土の森の位置図を図 1 及び図 2 に示す。



図 1 綾森林生態系保護地域及びてるは郷土の森 位置図

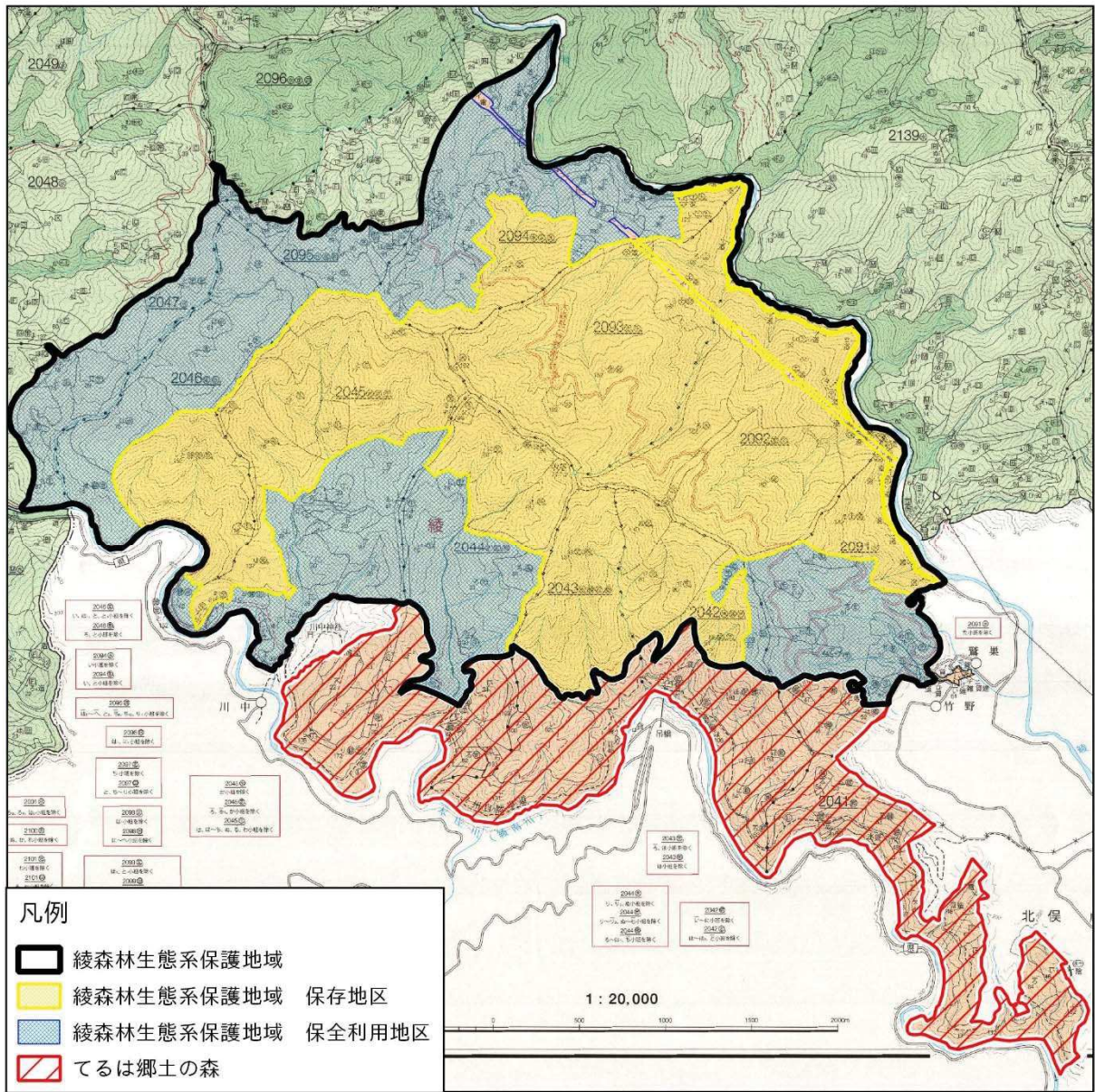


図2 綾森林生態系保護地域及びてるは郷土の森 ゾーニング図

### 3 気候・地形・地質

#### (1) 気候

気象庁の「メッシュ平年値 2010」データ（統計期間 1981 年～2010 年）を用いて綾森林生態系保護地域が重なる 25 メッシュの平均値を算出すると、年平均気温は 14.2℃、最寒月の月平均気温は 3.5℃（1 月）、暖かさの指数は 111.9℃・月である。

また、年降水量は 2921.7mm で、6 月から 8 月にかけて多くなっている。一方、11 月から 1 月にかけては降水量が少なく、月 100mm にも満たない。

表 1 綾森林生態系保護地域周辺の気象

地点	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
綾森林生態系 保護地域周辺 25メッシュ集計	平均気温(°C)	3.5	5.1	8.7	13.5	17.4	20.4	24.3	24.1	21.5	15.9	10.7	5.3	14.2
	最高気温(°C)	9.5	11.2	14.6	19.8	23.0	25.0	29.2	29.2	27.0	22.4	17.1	11.8	20.0
	最低気温(°C)	-2.0	-0.5	3.2	7.9	11.9	16.4	20.4	20.5	17.3	11.2	5.3	-0.2	9.3
メッシュ平年値 (1981～2010年)	降水量(mm)	81.1	115.5	228.0	239.4	277.2	531.6	420.1	407.6	310.8	138.4	98.7	73.1	2921.7
	暖かさの指数	-	0.1	3.7	8.5	12.4	15.4	19.3	19.1	16.5	10.9	5.7	0.3	111.9

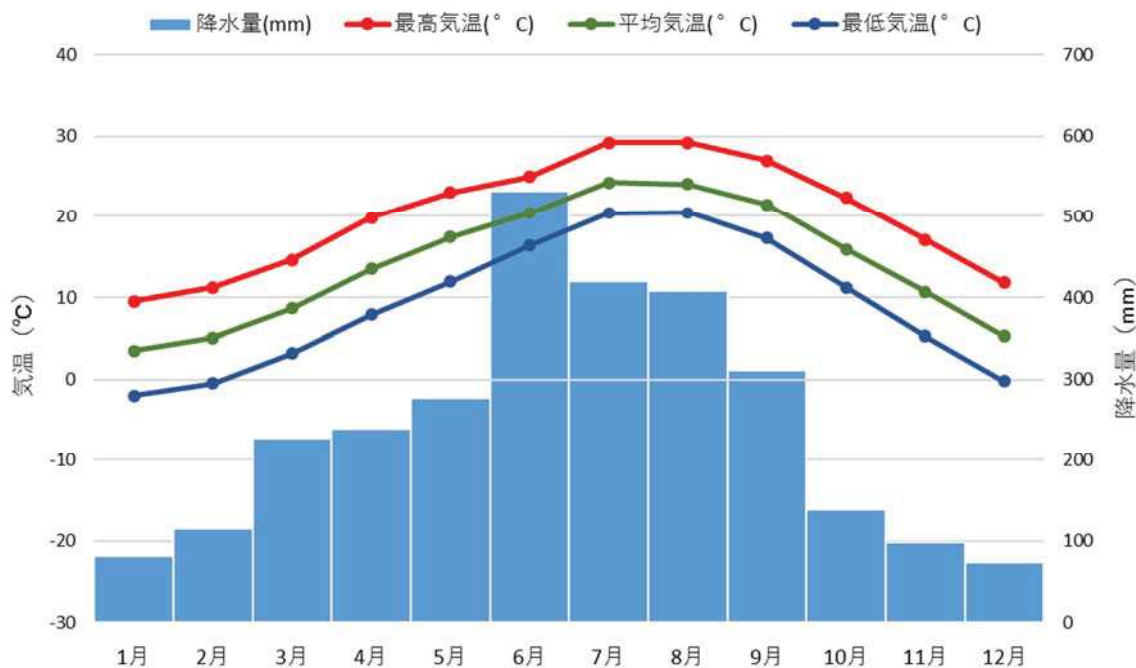


図 3 綾森林生態系保護地域周辺における気温及び降水量  
(25 メッシュでのメッシュ平年値から作成)

## (2) 地形・地質・土壌

### 1) 地形

当該地域は、奥日向山地のほぼ南端に位置している。奥日向山地は高度・起伏量ともに大きい山地で、当該地域のほぼ全体が起伏量 600m 以上の大起伏山地である。当該地域より下流の綾南川沿いは、起伏量 200~400m の小起伏山地であり、一部に主としてシラス層によって構成されている台地が見られる。

標高は、最も高いところで約 870m、最も低いところで綾南川の約 50m で、標高差は約 820m となっている。

当該地域の地形分類図を図 4 に示す。尾根部や谷部を除いて、ほとんどの斜面が傾斜 30 度以上であり、一部 40 度以上の急斜面も見られる。また、綾北川沿いには一部岩壁が見られる。

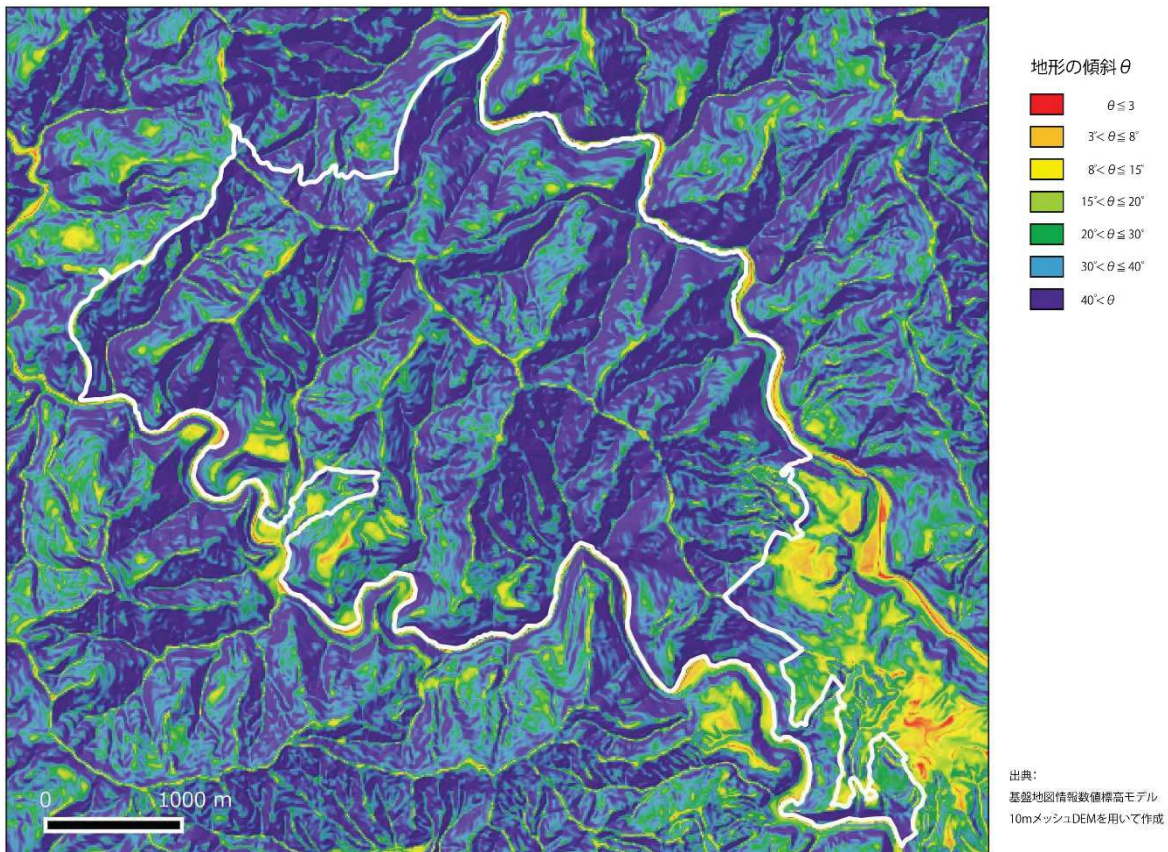


図 4 綾森林生態系保護地域周辺の地形

## 2) 地質

当該地域の表層地質図を図5に示す。当該地域は四万十累帯に属し、古第三紀の付加体である日向層群、更新世の火山岩類である加久藤火砕流堆積物及び入戸火砕流堆積物が分布する。

当該地域の日向層群は砂岩と泥岩から構成される。岩相分布の大半は成層砂岩及び砂岩優勢砂岩泥岩互層（Ss）が占め、そこに等量砂岩泥岩互層（Sa）、暗灰色泥岩・葉理シルト岩（Sm）、泥岩優勢砂岩泥岩互層（Sma）が帯状に狭在する。地層の走向は南西－北東方向で、北西方向に約20～30度の傾斜を示す。

加久藤火砕流堆積物は溶結凝灰岩からなり、当該地域の南西部尾根上付近に小規模に分布し、日向層群を不整合に覆う。

入戸火砕流堆積物は気泡の多い軽石を含むガラス質火山灰の堆積物である。当該地域の南西部にわずかに分布し、日向層群を不整合に覆う。



図5 綾森林生態系保護地域周辺の表層地質

### 3) 土壌

当該地域では、鷺巣、竹野集落付近には黒ボク土壌、尾根沿いには、乾性褐色森林土壌、山腹から沢沿いにかけては褐色森林土壌が分布している（図6）。

黒ボク土壌は、霧島火山に起因する火山灰性のもので、山腹斜面や山麓斜面では、混合母材のものが多く、礫を含み、下層は褐色の基岩風化土壌と接し、土壌の理化学性は比較的良好である。養分状態は中庸で、森林の生産力は高いと考えられる。

乾性褐色森林土壌は、乾燥しやすい山地の稜線及びその周辺部に出現し、A層及びB層上部に堅果状構造が発達しており、菌糸が認められる場合が多く、有効土層は薄く生産力は低いと考えられる。

褐色森林土壌は、大部分が山腹、山腹下部に出現する。A層は黒褐色ないし暗褐色で厚くB層との境界は漸变的であり、土壌の理化学性は一般に良好である。人工植栽の適地であり、林業的利用価値が高いと考えられる。

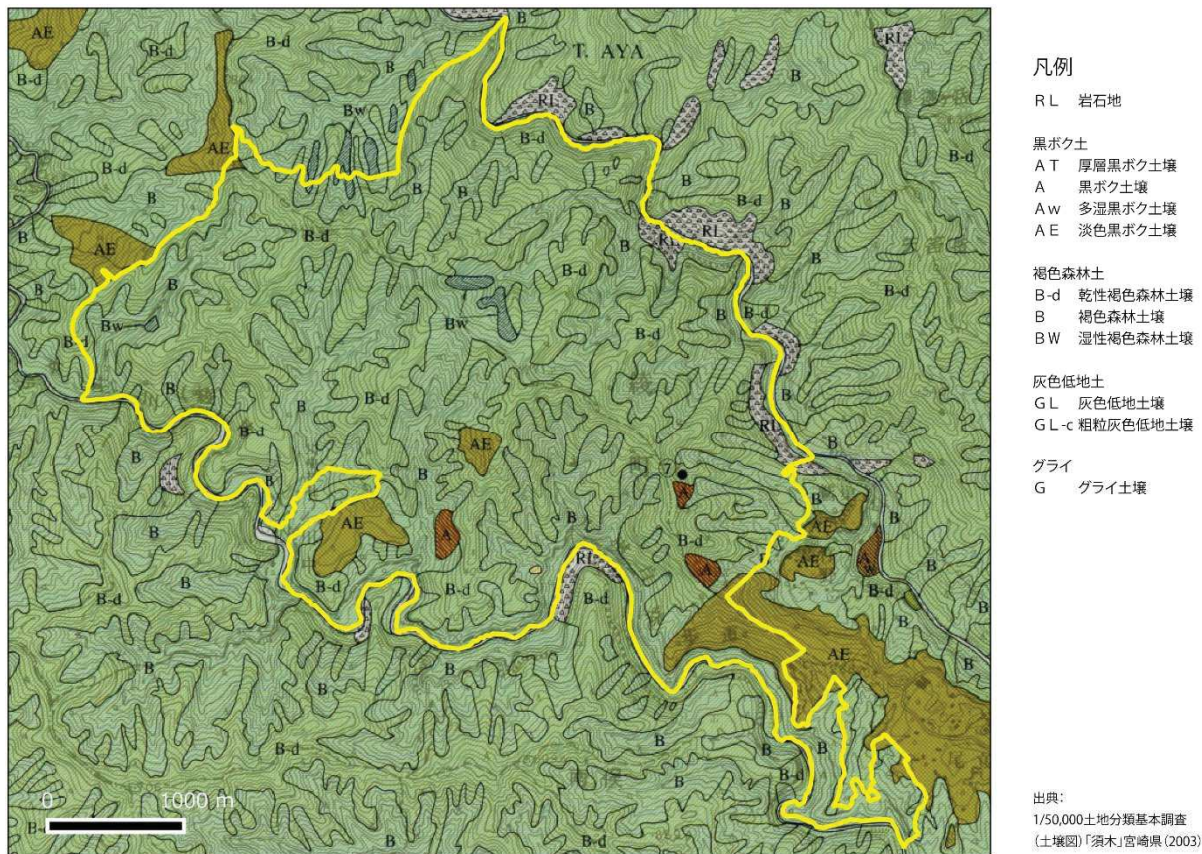


図6 綾森林生態系保護地域周辺の土壌

#### 4 植物相及びその特徴

##### (1) 植生

当該地域は、標高差や起伏量が大きいことが特徴である。そのため、斜面下部ではイチイガシ、ツブラジイ、ハナガガシなどが優占、中腹部から尾根部にかけてはイスノキ、ウラジログシ、アカガシなどが優占する森林が広がっている。これらの森林には多様な着生植物、菌従属栄養植物、寄生植物が生育しており、種多様性の高い照葉樹林が低標高から高標高まで連続して分布している。このように低標高から高標高にかけて連続した照葉樹林が残存している地域は我が国にはほとんど残っておらず、当該地域には日本の照葉樹林帯を代表する天然林が広がっている。

当該地域は標高 60m から 870m の範囲にあり、垂直的に明瞭な植生の変化が見られる。標高 60～450m 付近では、スダジイ、イチイガシ、タブノキ、ハナガガシなどの優占種で構成されるルリミノキーイチイガシ群集が見られる。また、この中でも、急崖地のような土壌の浅い部分には海拔上部にあるイスノキーウラジログシ群集や、コガクウツギーモミ群集（シキミーモミ群集）の要素を持った林分も見られる。標高 450～650m 付近では、アカガシ、イスノキ、ウラジログシが優占するイスノキーウラジログシ群集が見られる。標高 500m 付近の岩角地や標高約 650m から上部の稜線部にかけてはコガクウツギーモミ群集（シキミーモミ群集）が成立している。また、山地溪谷部にはサワグルミやカツラが優占する林分が成立している。

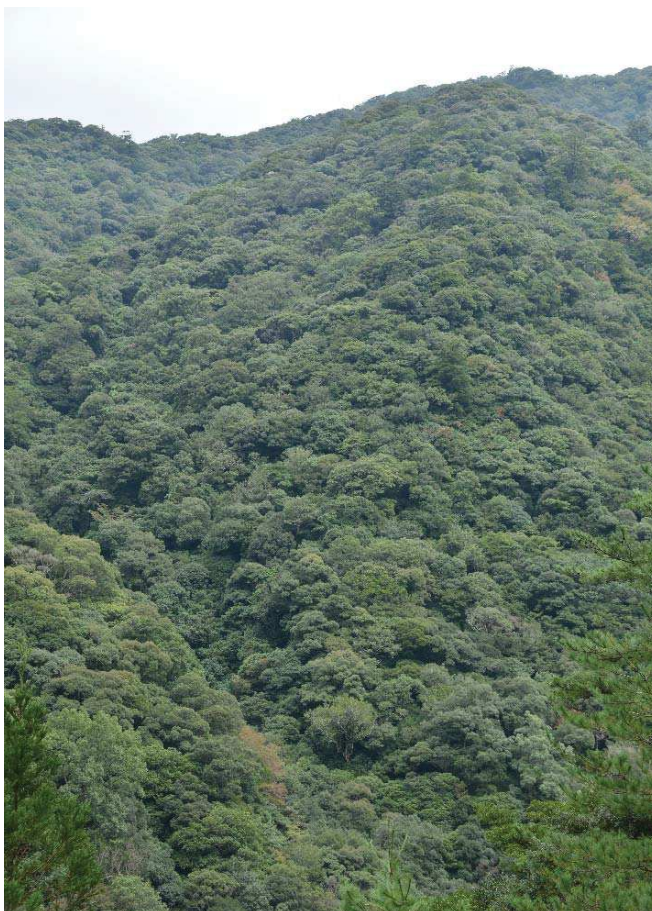
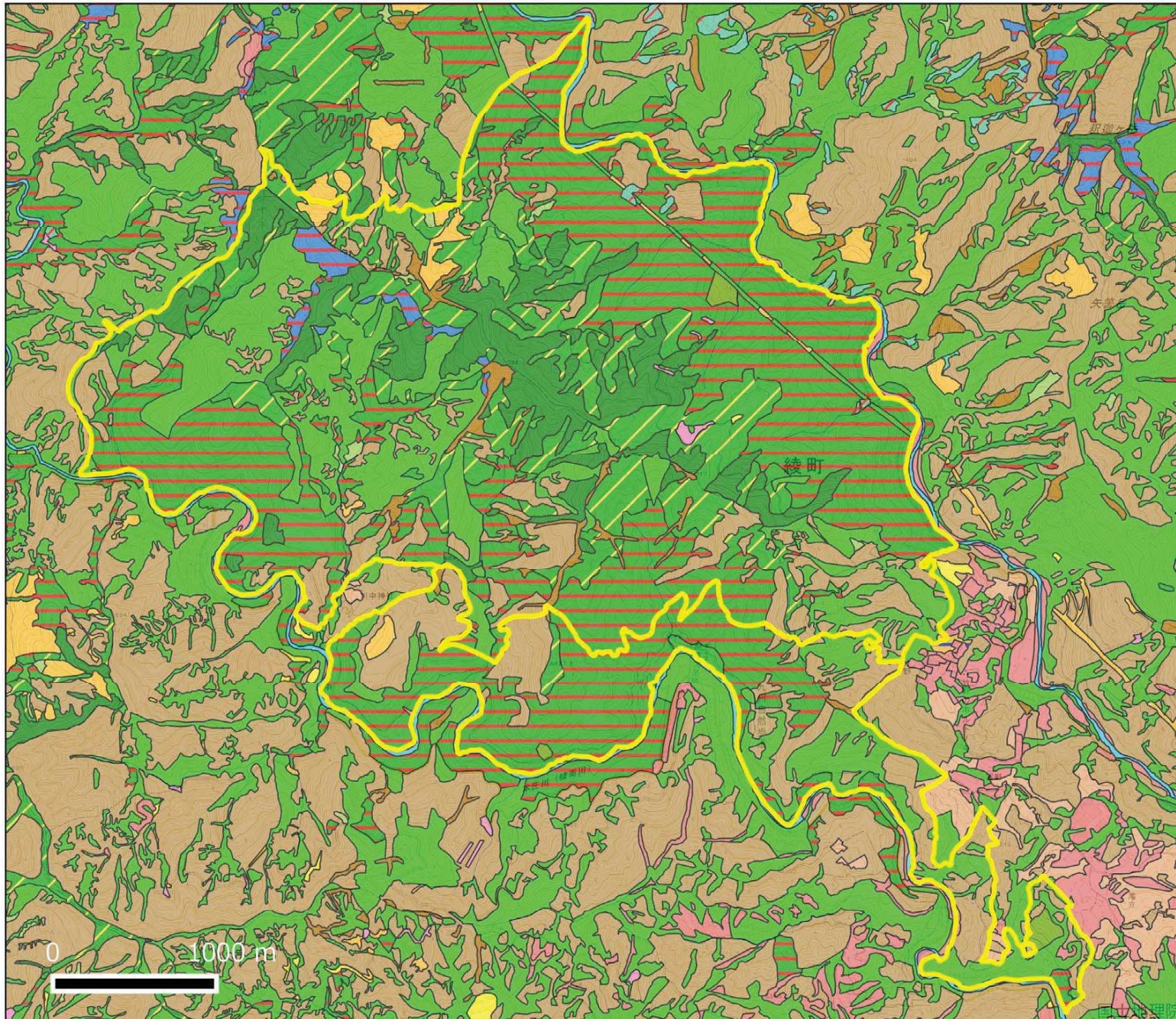


写真1 低標高地の林相  
(2046 林班：保存地区候補地)



凡例

- ルリミノキーイチイガシ群集
- イスノキーウラジロガシ群集
- シキミーモミ群集
- アラカン群落
- アカマツ群落 (VII)
- アカガシ二次林
- シイ・カシ二次林
- ミズキ群落
- アカメガシフーカフスザンショウ群落
- 低木群落
- 伐採跡地群落 (VII)
- スギ・ヒノキ・サワラ植林
- ケヤキ植林
- モウソウテク林
- ススキ群団 (VII)
- 果樹園
- 開放水域
- その他

1/25,000植生図「大森岳」GIS  
データ(環境省生物多様性セン  
ター)を使用して作成

図7 保護林の植生図



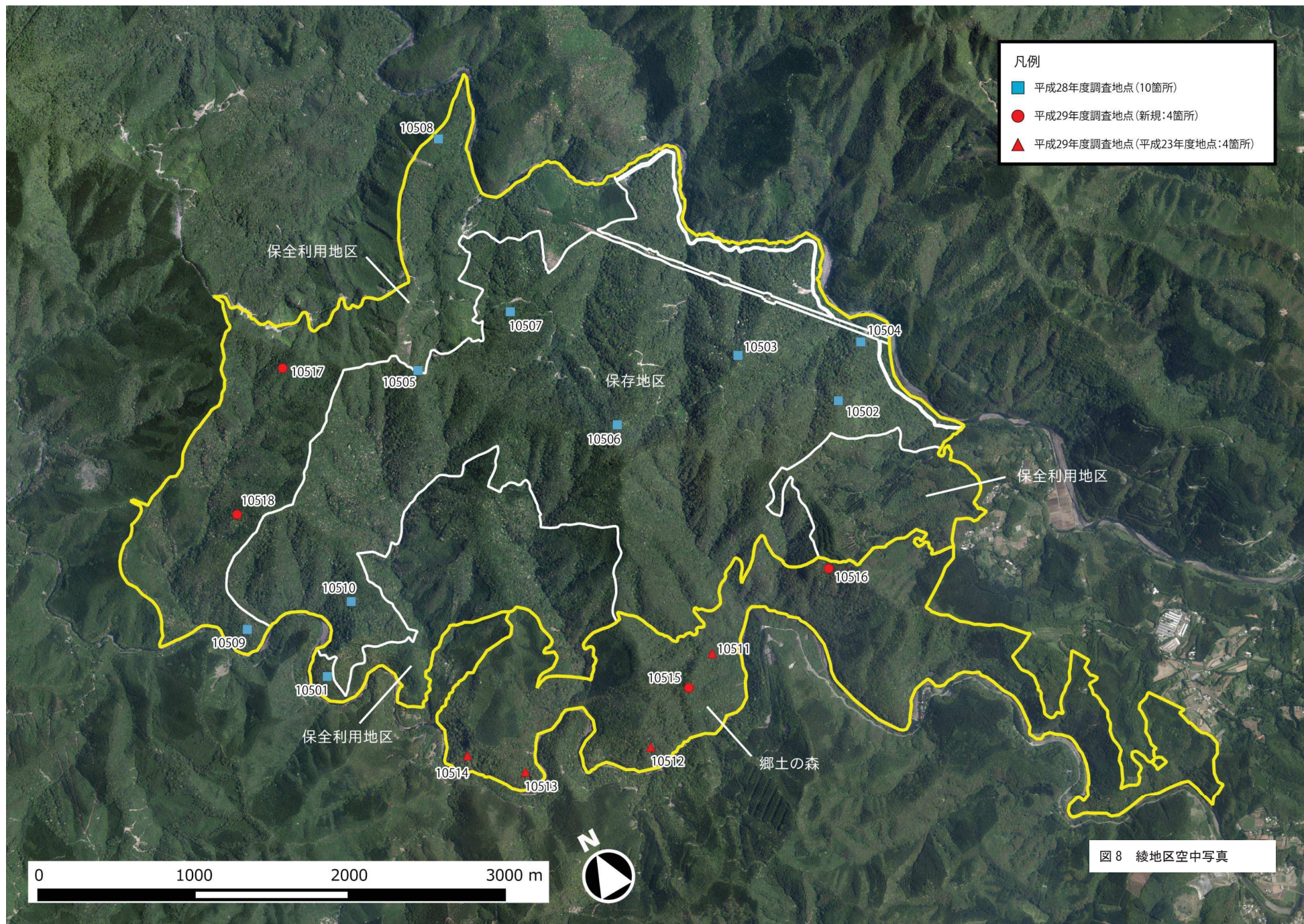




写真2 林内景観（プロット 10514：ルリミノキーイチイガシ群集）



写真3 林内景観（プロット 10517：イスノキーウラジロガシ群集）



写真4 イチイガシの巨木（プロット 10512：胸高直径 133.4cm、樹高 32.5m）



写真5 イチイガシの巨木（プロット 10514：胸高直径 145.5cm、樹高 30.7m）

## (2) 植物相

平成 22 年度に実施された「綾森林生態系保護地域保全管理計画策定のための基礎資料調査報告書」(九州森林管理局、平成 23 年 2 月) の調査結果をベースに、綾森林生態系保護地域及びてるは郷土の森においてこれまでに実施された森林調査データと既存文献等を整理した結果、当該地域において 124 科 521 種の維管束植物が確認された(表 2)。これら 521 種のうち、注目すべき種について以下に述べる。

### 1) 着生植物

空中湿度の高い溪谷沿いや、雲がかかりやすい主尾根部周辺に生育している巨木には、多数の着生植物が生育している。着生植物の生育には大径木の存在が必要であることから、多様な着生植物の存在は、当該地域がこれまで健全な森林生態系を維持してきたことを示している。

着生シダ植物は、ヒモラン、マツバラシダ、シノブ、アオガネシダ等、着生ラン類は、フウラン、ナゴラン、オサラン、ムギラン、マメヅタラン、ミヤマムギラン、ボウラン等が多く確認されている。



写真 6 ヒモラン(落下株)



写真 7 ナゴラン

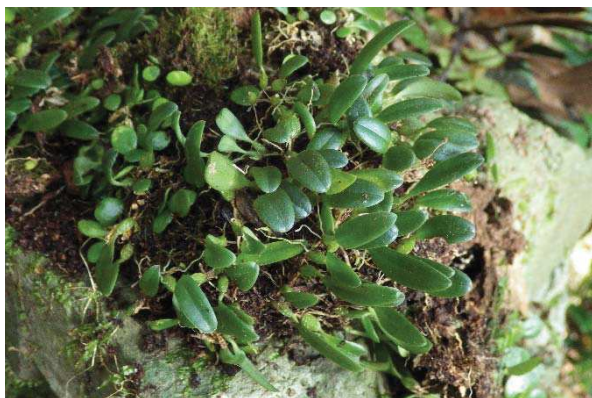


写真 8 ムギラン(落下株)



写真 9 ボウラン(落下株)

## 2) 地生ラン

地生ラン類は、これまでにヤクシマラン、キリシマエビネ、エビネ、ナツエビネ、ユウシュンラン、キンラン、シュンラン、ナギラン、クマガイソウ、ベニシユスラン、ミヤマウズラ、コ克蘭、ガンゼキラン、ヤクシマアカシユスラン等が確認されている。ただ、シカの食害が激しく減少していると考えられ、今年度に調査区内で確認できたものは、ヤクシマラン、シュンラン、ナギラン、コ克蘭の4種のみであった。



写真 10 ヤクシマラン



写真 11 ナギラン

## 3) 寄生植物と菌従属栄養植物

寄生植物は、ハイノキ類の根に寄生するツチトリモチ、イスノキの根に寄生するヤクシマツチトリモチが確認されている。また、菌従属栄養植物は、キリシマシャクジョウ、ヒナノシャクジョウ、シロシャクジョウ、ヒメノヤガラ、マヤラン、タシロラン、アキザキヤツシロラン、ハルザキヤツシロラン、ウスギムヨウラン、クロムヨウラン、ホンゴウソウ、ウエマツソウ、タカクマソウ、ギンリョウソウモドキ、ギンリョウソウ等が確認されている。



写真 12 ツチトリモチ

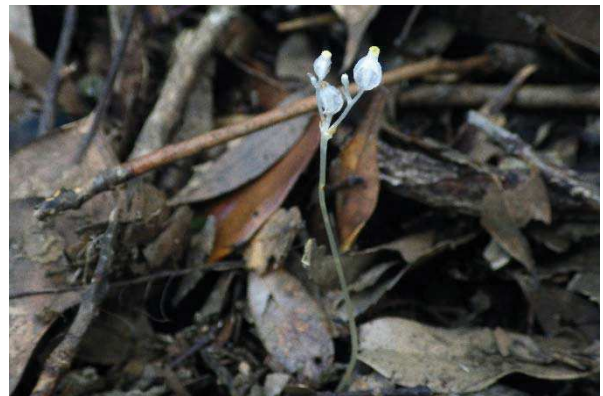


写真 13 キリシマシャクジョウ



写真 14 ホンゴウソウ



写真 15 ウエマツソウ

#### 4) その他特筆すべき植物

当該地域の照葉樹林には、地理的に分布が限られているハナガガシ、ヨコグラノキ、ズイナ、ウラジロミツバツツジ等の樹木も生育している。

#### 5) 菌類

綾の照葉樹林では、地元の研究者により菌類の調査が精力的に進められており、これまでに当該地域周辺において、日本新産 3 種を含む 288 種類の菌類が確認されている。特に谷部などの高湿度に保たれる環境では、キノミタケや発光性のシイノトモシビタケなど、多くの希少な菌類の発生が確認されている。

昨年度に綾町ユネスコエコパーク推進室が行った調査においても、保存地区への変更候補地（現在は保全利用地区）でキノミタケが確認された。また、今年度の森林調査でも 2 箇所でキノミタケが確認された。



写真 16 キリノミタケ



写真 17 シロコップタケ

表2 維管束植物確認種一覧(その1)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
1	ヒカゲノカズラ科	トウゲシバ	<i>Huperzia serrata</i> (Thunb.) Trevis.		
2		ナンカクラン	<i>Phlegmariurus hamiltonii</i> (Spreng.) A. et D.Löve		EN-r
3		ヒカゲノカズラ	<i>Lycopodium clavatum</i> L. var. <i>nipponicum</i> Nakai		
4		ヒモラン	<i>Phlegmariurus sieboldii</i> (Miq.) Ching	EN	VU-g
5	イワヒバ科	ヒメクラマゴケ	<i>Selaginella heterostachys</i> Baker		
6		カタヒバ	<i>Selaginella involvens</i> (Sw.) Spring		
7	マツバラ科	マツバラ	<i>Psilotum nudum</i> (L.) P.Beauv.	NT	VU-r
8	ゼンマイ科	シロヤマゼンマイ	<i>Osmunda banksiifolia</i> (C.Presl) Kuhn		
9		ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i> Thunb.		
10	コケシノブ科	コケホラゴケ	<i>Crepidomanes makinoi</i> (C.Chr.) Copel.	NT	CR-r
11		ウチワゴケ	<i>Crepidomanes minutum</i> (Blume) K.Iwats.		
12		コウヤコケシノブ	<i>Hymenophyllum barbatum</i> (Bosch) Baker		
13		キヨスミコケシノブ	<i>Hymenophyllum oligosorum</i> Makino		NT-g
14		ツルホラゴケ	<i>Vandenboschia auriculata</i> (Blume) Copel.		
15		ハイホラゴケ	<i>Vandenboschia kalamocarpa</i> (Hayata) Ebihara		
16	ヤブレガサウラボシ科	スジヒトツバ	<i>Cheiropleuria integrifolia</i> (D.C.Eaton ex Hook.) M.Kato, Y.Yatabe, Sahashi et N.Murak.		
17	ウラジロ科	コンダ	<i>Dicranopteris linearis</i> (Burm.f.) Underw.		
18		ウラジロ	<i>Diplopterygium glaucum</i> (Houtt.) Nakai		
19	カニクサ科	カニクサ	<i>Lygodium japonicum</i> (Thunb.) Sw.		
20	キジノオシダ科	タカサゴキジノオ	<i>Plagiogyria adnata</i> (Blume) Bedd. var. <i>adnata</i>		
21		オオキジノオ	<i>Plagiogyria euphlebia</i> (Kunze) Mett.		
22		キジノオシダ	<i>Plagiogyria japonica</i> Nakai var. <i>japonica</i>		
23	ホングウシダ科	ホラシノブ	<i>Odontosoria chinensis</i> (L.) J.Sm.		
24	イノモトソウ科	タキミシダ	<i>Antrophyum obovatum</i> Baker	EN	CR-r
25		エビガラシダ	<i>Cheilanthes chusana</i> Hook.	VU	EN-r
26		イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i> Hieron.		
27		イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i> (Thunb.) Diels		
28		シシラン	<i>Haplopteris flexuosa</i> (Fée) E.H.Crane		
29		タチシノブ	<i>Onychium japonicum</i> (Thunb.) Kunze		
30		オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i> L.		
31		イノモトソウ	<i>Pteris multifida</i> Poir.		
32		ヤワラハチジョウシダ	<i>Pteris natiensis</i> Tagawa	EN	VU-r
33		マツサカシダ	<i>Pteris nipponica</i> W.C.Shieh		
34		アマクサシダ	<i>Pteris semipinnata</i> L.		
35		コハチジョウシダ	<i>Pteris kiuschiuensis</i> Hieron.		
36		ヒカゲアマクサシダ	<i>Pteris tokioi</i> Masam.	EN	EN-r
37		モエジマシダ	<i>Pteris vittata</i> L.		EN-r
38		ナチシダ	<i>Pteris wallichiana</i> J.Agardh		
39	コバノイシカグマ科	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i> (Sw.) Mett.		
40		イワヒメワラビ	<i>Hypolepis punctata</i> (Thunb.) Mett. ex Kuhn		
41		フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i> (Panzer ex Houtt.) C.Chr.		
42		ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn subsp. <i>japonicum</i> (Nakai) A. et S.Löve		
43	ナヨシダ科	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i> (Luerss.) Nakai		NT-r
44	チャセンシダ科	コバノヒノキシダ	<i>Asplenium anogrammoides</i> H.Christ		
45		ホコガタシダ	<i>Asplenium ensiforme</i> Wall. ex Hook. et Grev.	CR	CR-r
46		トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i> Thunb.		
47		コウザキシダ	<i>Asplenium ritoense</i> Hayata		
48		イヌチャセンシダ	<i>Asplenium tripteropus</i> Nakai		
49		アオガネシダ	<i>Asplenium wilfordii</i> Mett. ex Kuhn		
50		クルマシダ	<i>Asplenium wrightii</i> D.C.Eaton ex Hook.		

表2 維管束植物確認種一覧(その2)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
51	チャセンシダ科	トキワシダ	<i>Asplenium yoshinagae</i> Makino		
52	コウヤワラビ科	クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i> (L.) Hoffm.		OT-2
53	イワデンド科	フクロシダ	<i>Woodsia manchuriensis</i> Hook.		NT-r
54	シシガシラ科	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i> (Kunze) Makino		
55		オオカグマ	<i>Woodwardia japonica</i> (L.f.) J.Sm.		
56		コモチシダ	<i>Woodwardia orientalis</i> Sw.		
57	メシダ科	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i> (Mett.) Y.C.Liu, W.L.Chiou et M.Kato		
58		タニイヌワラビ	<i>Athyrium otophorum</i> (Miq.) Koidz.		
59		シケシダ	<i>Deparia japonica</i> (Thunb.) M.Kato		
60		ヘラシダ	<i>Deparia lancea</i> (Thunb.) Fraser-Jenk.		
61		ミドリワラビ	<i>Deparia viridifrons</i> (Makino) M.Kato		CR-r
62		ミヤマノコギリシダ	<i>Diplazium mettenianum</i> (Miq.) C.Chr.		
63		イヨクジャク	<i>Diplazium okudairae</i> Makino	EN	CR-r
64		ノコギリシダ	<i>Diplazium wichurae</i> (Mett.) Diels var. <i>wichurae</i>		
65	ヒメシダ科	ミドリヒメワラビ	<i>Macrothelypteris viridifrons</i> (Tagawa) Ching		
66		ゲジゲジシダ	<i>Phegopteris decursivepinnata</i> (H.C.Hall) Fée		
67		ホンシダ	<i>Thelypteris acuminata</i> (Houtt.) C.V.Morton		
68		コハシゴシダ	<i>Thelypteris angustifrons</i> (Miq.) Ching		
69		ハシゴシダ	<i>Thelypteris glanduligera</i> (Kunze) Ching		
70		ハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching		
71		ヤワラシダ	<i>Thelypteris laxa</i> (Franch. et Sav.) Ching		
72		ミヅシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> (Lag.) C.V.Morton subsp. <i>mollissima</i> (Fisch. ex Kunze) C.V.Morton		
73	オンシダ科	オオカナワラビ	<i>Arachniodes amabilis</i> (Blume) Tindale var. <i>fimbriata</i> K.Iwats.		
74		ホソバカナワラビ	<i>Arachniodes exilis</i> (Hance) Ching		
75		コバノカナワラビ	<i>Arachniodes sporadosora</i> (Kunze) Nakaike		
76		リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i> (T.Moore) Ohwi		
77		オトコシダ	<i>Arachniodes yoshinagae</i> (Makino) Ching		NT-r
78		サツマシダ	<i>Ctenitis sinii</i> (Ching) Ohwi	EN	CR-r
79		カツモウイノデ	<i>Ctenitis subglandulosa</i> (Hance) Ching		
80		ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> J.Sm.		
81		イワヘゴ	<i>Dryopteris atrata</i> (Wall. ex Kunze) Ching		
82		ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris bissetiana</i> (Baker) C.Chr.		
83		ナチクジャク	<i>Dryopteris decipiens</i> (Hook.) Kuntze		
84		ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) Kuntze		
85		マルバベニシダ	<i>Dryopteris fuscipes</i> C.Chr.		
86		ニセヨゴレイタチシダ	<i>Dryopteris hadanoi</i> Sa.Kurata	NT	NT-r
87		オオイタチシダ	<i>Dryopteris hikonensis</i> (H.Itô) Nakaike		
88		クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i> (Thunb.) Kuntze		
89		ナガサキシダ	<i>Dryopteris sieboldii</i> (Van Houtte ex Mett.) Kuntze		
90		オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino		
91		ヒロハアツイタ	<i>Elaphoglossum tosaense</i> (Yatabe) Makino	VU	CR-r
92		オリヅルシダ	<i>Polystichum lepidocaulon</i> (Hook.) J.Sm.		
93		イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i> (Roem. ex Kunze) C.Presl		
94		ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i> (Kunze) C.Presl		
95	シノブ科	シノブ	<i>Davallia mariesii</i> T.Moore ex Baker		
96	ウラボシ科	マメヅタ	<i>Lemmaphyllum microphyllum</i> C.Presl		
97		ヒメノキシノブ	<i>Lepisorus onoei</i> (Franch. et Sav.) Ching		
98		ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching		
99		ミヤマノキシノブ	<i>Lepisorus ussuriensis</i> (Regel et Maack) Ching var. <i>distans</i> (Makino) Tagawa		
100		オオイワヒトデ	<i>Leptochilus neopothifolius</i> Nakaike		



表2 維管束植物確認種一覧(その3)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
101	ウラボシ科	サジラン	<i>Loxogramme duclouxii</i> H.Christ		
102		ヒメサジラン	<i>Loxogramme grammitoides</i> (Baker) C.Chr.		CR-r
103		イワヤナギシダ	<i>Loxogramme salicifolia</i> (Makino) Makino		
104		クリハラン	<i>Neolepisorus ensatus</i> (Thunb.) Ching		
105		カラクサシダ	<i>Pleurosoriopsis makinoi</i> (Maxim. ex Makino) Fomin		EN-r
106		ヒトツバ	<i>Pyrrosia lingua</i> (Thunb.) Farw.		
107		タカノハウラボシ	<i>Selliguea engleri</i> (Luer) Fraser-Jenk.		
108		ミツデウラボシ	<i>Selliguea hastata</i> (Thunb.) Fraser-Jenk.		
109	マツ科	モミ	<i>Abies firma</i> Siebold et Zucc.		
110		アカマツ	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.		
111		ツガ	<i>Tsuga sieboldii</i> Carrière		
112	ヒノキ科	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl.		
113		スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> (L.f.) D.Don		
114	イチイ科	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight ex Forbes) K.Koch var. <i>harringtonia</i>		
115		カヤ	<i>Torreya nucifera</i> (L.) Siebold et Zucc.		
116	マキ科	イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i> (Thunb.) Sweet		
117	マツブサ科	シキミ	<i>Illicium anisatum</i> L.		
118		サネカズラ	<i>Kadsura japonica</i> (L.) Dunal		
119		マツブサ	<i>Schisandra repanda</i> (Siebold et Zucc.) Radlk.		
120	センリョウ科	センリョウ	<i>Sarcandra glabra</i> (Thunb.) Nakai		
121	ドクダミ科	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.		
122	コショウ科	フウトウカズラ	<i>Piper kadsura</i> (Choisy) Ohwi		
123	ウマノスズクサ科	オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i> Willd.		
124		キンチャクアオイ	<i>Asarum hexalobum</i> F.Maek. var. <i>perfectum</i> F.Maek.	VU	NT-g
125	モクレン科	オガタマノキ	<i>Magnolia compressa</i> Maxim.		
126		ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i> Thunb.		
127	クスノキ科	バリバリノキ	<i>Actinodaphne acuminata</i> (Blume) Meisn.		
128		クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i> (L.) J.Presl		
129		ヤブニッケイ	<i>Cinnamomum yabunikei</i> H.Ohba		
130		カナクギノキ	<i>Lindera erythrocarpa</i> Makino		
131		アブラチャン	<i>Lindera praecox</i> (Siebold et Zucc.) Blume var. <i>praecox</i>		
132		ウスゲクロモジ	<i>Lindera sericea</i> (Siebold et Zucc.) Blume var. <i>glabrata</i> Blume		
133		シロモジ	<i>Lindera triloba</i> (Siebold et Zucc.) Blume		
134		カゴノキ	<i>Litsea coreana</i> H.Lév.		
135		ホソバタブ	<i>Machilus japonica</i> Siebold et Zucc. ex Blume		
136		タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i> Siebold et Zucc.		
137		イヌガシ	<i>Neolitsea aciculata</i> (Blume) Koidz.		
138		シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz. var. <i>sericea</i>		
139	サトイモ科	マムシグサ	<i>Arisaema japonicum</i> Blume		
140		ヒメウラシマソウ	<i>Arisaema kiushianum</i> Makino		
141		ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i> (Thunb.) Schott		
142		オオハング	<i>Pinellia tripartita</i> (Blume) Schott		
143	キンコウカ科	ソクシンラン	<i>Aletris spicata</i> (Thunb.) Franch.		
144	ヒナノシャクジョウ科	ヒナノシャクジョウ	<i>Burmannia championii</i> Thwaites		CR-r
145		シロシャクジョウ	<i>Burmannia cryptopetala</i> Makino		CR-r
146		キリシマシャクジョウ	<i>Burmannia liukuensis</i> Hayata	VU	EN-g
147	ヤマノイモ科	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.		
148		カエゲドコロ	<i>Dioscorea quinquelobata</i> Thunb.		
149		オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino		
150	ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	<i>Sciaphila nana</i> Blume	VU	CR-r

表2 維管束植物確認種一覧(その4)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
151	ホンゴウソウ科	ウエマツソウ	<i>Sciaphila secundiflora</i> Thwaites ex Benth.	VU	CR-r
152		タカクマソウ	<i>Sciaphila tenella</i> Blume	EN	CR-r
153	シュロソウ科	ツクシショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis orientalis</i> (Thunb.) C.Tanaka var. <i>breviscapa</i> (Maxim.) Ohwi		
154	シオデ科	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> L.		
155	ユリ科	ウバユリ	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino var. <i>cordatum</i>		
156		ヤマジノホトトギス	<i>Tricyrtis affinis</i> Makino		
157		キバナノホトトギス	<i>Tricyrtis flava</i> Maxim.	VU	NT-g
158	ラン科	ヤクシマラン	<i>Apostasia wallichii</i> R.Br. var. <i>nipponica</i> (Masam.) Masam.	EN	CR-r
159		マメヅタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i> Maxim. ex Okubo	NT	NT-g
160		ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i> Maxim.	NT	VU-g
161		ミヤマムギラン	<i>Bulbophyllum japonicum</i> (Makino) Makino	NT	NT-g
162		キリシマエビネ	<i>Calanthe aristulifera</i> Rchb.f. var. <i>kirishimensis</i> (Yatabe) Honda	EN	EN-g
163		エビネ	<i>Calanthe discolor</i> Lindl.	NT	VU-g
164		ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i> Lindl.	VU	NT-g
165		ユウシュンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>subaphylla</i> (Miyabe et Kudô) Ohwi	VU	CR-r
166		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	VU	NT-g
167		ヒメノヤガラ	<i>Chamaegastrodia sikokiana</i> Makino et F.Maek.	VU	CR-r
168		シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i> (Rchb.f.) Rchb.f.		
169		マヤラン	<i>Cymbidium macrorhizon</i> Lindl.	VU	EN-r
170		ナギラン	<i>Cymbidium nagifolium</i> Masam.	VU	VU-g
171		クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i> Thunb. var. <i>japonicum</i>	VU	EN-g
172		キバナノセッコク	<i>Dendrobium catenatum</i> Lindl.	EN	CR-r
173		セッコク	<i>Dendrobium moniliforme</i> (L.) Sw.		
174		タシロラン	<i>Epipogium roseum</i> (D.Don) Lindl.	NT	VU-g
175		オサラン	<i>Eria japonica</i> Maxim.	VU	VU-g
176		カシノキラン	<i>Gastrochilus japonicus</i> (Makino) Schltr.	VU	NT-g
177		アキザキヤツシロラン	<i>Gastrodia confusa</i> Honda et Tuyama		EN-r
178		ハルザキヤツシロラン	<i>Gastrodia nipponica</i> (Honda) Tuyama	VU	VU-r
179		ベニシュスラン	<i>Goodyera biflora</i> (Lindl.) Hook.f.		CR-g
180		ツリシュスラン	<i>Goodyera pendula</i> Maxim.		CR-r
181		ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i> Rchb.f.		
182		シュスラン属の一種	<i>Ligustrum</i> sp.		
183		ウスギムヨウラン	<i>Lecanorchis kiusiana</i> Tuyama	NT	
184		クロムヨウラン	<i>Lecanorchis nigricans</i> Honda		CR-r
185		コ克蘭	<i>Liparis nervosa</i> (Thunb.) Lindl.		
186		ボウラン	<i>Luisia teres</i> (Thunb.) Blume	NT	NT-g
187		フウラン	<i>Neofinetia falcata</i> (Thunb.) Hu	VU	VU-g
188		ガンゼキラン	<i>Phaius flavus</i> (Blume) Lindl.	VU	VU-r
189		ノヤマトンボ	<i>Platanthera minor</i> (Miq.) Rchb.f.		
190		ウチヨウラン	<i>Ponerorchis graminifolia</i> Rchb.f.	VU	CR-g
191		ヤクシマアカシュスラン	<i>Rhomboda yakusimensis</i> (Masam.) Ormerod	VU	VU-g
192		ナゴラン	<i>Sedirea japonica</i> (Rchb.f.) Garay et H.R.Sweet	EN	EN-g
193		カヤラン	<i>Thrixspernum japonicum</i> (Miq.) Rchb.f.		VU-g
194	クサスギカズラ科	ヤブラン	<i>Liriope muscari</i> (Decne.) L.H.Bailey		
195	ショウガ科	ハナミョウガ	<i>Alpinia japonica</i> (Thunb.) Miq.		
196	イグサ科	スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq. ex Kom.		
197	カヤツリグサ科	ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i> D.Don		
198		カンスゲ	<i>Carex morrowii</i> Boott var. <i>morrowii</i>		
199	イネ科	メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler		
200		チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg.		

表2 維管束植物確認種一覧(その5)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
201	イネ科	ササクサ	<i>Lophatherum gracile</i> Brongn.		
202		ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i> Andersson		
203		チヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>undulatifolius</i>		
204	ケシ科	タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i> (Willd.) R.Br.		
205	アケビ科	アケビ	<i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.		
206		ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz. subsp. <i>trifoliata</i>		
207		ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb.) Decne.		
208	ツヅラフジ科	アオツヅラフジ	<i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC.		
209		ツヅラフジ	<i>Sinomenium acutum</i> (Thunb.) Rehder et E.H.Wilson		
210		ハスノハカズラ	<i>Stephania japonica</i> (Thunb.) Miers		
211	キンボウゲ科	ボタンツル	<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>apiifolia</i>		
212		ヤマハンショウツル	<i>Clematis crassifolia</i> Benth.		CR-r
213		ハイサバノオ	<i>Dichocarpum dicarpon</i> (Miq.) W.T.Wang et P.K.Hsiao var. <i>decumbens</i> Tamura et K.Kosuge		NT-r
214		ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.		
215	アワブキ科	アワブキ	<i>Meliosma myriantha</i> Siebold et Zucc.		
216		ヤマビワ	<i>Meliosma rigida</i> Siebold et Zucc.		
217	マンサク科	イスノキ	<i>Distylium racemosum</i> Siebold et Zucc.		
218	ユズリハ科	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq. var. <i>macropodum</i>		
219		ヒメユズリハ	<i>Daphniphyllum teijsmannii</i> Zoll. ex Kurz		
220	ズイナ科	ズイナ	<i>Itea japonica</i> Oliv.		NT-r
221	アリノトウグサ科	アリノトウグサ	<i>Haloragis micrantha</i> (Thunb.) R.Br.		
222	ブドウ科	ウドカズラ	<i>Ampelopsis cantoniensis</i> (Hook. et Arn.) Planch. var. <i>leeoides</i> (Maxim.) F.Y.Lu		
223		ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy.		
224		ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagnep.		
225		ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zucc.) Planch.		
226		エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge var. <i>ficifolia</i>		
227		サンカクヅル	<i>Vitis flexuosa</i> Thunb. var. <i>flexuosa</i>		
228	マメ科	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz. var. <i>julibrissin</i>		
229		ジャケツイバラ	<i>Caesalpinia decapetala</i> (Roth) Alston		
230		ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i> Siebold et Zucc.		
231		ミヤマトベラ	<i>Euchresta japonica</i> Hook.f. ex Maxim.		
232		オオバナスビトハギ	<i>Hylodesmum laxum</i> (DC.) H. Ohashi & R.R. Mill		
233		ヌスビトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> (DC.) H. Ohashi & R.R. Mill subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H. Ohashi & R.R. Mill var. <i>japonicum</i> (Miq.) H. Ohashi		
234		マルバナスビトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> (DC.) H. Ohashi & R.R. Mill subsp. <i>podocarpum</i>		
235		ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Schindl.		
236		メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum.Cours.) G. Don var. <i>cuneata</i>		
237		クズ	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi		
238		シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i> L.		
239		ヤマフジ	<i>Wisteria brachybotrys</i> Siebold et Zucc.		
240		ナツフジ	<i>Wisteria japonica</i> Siebold et Zucc.		
241	ヒメハギ科	ヒメハギ	<i>Polygala japonica</i> Houtt.		
242	バラ科	ヤマザクラ	<i>Cerasus jamasakura</i> (Siebold ex Koidz.) H. Ohba var. <i>jamasakura</i>		
243		ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i> Thunb.		
244		オヘビイチゴ	<i>Potentilla anemonifolia</i> Lehm.		
245		ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i> Yonek. et H. Ohashi		
246		カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>villosa</i>		
247		リンボク	<i>Laurocerasus spinulosa</i> (Siebold et Zucc.) C.K. Schneid.		
248		バクチノキ	<i>Laurocerasus zippeliana</i> (Miq.) Browicz		
249		ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> Thunb. var. <i>multiflora</i>		
250		ヤブイバラ	<i>Rosa onoei</i> Makino var. <i>onoei</i>		

表2 維管束植物確認種一覧(その6)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
251	バラ科	フユイチゴ	<i>Rubus buergeri</i> Miq.		
252		クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i> Bunge		
253		クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.		
254		ヒメバライチゴ	<i>Rubus minusculus</i> H.Lév. et Vaniot		
255		ナガバモミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i> Thunb. var. <i>palmatus</i>		
256		ハウロクイチゴ	<i>Rubus sieboldii</i> Blume		
257	グミ科	ツルグミ	<i>Elaeagnus glabra</i> Thunb.		
258		ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.		
259		アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i> Thunb. var. <i>umbellata</i>		
260	クロウメモドキ科	オオクマヤナギ	<i>Berchemia magna</i> (Makino) Koidz.		
261		クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i> Siebold et Zucc. var. <i>racemosa</i>		
262		ヨコグラノキ	<i>Berchemiella berchemifolia</i> (Makino) Nakai		EN-r
263	ニレ科	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino		
264	アサ科	ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.		
265		エノキ	<i>Celtis sinensis</i> Pers.		
266	クワ科	ツルコウゾ	<i>Broussonetia kaempferi</i> Siebold		
267		ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i> Hance		
268		クワクサ	<i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai		
269		イヌビワ	<i>Ficus erecta</i> Thunb. var. <i>erecta</i>		
270		ホソバイヌビワ	<i>Ficus erecta</i> Thunb. var. <i>erecta</i> f. <i>sieboldii</i> (Miq.) Corner		
271		イタビカズラ	<i>Ficus sarmentosa</i> Buch.-Ham. ex Sm. subsp. <i>nipponica</i> (Franch. et Sav.) H.Ohashi		
272		ヒメイタビ	<i>Ficus thunbergii</i> Maxim.		
273		ヤマグワ	<i>Morus australis</i> Poir.		
274	イラクサ科	メヤブマオ	<i>Boehmeria platanifolia</i> (Maxim.) Franch. et Sav. ex C.H.Wright		
275		ナガバヤブマオ	<i>Boehmeria sieboldiana</i> Blume		
276		コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i> (Thunb.) Thunb.		
277		ヤナギイチゴ	<i>Debregeasia orientalis</i> C.J.Chen		
278		ヒメウワバミソウ	<i>Elatostema japonicum</i> Wedd.		
279		ハドノキ	<i>Oreocnide pedunculata</i> (Shirai) Masam.		
280		サンショウソウ	<i>Pellionia minima</i> Makino		
281		オオサンショウソウ	<i>Pellionia radicans</i> (Siebold et Zucc.) Wedd.		
282		ヤマミズ	<i>Pilea japonica</i> (Maxim.) Hand.-Mazz.		
283		イラクサ	<i>Urtica thunbergiana</i> Siebold et Zucc.		
284	ブナ科	クリ	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.		
285		ツブラジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb.) Schottky		
286		スダジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i> (Makino) Hatus. ex T.Yamaz. et Mashiba subsp. <i>sieboldii</i>		
287		マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i> (Makino) Nakai		
288		シリブカガシ	<i>Lithocarpus glaber</i> (Thunb.) Nakai		
289		アカガシ	<i>Quercus acuta</i> Thunb.		
290		イチイガシ	<i>Quercus gilva</i> Blume		
291		アラカシ	<i>Quercus glauca</i> Thunb.		
292		ハナガガシ	<i>Quercus hondae</i> Makino	VU	NT-g
293		シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i> Blume		
294		ウラジロガシ	<i>Quercus salicina</i> Blume		
295		ツクバネガシ	<i>Quercus sessilifolia</i> Blume		
296	ヤマモモ科	ヤマモモ	<i>Morella rubra</i> Lour.		
297	カバノキ科	ミズメ	<i>Betula grossa</i> Siebold et Zucc.		
298		アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume		
299		イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.		
300	ウリ科	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino		

表2 維管束植物確認種一覧(その7)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
301	ウリ科	カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. ex Franch. et Sav.		
302		キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitam.		
303		モミジカラスウリ	<i>Trichosanthes multiloba</i> Miq.		
304	ニシキギ科	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb. var. <i>orbiculatus</i>		
305		コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold var. <i>alatus</i> f. <i>striatus</i> (Thunb.) Makino		
306		ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> (Turcz.) Hand.-Mazz. var. <i>fortunei</i>		
307		ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq. var. <i>oxyphyllus</i>		
308		マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume var. <i>sieboldianus</i>		
309	カタバミ科	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> L.		
310	ホルトノキ科	コバンモチ	<i>Elaeocarpus japonicus</i> Siebold et Zucc.		
311		ホルトノキ	<i>Elaeocarpus zollingeri</i> K.Koch var. <i>zollingeri</i>		
312	トウダイグサ科	アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i> (L.f.) Müll.Arg.		
313		シラキ	<i>Neoshirakia japonica</i> (Siebold et Zucc.) Esser		
314		アブラギリ	<i>Vernicia cordata</i> (Thunb.) Airy Shaw		
315	ミカンソウ科	コバンノキ	<i>Phyllanthus flexuosus</i> (Siebold et Zucc.) Müll.Arg.		
316		カンコノキ	<i>Phyllanthus sieboldianus</i> T. Kuros.		
317	ヤナギ科	イイギリ	<i>Idesia polycarpa</i> Maxim.		
318		ヤマヤナギ	<i>Salix sieboldiana</i> Blume var. <i>sieboldiana</i>		
319		クスドイゲ	<i>Xylosma congesta</i> (Lour.) Merr.		
320	スミレ科	ヒメミヤマスミレ	<i>Viola boissieuana</i> Makino var. <i>boissieuana</i>		
321		タチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray var. <i>grypoceras</i>		
322		アオイスミレ	<i>Viola hondoensis</i> W.Becker et H.Boissieu		
323		ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>verecunda</i>		
324	オトギリソウ科	オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i> Thunb. var. <i>erectum</i>		
325		サワオトギリ	<i>Hypericum pseudopetiolum</i> R.Keller		
326	アカバナ科	ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.		
327	フトモモ科	アデク	<i>Syzygium buxifolium</i> Hook. et Arn.		
328	ミツバウツギ科	ゴンズイ	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz		
329	キブシ科	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i> Siebold et Zucc.		
330	ウルシ科	ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>chinensis</i> (Mill.) T.Yamaz.		
331		ツタウルシ	<i>Toxicodendron orientale</i> Greene subsp. <i>orientale</i>		
332		ハゼノキ	<i>Toxicodendron succedaneum</i> (L.) Kuntze		
333		ヤマハゼ	<i>Toxicodendron sylvestri</i> (Siebold et Zucc.) Kuntze		
334	ムクロジ科	ウリカエデ	<i>Acer crataegifolium</i> Siebold et Zucc.		
335		ナンゴクテツカエデ	<i>Acer nipponicum</i> H.Hara subsp. <i>nipponicum</i> var. <i>australe</i> T.Yamaz.		
336		イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i> Thunb.		
337		エンコウカエデ	<i>Acer pictum</i> Thunb. subsp. <i>dissectum</i> (Wesm.) H.Obashi f. <i>dissectum</i> (Wesm.) H.Obashi		
338		ウリハダカエデ	<i>Acer rufinerve</i> Siebold et Zucc.		
339		コハウチワカエデ	<i>Acer sieboldianum</i> Miq.		
340		ムクロジ	<i>Sapindus mukorossi</i> Gaertn.		
341	ミカン科	マツカゼソウ	<i>Boenninghausenia albiflora</i> (Hook.) Rehb. ex Metzn. var. <i>japonica</i> (Nakai ex Makino et Nemoto) Suzuki		
342		キハダ	<i>Phellodendron amurense</i> Rupr. var. <i>amurense</i>		
343		ミヤマシキミ	<i>Skimmia japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>		
344		カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> Siebold et Zucc. var. <i>ailanthoides</i>		
345		ザンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.		
346		イヌザンショウ	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc. var. <i>schinifolium</i>		
347	ニガキ科	ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i> (D.Don) Benn.		
348	センダン科	センダン	<i>Melia azedarach</i> L.		
349	アオイ科	カラスノゴマ	<i>Corchoropsis crenata</i> Siebold et Zucc.		
350	ジンチョウゲ科	コショウノキ	<i>Daphne kiusiana</i> Miq.		

表2 維管束植物確認種一覧(その8)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
351	ジンチョウゲ科	キガンビ	<i>Diplomorpha trichotoma</i> (Thunb.) Nakai		
352	ツチトリモチ科	ツチトリモチ	<i>Balanophora japonica</i> Makino		
353		ヤクシマツチトリモチ	<i>Balanophora yakushimensis</i> Hatus. et Masam.		EN-r
354	ビャクダン科	ヒノキバヤドリギ	<i>Korthalsella japonica</i> (Thunb.) Engl.		
355	タデ科	イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr. var. <i>japonica</i>		
356		ミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee		
357		ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H.Gross var. <i>thunbergii</i>		
358		ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> L. subsp. <i>pyrenaicus</i> (Pourret ex Lapeyr.) Akeroyd		
359	ナデシコ科	ミミナグサ	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burdet var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H.Hara		
360		ツメクサ	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi		
361		ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.		
362		ノミノフスマ	<i>Stellaria uliginosa</i> Murray var. <i>undulata</i> (Thunb.) Fenzl		
363	ヤマゴボウ科	マルミノヤマゴボウ	<i>Phytolacca japonica</i> Makino		
364	ミズキ科	ウリノキ	<i>Alangium platanifolium</i> (Siebold et Zucc.) Harms var. <i>trilobatum</i> (Miq.) Ohwi		
365		ミズキ	<i>Cornus controversa</i> Hemsl. var. <i>controversa</i>		
366		クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i> Wall.		
367	アジサイ科	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Siebold et Zucc.		
368		マルバウツギ	<i>Deutzia scabra</i> Thunb. var. <i>scabra</i>		
369		コガクウツギ	<i>Hydrangea luteovenosa</i> (Koidz.) H. Ohba et S. Akiyama var. <i>luteovenosa</i>		
370		ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold		
371		ガクウツギ	<i>Hydrangea scandens</i> (L.f.) Ser.		
372		ヒュウガアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>minamitanii</i> H.Ohba	VU	VU-g
373		ヤハズアジサイ	<i>Hydrangea sikokiana</i> Maxim.		
374		イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i> Siebold et Zucc.		
375	サカキ科	サカキ	<i>Cleyera japonica</i> Thunb.		
376		ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>		
377		モッコク	<i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wight et Arn.) Bedd.		
378	カキノキ科	リュウキュウマメガキ	<i>Diospyros japonica</i> Siebold et Zucc.		
379		カキノキ	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.		
380		トキワガキ	<i>Diospyros morrisiana</i> Hance		
381	サクラソウ科	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i> Sims		
382		ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume var. <i>japonica</i>		
383		ツルコウジ	<i>Ardisia pusilla</i> A,DC. var. <i>pusilla</i>		
384		オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i> Duby		
385		コナスビ	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>		
386		モロコシソウ	<i>Lysimachia sikokiana</i> Miq.		
387		イズセンリョウ	<i>Maesa japonica</i> (Thunb.) Moritzi et Zoll.		
388		タイミンタチバナ	<i>Myrsine seguinii</i> H.Lév.		
389	ツバキ科	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i> L.		
390		サザンカ	<i>Camellia sasanqua</i> Thunb.		
391		チャノキ	<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze var. <i>sinensis</i>		
392		ヒメシャラ	<i>Stewartia monadelphica</i> Siebold et Zucc.		
393	ハイノキ科	タンナサワフタギ	<i>Symplocos coreana</i> (H.Lév.) Ohwi		
394		ミミズバイ	<i>Symplocos glauca</i> (Thunb.) Koidz.		
395		クロキ	<i>Symplocos kuroki</i> Nagam.		
396		シロバイ	<i>Symplocos lancifolia</i> Siebold et Zucc.		
397		ハイノキ	<i>Symplocos myrtaea</i> Siebold et Zucc.		
398		クロバイ	<i>Symplocos prunifolia</i> Siebold et Zucc. var. <i>prunifolia</i>		
399		カンザブロウノキ	<i>Symplocos theophrastifolia</i> Siebold et Zucc.		
400	エゴノキ科	エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i> Siebold et Zucc.		

表2 維管束植物確認種一覧 (その9)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
401	マタタビ科	サルナシ	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq. var. <i>arguta</i>		
402		ウラジロマタタビ	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq. var. <i>hypoleuca</i> (Nakai) Kitam.		
403		マタタビ	<i>Actinidia polygama</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Maxim.		
404		シマサルナシ	<i>Actinidia rufa</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq.		
405	リョウブ科	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.		
406	ツツジ科	ウメガサソウ	<i>Chimaphila japonica</i> Miq.		CR-r
407		シロドウダン	<i>Enkianthus cernuus</i> (Siebold et Zucc.) Makino f. <i>cernuus</i>		
408		ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> (Wall.) Drude var. <i>elliptica</i> (Siebold et Zucc.) Hand.-Mazz.		
409		シャクジョウソウ	<i>Monotropa hypopithys</i> L.		VU-r
410		ギンリョウソウモドキ	<i>Monotropa uniflora</i> L.		NT-r
411		ギンリョウソウ	<i>Monotropastrum humile</i> (D.Don) H.Hara		
412		アセビ	<i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D.Don ex G.Don subsp. <i>japonica</i>		
413		イチヤクソウ	<i>Pyrola japonica</i> Klenze ex Alefeld		
414		ヒュウガミツバツツジ	<i>Rhododendron hyugaense</i> (T.Yamaz.) T.Yamaz.		
415		ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> Planch. var. <i>kaempferi</i>		
416		ナンゴクミツバツツジ	<i>Rhododendron mayebarae</i> Nakai et H.Hara	VU	NT-g
417		ウラジロミツバツツジ	<i>Rhododendron osuzuyamense</i> T.Yamaz.	VU	NT-g
418		シャシャンボ	<i>Vaccinium bracteatum</i> Thunb.		
419	アオキ科	アオキ	<i>Aucuba japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>		
420	アカネ科	アリドオン	<i>Damnacanthus indicus</i> C.F.Gaertn. var. <i>indicus</i>		
421		ヒメアリドオン	<i>Damnacanthus indicus</i> C.F.Gaertn. var. <i>microphyllus</i> (Makino) Makino ex Nakai		
422		ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Desp.		
423		ルリミノキ	<i>Lasianthus japonicus</i> Miq.		
424		サツマルリミノキ	<i>Lasianthus japonicus</i> Miq. f. <i>satsumensis</i> (Matsum.) Kitam.		
425		サツマイナモリ	<i>Ophiorrhiza japonica</i> Blume		
426		ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i> L.		
427		イナモリソウ	<i>Pseudopyxis depressa</i> Miq.		NT-r
428		アカネ	<i>Rubia argyi</i> (H.Lév. et Vaniot) H.Hara ex Lauener et D.K.Ferguson		
429		カギカズラ	<i>Uncaria rhynchophylla</i> (Miq.) Miq.		
430	リンドウ科	フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawc.		
431		アケボノソウ	<i>Swertia bimaculata</i> (Siebold et Zucc.) Hook.f. et Thomson ex C.B.Clarke		
432		センブリ	<i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino var. <i>japonica</i>		NT-g
433		ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i> (Siebold et Zucc.) Maxim. var. <i>japonicum</i>		
434	キョウチクトウ科	サカキカズラ	<i>Anodendron affine</i> (Hook. et Arn.) Druce		
435		シタキノソウ	<i>Jasminanthes mucronata</i> (Blanco) W.D.Stevens et P.T.Li		
436		キジョラン	<i>Marsdenia tomentosa</i> C.Morren et Decne.		
437		ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino		NT-r
438		テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai var. <i>asiaticum</i>		
439		オオカモメヅル	<i>Tylophora aristolochioides</i> Miq.		
440		トキワカモメヅル	<i>Tylophora japonica</i> Miq.		
441	ムラサキ科	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i> (J.Jacq.) Druce		
442		オオルリソウ	<i>Cynoglossum furcatum</i> Wall. var. <i>villosulum</i> (Nakai) Riedl		
443		チシャノキ	<i>Ehretia acuminata</i> R.Br. var. <i>obovata</i> (Lindl.) I.M.Johnst.		
444		ミズタビラコ	<i>Trigonotis brevipes</i> (Maxim.) Maxim. ex F.B.Forbes et Hemsl. var. <i>brevipes</i>		
445	ナス科	ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i> Thunb.		
446	モクセイ科	ヤマトアオダモ	<i>Fraxinus longicuspis</i> Siebold et Zucc.		
447		ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunb. var. <i>japonicum</i>		
448		シマモクセイ	<i>Osmanthus insularis</i> Koidz. var. <i>insularis</i>		EN-r
449	イワタバコ科	イワタバコ	<i>Conandron ramondioides</i> Siebold et Zucc. var. <i>ramondioides</i>		
450		シンラン	<i>Lysionotus pauciflorus</i> Maxim.	VU	CR-g

表2 維管束植物確認種一覧（その10）

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
451	オオバコ科	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> L. var. <i>asiatica</i>		
452	ゴマノハグサ科	コフジウツギ	<i>Buddleja curviflora</i> Hook. et Arn.		
453	シソ科	キラソウ	<i>Ajuga decumbens</i> Thunb.		
454		ヤマジオウ	<i>Ajugoides humilis</i> (Miq.) Makino		
455		ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb. var. <i>japonica</i>		
456		ヤブムラサキ	<i>Callicarpa mollis</i> Siebold et Zucc.		
457		クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb. var. <i>trichotomum</i>		
458		クルマバナ	<i>Clinopodium coreanum</i> (H.Lév.) H.Hara subsp. <i>Coreanum</i>		
459		ヤマクルマバナ	<i>Clinopodium chinense</i> (Benth.) Kuntze subsp. <i>grandiflorum</i> (Maxim.) H.Hara var. <i>shibetschense</i> (H.Lév.) Koidz.		
460		トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i> (Benth.) Kuntze		
461		シモバシラ	<i>Keiskea japonica</i> Miq.		
462		ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i> (Thunb.) Kudô		
463		ヒキオコシ	<i>Isodon japonicus</i> (Burm.f.) H.Hara		
464		レモンエゴマ	<i>Perilla citriodora</i> (Makino) Nakai		
465		ハマクサギ	<i>Premna microphylla</i> Turcz.		
466		ウツボグサ	<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) H.Hara var. <i>lilacina</i> Nakai		
467		アキノタムラソウ	<i>Salvia japonica</i> Thunb.		
468		コバナタツナミ	<i>Scutellaria indica</i> L. var. <i>parvifolia</i> (Makino) Makino		
469		シソバタツナミ	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidz. var. <i>laeteviolacea</i>		
470		ツルニガクサ	<i>Teucrium viscidum</i> Blume var. <i>miquelianum</i> (Maxim.) H.Hara		
471	ハマウツボ科	キヨスミウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i> Siebold et Zucc.		VU-g
472	ハナイカダ科	コバナハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F.Dietr. var. <i>parvifolia</i> Makino		
473	モチノキ科	シイモチ	<i>Ilex buergeri</i> Miq.		
474		ナナミノキ	<i>Ilex chinensis</i> Sims		
475		イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> Thunb. var. <i>crenata</i>		
476		ツゲモチ	<i>Ilex goshiensis</i> Hayata		
477		モチノキ	<i>Ilex integra</i> Thunb. var. <i>integra</i>		
478		タラヨウ	<i>Ilex latifolia</i> Thunb.		
479		アオハダ	<i>Ilex macropoda</i> Miq.		
480		ソヨゴ	<i>Ilex pedunculosa</i> Miq.		
481		クロガネモチ	<i>Ilex rotunda</i> Thunb.		
482	キク科	キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i> Sch.Bip. var. <i>apiculata</i>		
483		マルバテイショウソウ	<i>Ainsliaea fragrans</i> Champ. ex Benth.	VU	NT-g
484		ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara		
485		コヤブタバコ	<i>Carpesium cernuum</i> L.		CR-r
486		サジガクビソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i> Maxim.		
487		ノアザミ	<i>Cirsium japonicum</i> (Thunb.) Fisch. ex DC. var. <i>japonicum</i>		
488		ベニバナポロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i> (Benth.) S.Moore		
489		ヤクシソウ	<i>Crepidiastrum denticulatum</i> (Houtt.) Pak et Kawano		
490		ダンドポロギク	<i>Erechtites hieraciifolius</i> (L.) Raf. ex DC. var. <i>hieraciifolius</i>		
491		ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.		
492		チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i> Thunb.		
493		ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium makinoi</i> T.Kawahara et Yahara		
494		ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev subsp. <i>dentatum</i>		
495		ヤナギニガナ	<i>Ixeridium laevigatum</i> (Blume) Pak et Kawano	VU	
496		コスギニガナ	<i>Ixeridium yakuinsulare</i> (Yahara) Pak et Kawano	VU	NT-r
497		ケムラサキニガナ	<i>Paraprenanthes sororia</i> (Miq.) C. C. Chang ex C.Shih		
498		モミジコウモリ	<i>Parasenecio kiusianus</i> (Makino) H.Koyama	NT	NT-g
499		ハハコグサ	<i>Pseudognaphalium affine</i> (D.Don) Anderb.		
500		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i> L.		



表2 維管束植物確認種一覧 (その11)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
501	キク科	アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai ex H.Hara) Kitam. ex H.Hara var. <i>asiatica</i> Nakai ex H.Hara		
502		ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i> (Thunb.) Maxim.		
503		オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.		
504	ガマズミ科	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H.Hara var. <i>sieboldiana</i>		
505		ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.		
506		サンゴジュ	<i>Viburnum odoratissimum</i> Ker Gawl. var. <i>awabuki</i> (K.Koch) Zabel		
507	スイカズラ科	キダチニンドウ	<i>Lonicera hypoglauca</i> Miq.		
508		スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i> Thunb.		
509		オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.		
510		ツクシヤブウツギ	<i>Weigela japonica</i> Thunb.		
511	ウコギ科	タラノキ	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.		
512		ツボクサ	<i>Centella asiatica</i> (L.) Urb.		
513		コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i> (Franch. et Sav.) C.B.Shang et J.Y.Huang		
514		カクレミノ	<i>Dendropanax trifidum</i> (Thunb.) Makino ex H.Hara		
515		ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch. var. <i>japonica</i>		
516		キヅタ	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean		
517		ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i> Honda		
518		オオバチドメ	<i>Hydrocotyle javanica</i> Thunb.		
519		ヒメチドメ	<i>Hydrocotyle yabei</i> Makino		
520	セリ科	シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i> Maxim.		
521		ヒュウガトウキ	<i>Angelica tenuisecta</i> (Makino) Makino var. <i>furcijuga</i> (Kitag.) H.Ohba	VU	VU-g
	124	521		53	82

※分類群の科名・科の並び、和名・学名等は、原則として日本植物分類学会が作成している「日本産被子植物グリーンリスト」(<http://www.rdplants.org/gl/index.html>, 2017年8月アクセス)に従い、一部最新の研究に基づき学名を修正した。

また、グリーンリストに掲載のない帰化植物の科名・和名・学名については、「日本維管束植物目録」(邑田仁監修・米倉浩司著, 2012)に従った。

- ・シダ植物：シダ植物 GreenList ver.1.01 (シダ植物：PPG 配列, 2017.7.17 release)
- ・裸子植物：裸子植物 GreenList ver.1.0 (裸子植物)
- ・被子植物：GreenList ver.1.01 (被子植物：APGIII配列, 2016.6.6 release)

※グレーの網掛けは、帰化種を示す (以下、同じ)。

注1) 環境省レッドリスト (2017年)

- CR：絶滅危惧ⅠA類；ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種。  
 EN：絶滅危惧ⅠB類；ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種。  
 VU：絶滅危惧Ⅱ類；絶滅の危険が増大している種。  
 NT：準絶滅危惧；現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種。  
 DD：情報不足；評価するだけの情報が不足している種。  
 LP：絶滅のおそれのある地域個体群；地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの。

注2) 宮崎県レッドリスト (2015年)

- CR：絶滅危惧ⅠA類；ごく近い将来における野生絶滅の危険性が極めて高いもの。  
 CR-r：県内ではもともと希であったものが、原則として、現在は1～2か所でのみ生息し、個体数も極めて少ない状態で残っているもの。  
 CR-g：県内では、過去に広く分布、あるいは個体数が多かったと考えられるものが、極度に減少して、原則として、1～3か所生息するか、あるいは個体数がほぼ5分の1以下に減少しているもの。  
 CR-d：それほど遠くない過去(20年～50年以内)の生息の確認情報があるが、その後信頼すべき調査が行われていないか、調査を行ったが未確認のため絶滅したかどうかの判断が困難なもの。  
 EN：絶滅危惧ⅠB類；絶滅危惧ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。  
 EN-r：県内では、もともと希であったものが、原則として、現在は2～4か所でのみ生息し、個体数もかなり少ない状態で残っているもの。  
 EN-g：県内では、過去に広く分布、あるいは個体数が多かったと考えられるものが、原則として、現在は3～5か所で生息するか、あるいは個体数がほぼ2分の1以下に減少しているもの。いずれの生息地でも、生息条件の悪化が継続しており、今後も継続的な減少が予想されるもの。  
 VU：絶滅危惧Ⅱ類；現在、宮崎県での野生生息が確認されているが、大部分の生息地及び個体群において絶滅の危機が増大しているもの。  
 VU-r：県内では、もともと希であったものが、原則として、現在は5か所以下で生息し、個体数も少ないもの。  
 VU-g：県内では、過去に広く分布、あるいは個体数が多かったと考えられるものが、原則として、現在は10か所以下で生息するか、あるいは個体数がほぼ5分の4以下に減少しているもの。今後とも大幅に分布が狭まったり、さらなる個体数の減少が予想されるもの。  
 NT：準絶滅危惧；宮崎県では、現時点での絶滅の危険度は小さいが、生息状況の推移から見て、種の存続の圧迫が強まっていると判断されるもの。  
 NT-r：県内では、もともと希であったものが、分布域の一部において個体数が顕著に減少しているもの。  
 NT-g：県内では、過去に広く分布、あるいは個体数が多かったと考えられるものが、分布域の一部において、生息条件の悪化により絶滅したか、若しくは生息面積の減少や個体数の顕著な減少が見られるもの。  
 DD：情報不足；宮崎県における重要動植物の中で、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が不足しているもの。  
 DD-1：県内における証拠標本や、信頼のおける記録があり、かつて生息していたと思われるが、現存するかどうか判断できないもので、絶滅の可能性が考えられるもの。  
 DD-2：県内では、現在明らかに生息しているが、評価するだけの情報が不足しているもの。  
 OT：宮崎県において、存続基盤が安定しており、現時点での絶滅の危険性は小さいと考えられるが、県レベル、若しくは地域レベルでの種の重要性が高いもの。  
 OT-1：県内において、現在生息条件等が安定しているため「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素はないが、保護上重要と考えられるもの。  
 OT-2：全県レベルでは重要性の高いものではないが、地域レベルでは保護上重要と考えられるもの。又は生息地が孤立している地域個体群で絶滅の恐れのあるもの。

(3) 希少植物

当該地域では、環境省レッドリスト 2017 に掲載されている種が 53 種、宮崎県レッドリスト (2015 年版) に掲載されている種が 82 種確認されている。

環境省レッドリスト 2017 でランクが高い種はホコガタシダ (CR)、ヒモラン、ナゴラン (EN) 等、宮崎県レッドリスト 2015 でランクが高い種ではサツマシダ、タカクマソウ、ヤクシマラン、ヤマハンショウヅル (すべて CR-r) 等が挙げられる。リスト掲載 84 種のうち、シダ植物が 22 種、ラン科植物が 30 種を占めており、これはこれらの希少種の生育を支えうる照葉樹林が多く残されていることを示していると言える。

表 3 レッドリスト掲載種 (維管束植物) (その 1)

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
1	ヒカゲノカズラ科	ナンカクラン	<i>Phlegmariurus hamiltonii</i> (Spreng.) A. et D.Löve		EN-r
2		ヒモラン	<i>Phlegmariurus sieboldii</i> (Miq.) Ching	EN	VU-g
3	マツバラン科	マツバラン	<i>Psilotum nudum</i> (L.) P.Beauv.	NT	VU-r
4	コケシノブ科	コケホラゴケ	<i>Crepidomanes makinoi</i> (C.Chr.) Copel.	NT	CR-r
5		キヨスミコケシノブ	<i>Hymenophyllum oligosorum</i> Makino		NT-g
6	イノモトソウ科	タキミシダ	<i>Antrophyum obovatum</i> Baker	EN	CR-r
7		エビガラシダ	<i>Cheilanthes chusana</i> Hook.	VU	EN-r
8		ヤワラハチジョウシダ	<i>Pteris natiensis</i> Tagawa	EN	VU-r
9		ヒカゲアマクサシダ	<i>Pteris tokioi</i> Masam.	EN	EN-r
10		モエジマシダ	<i>Pteris vittata</i> L.		EN-r
11	ナヨシダ科	ウスヒメワラビ	<i>Acystopteris japonica</i> (Luerss.) Nakai		NT-r
12	チャセンシダ科	ホコガタシダ	<i>Asplenium ensiforme</i> Wall. ex Hook. et Grev.	CR	CR-r
13	コウヤワラビ科	クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i> (L.) Hoffm.		OT-2
14	イワデンド科	フクロシダ	<i>Woodsia manchuriensis</i> Hook.		NT-r
15	メシダ科	ミドリワラビ	<i>Deparia viridifrons</i> (Makino) M.Kato		CR-r
16		イヨクジャク	<i>Diplazium okudairae</i> Makino	EN	CR-r
17	オシダ科	オトコシダ	<i>Arachniodes yoshinagae</i> (Makino) Ching		NT-r
18		サツマシダ	<i>Ctenitis sinii</i> (Ching) Ohwi	EN	CR-r
19		ニセヨゴレイタチシダ	<i>Dryopteris hadanoi</i> Sa.Kurata	NT	NT-r
20		ヒロハアツイタ	<i>Elaphoglossum tosaense</i> (Yatabe) Makino	VU	CR-r
21	ウラボシ科	ヒメサジラン	<i>Loxogramme graminoides</i> (Baker) C.Chr.		CR-r
22		カラクサシダ	<i>Pleurosoriopsis makinoi</i> (Maxim. ex Makino) Fomin		EN-r
23	ウマノスズクサ科	キンチャクアオイ	<i>Asarum hexalobum</i> F.Maek. var. <i>perfectum</i> F.Maek.	VU	NT-g
24	ヒナノシヤクジョウ科	ヒナノシヤクジョウ	<i>Burmannia championii</i> Thwaites		CR-r
25		シロシヤクジョウ	<i>Burmannia cryptopetala</i> Makino		CR-r
26		キリシマシヤクジョウ	<i>Burmannia liukiensis</i> Hayata	VU	EN-g
27	ホンゴウソウ科	ホンゴウソウ	<i>Sciaphila nana</i> Blume	VU	CR-r
28		ウエマツソウ	<i>Sciaphila secundiflora</i> Thwaites ex Benth.	VU	CR-r
29		タカクマソウ	<i>Sciaphila tenella</i> Blume	EN	CR-r
30	ユリ科	キバナノホトトギス	<i>Tricyrtis flava</i> Maxim.	VU	NT-g
31	ラン科	ヤクシマラン	<i>Apostasia wallichii</i> R.Br. var. <i>nipponica</i> (Masam.) Masam.	EN	CR-r
32		マメヅタラン	<i>Bulbophyllum drymoglossum</i> Maxim. ex Okubo	NT	NT-g
33		ムギラン	<i>Bulbophyllum inconspicuum</i> Maxim.	NT	VU-g
34		ミヤマムギラン	<i>Bulbophyllum japonicum</i> (Makino) Makino	NT	NT-g
35		キリシマエビネ	<i>Calanthe aristulifera</i> Rchb.f. var. <i>kirishimensis</i> (Yatabe) Honda	EN	EN-g

表3 レッドリスト掲載種（維管束植物）（その2）

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
36	ラン科	エビネ	<i>Calanthe discolor</i> Lindl.	NT	VU-g
37		ナツエビネ	<i>Calanthe puberula</i> Lindl.	VU	NT-g
38		ユウシュンラン	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume var. <i>subaphylla</i> (Miyabe et Kudô) Ohwi	VU	CR-r
39		キンラン	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	VU	NT-g
40		ヒメノヤガラ	<i>Chamaegastrodia sikokiana</i> Makino et F.Maek.	VU	CR-r
41		マヤラン	<i>Cymbidium macrorhizon</i> Lindl.	VU	EN-r
42		ナギラン	<i>Cymbidium nagifolium</i> Masam.	VU	VU-g
43		クマガイソウ	<i>Cypripedium japonicum</i> Thunb. var. <i>japonicum</i>	VU	EN-g
44		キバナノセッコク	<i>Dendrobium catenatum</i> Lindl.	EN	CR-r
45		タシロラン	<i>Epipogium roseum</i> (D.Don) Lindl.	NT	VU-g
46		オサラン	<i>Eria japonica</i> Maxim.	VU	VU-g
47		カシノキラン	<i>Gastrochilus japonicus</i> (Makino) Schltr.	VU	NT-g
48		アキザキヤツシロラン	<i>Gastrodia confusa</i> Honda et Tuyama		EN-r
49		ハルザキヤツシロラン	<i>Gastrodia nipponica</i> (Honda) Tuyama	VU	VU-r
50		ベニシュスラン	<i>Goodyera biflora</i> (Lindl.) Hook.f.		CR-g
51		ツリシュスラン	<i>Goodyera pendula</i> Maxim.		CR-r
52		ウスギムヨウラン	<i>Lecanorchis kiusiana</i> Tuyama	NT	
53		クロムヨウラン	<i>Lecanorchis nigricans</i> Honda		CR-r
54		ボウラン	<i>Luisia teres</i> (Thunb.) Blume	NT	NT-g
55		フウラン	<i>Neofinetia falcata</i> (Thunb.) Hu	VU	VU-g
56		ガンゼキラン	<i>Phaius flavus</i> (Blume) Lindl.	VU	VU-r
57		ウチヨウラン	<i>Ponerorchis graminifolia</i> Rchb.f.	VU	CR-g
58		ヤクシマアカシュスラン	<i>Rhomboda yakusimensis</i> (Masam.) Ormerod	VU	VU-g
59		ナゴラン	<i>Sedirea japonica</i> (Rchb.f.) Garay et H.R.Sweet	EN	EN-g
60		カヤラン	<i>Thrixspernum japonicum</i> (Miq.) Rchb.f.		VU-g
61	キンボウゲ科	ヤマハンショウヅル	<i>Clematis crassifolia</i> Benth.		CR-r
62		ハイサバノオ	<i>Dichocarpum dicarpon</i> (Miq.) W.T.Wang et P.K.Hsiao var. <i>decumbens</i> Tamura et K.Kosuge		NT-r
63	ズイナ科	ズイナ	<i>Itea japonica</i> Oliv.		NT-r
64	クロウメモドキ科	ヨコグラノキ	<i>Berchemiella berchemiifolia</i> (Makino) Nakai		EN-r
65	ブナ科	ハナガガシ	<i>Quercus hondae</i> Makino	VU	NT-g
66	ツチトリモチ科	ヤクシマツチトリモチ	<i>Balanophora yakushimensis</i> Hatus. et Masam.		EN-r
67	アジサイ科	ヒュウガアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i> (Thunb.) Ser. var. <i>minamitanii</i> H.Ohba	VU	VU-g
68	ツツジ科	ウメガサソウ	<i>Chimaphila japonica</i> Miq.		CR-r
69		ジャクジョウソウ	<i>Monotropa hypopithys</i> L.		VU-r
70		ギンリョウソウモドキ	<i>Monotropa uniflora</i> L.		NT-r
71		ナンゴクミツバツツジ	<i>Rhododendron mayebarae</i> Nakai et H.Hara	VU	NT-g
72		ウラジロミツバツツジ	<i>Rhododendron osuzuyamense</i> T.Yamaz.	VU	NT-g
73	アカネ科	イナモリソウ	<i>Pseudopyxis depressa</i> Miq.		NT-r
74	リンドウ科	センブリ	<i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino var. <i>japonica</i>		NT-g
75	キョウチクトウ科	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino		NT-r
76	モクセイ科	シマモクセイ	<i>Osmanthus insularis</i> Koidz. var. <i>insularis</i>		EN-r
77	イワタバコ科	シシラン	<i>Lysionotus pauciflorus</i> Maxim.	VU	CR-g
78	ハマウツボ科	キヨシミウツボ	<i>Phacellanthus tubiflorus</i> Siebold et Zucc.		VU-g
79	キク科	マルバテイショウソウ	<i>Ainsliaea fragrans</i> Champ. ex Benth.	VU	NT-g
80		コヤブタバコ	<i>Carpesium cernuum</i> L.		CR-r
81		ヤナギニガナ	<i>Ixeridium laevigatum</i> (Blume) Pak et Kawano	VU	
82		コスギニガナ	<i>Ixeridium yakuinsulare</i> (Yahara) Pak et Kawano	VU	NT-r
83		モミジコウモリ	<i>Parasenecio kiusianus</i> (Makino) H.Koyama	NT	NT-g
84	セリ科	ヒュウガトウキ	<i>Angelica tenuisecta</i> (Makino) Makino var. <i>furcijuga</i> (Kitag.) H.Ohba	VU	VU-g
	31	84		53	82

## 5 動物相及びその特徴

当該地域では、これまでに動物相の調査報告として、「綾照葉樹林の生態系調査報告書」（宮崎県、平成 16 年 3 月）、「綾森林生態系保護地域保全管理計画策定のための基礎資料調査報告書」（九州森林管理局、平成 23 年 2 月）、「平成 24・25 年度綾ユネスコエコパーク生物生育・基礎調査報告書」（綾生物多様性協議会、平成 26 年 3 月）等が実施されている。また、環境省・モニタリングサイト 1000 プロジェクトでは、森林・草原調査のコアサイトとして調査が行われている。

綾森林生態系保護地域の動物相を整理するにあたり、これらの文献及び既存資料データに今年度現地調査で確認した種を追加して、一覧表を作成した。

### (1) 哺乳類

文献調査及び現地調査の結果、7 目 13 科 23 種の哺乳類が確認された（表 4）。また、今年度の現地調査で確認された種は、クロホオヒゲコウモリ等のコウモリ類を中心に 14 種であった。

環境省レッドリスト 2017 または宮崎県レッドリスト 2015 に掲載されている種は、カワネズミ、モモジロコウモリ、ノレンコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、テングコウモリ、コテングコウモリ、ユビナガコウモリ、ムササビ、ニホンイタチ、ニホンカモシカの 10 種である。

今年度の現地調査で、ヤマネやニホンモモンガ等の樹洞性小型哺乳類の確認を試みたが、確認することはできなかった。隣接する川中神社周辺（ヤマネ）、綾川上流緑の回廊や綾南川右岸の県有林（ヤマネとニホンモモンガ）では確認されていることから、当該地域にも生息している可能性が高い。

表 4 哺乳類確認種一覧

No.	目	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)	H29 現地 調査
1	モグラ目	トガリネズミ科	カワネズミ	<i>Chimarrogale platycephala</i> (Temminck, 1842)	LP	VU-r	
2		モグラ科	ヒミズ	<i>Urotrichus talpoides</i> Temminck, 1841			
3			コウベモグラ	<i>Mogera wogura</i> (Temminck, 1842)			○
4	コウモリ目	キクガシラコウモリ科	キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i> (Schreber, 1774)			○
5		ヒナコウモリ科	モモジロコウモリ	<i>Myotis macrodactylus</i> (Temminck, 1840)		NT-r	○
6			ノレンコウモリ	<i>Myotis bombinus</i> Thomas, 1906	VU	VU-r	
7			クロホオヒゲコウモリ	<i>Myotis pruinus</i> Yoshiyuki, 1971	VU	CR-r	○
8			テングコウモリ	<i>Murina hilgendorfi</i> (Peters, 1880)		VU-r	○
9			コテングコウモリ	<i>Murina ussuriensis</i> Ognev, 1913		VU-r	○
10			ユビナガコウモリ	<i>Miniopterus fuliginosus</i> (Hodgson, 1835)		NT-r	○
11	サル目	オナガザル科	ニホンザル	<i>Macaca fuscata</i> (Blyth, 1875)			
12	ネズミ目	ネズミ科	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i> (Temminck, 1844)			
13			ヒメネズミ	<i>Apodemus argenteus</i> (Temminck, 1844)			○
14		リス科	ムササビ	<i>Petaurista leucogenys</i> (Temminck, 1827)		NT-g	○
15	ウサギ目	ウサギ科	ニホンノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i> Temminck, 1845			
16	ネコ目	イヌ科	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i> (Gray, 1834)			○
17		イタチ科	ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i> Temminck, 1844		DD-2	
18			シベリアイタチ	<i>Mustela sibirica</i> Pallas, 1773			
19			ニホンテン	<i>Martes melampus</i> (Wagner, 1841)			○
20			ニホンアナグマ	<i>Meles anakuma</i> Temminck, 1844			○
21	ウシ目	シカ科	ニホンジカ	<i>Cervus nippon</i> Temminck, 1838			○
22		イノシシ科	イノシシ	<i>Sus scrofa</i> Linnaeus, 1758			○
23		ウシ科	ニホンカモシカ	<i>Capricornis crispus</i> (Temminck, 1845)	LP	NT-g	
合計	7 目	13 科	23 種		4	10	14

※ 分類群の並び、科名・和名・学名等は、原則として「The Wild Mammals of Japan, Second Edition」(The Mammal Society of Japan, 2015)に従った

## (2) 鳥類

文献及び既存資料調査の結果、11目32科66種の鳥類が確認された(表5)。

環境省レッドリスト2017または宮崎県レッドリスト2015に掲載されている種は、コシジロヤマドリ、オシドリ、ツツドリ、ミサゴ、ツミ、ハイタカ、オオタカ、クマタカ、コノハズク、フクロウ、アオバズク、アカショウビン、オオアカゲラ、ヤイロチョウ、サンショウクイ(亜種リュウキュウサンショウクイは普通に生息)、サンコウチョウ、センダイムシクイ、キバシリ、トラツグミ、コマドリ、ルリビタキ、エゾビタキ、キビタキ、オオルリの24種である。

2006年以降実施されているモニタリングサイト1000の調査結果を見ると、繁殖期に確認回数が多い鳥類はウグイス、ヒヨドリ、アオバト、ヤマガラ、ヤブサメ、アオゲラ、ホトトギス等、越冬期に確認回数が多い鳥類はハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、キジバト、アオバト、カケス、シジュウカラ、ヤマガラ等である。

表5 鳥類確認種一覧(その1)

No.	目	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
1	キジ目	キジ科	コシジロヤマドリ	<i>Symaticus soemmerringii ijimae</i> (Dresser, 1902)	NT	NT-g
2			コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i> (Temminck, 1815)		
3	カモ目	カモ科	オシドリ	<i>Aix galericulata</i> (Linnaeus, 1758)	DD	DD-2
4	ハト目	ハト科	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i> (Latham, 1790)		
5			アオバト	<i>Treron sieboldii</i> (Temminck, 1835)		
6	ペリカン目	サギ科	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i> Linnaeus, 1758		
7	カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i> Latham, 1790		
8			ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i> Gould, 1845		NT-r
9	チドリ目	シギ科	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus, 1758		
10	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus, 1758)	NT	
11		タカ科	トビ	<i>Milvus migrans</i> (Boddaert, 1783)		
12			ツミ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck & Schlegel, 1844)		NT-r
13			ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus, 1758)	NT	NT-r
14			オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i> (Linnaeus, 1758)	NT	NT-r
15			クマタカ	<i>Nisaetus nipalensis</i> Hodgson, 1836	EN	VU-g
16	フクロウ目	フクロウ科	コノハズク	<i>Otus sunia</i> (Hodgson, 1836)		EN-r
17			フクロウ	<i>Strix uralensis</i> Pallas, 1771		VU-g
18			アオバズク	<i>Ninox scutulata</i> (Raffles, 1822)		VU-g
19	ブッポウソウ目	カワセミ科	アカショウビン	<i>Halcyon coromanda</i> (Latham, 1790)		NT-r
20			カワセミ	<i>Alcedo atthis</i> (Linnaeus, 1758)		
21			ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i> (Temminck, 1834)		
22	キツキ目	キツキ科	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i> (Temminck, 1836)		
23			オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i> (Bechstein, 1802)		NT-g
24			アオゲラ	<i>Picus awokera</i> Temminck, 1836		

表5 鳥類確認種一覧（その2）

No.	目	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
25	スズメ目	ヤイロチョウ科	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i> Temminck & Schlegel, 1850	EN	EN-r
26		サンショウクイ科	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles, 1822)	VU	
27		カササギヒタキ科	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i> (Eyton, 1839)		NT-g
28		カラス科	カケス	<i>Corvus glandarius</i> (Linnaeus, 1758)		
29			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i> Linnaeus, 1758		
30			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i> Wagler, 1827		
31		キクイタダキ科	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i> (Linnaeus, 1758)		
32		シジュウカラ科	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i> (Temminck & Schlegel, 1845)		
33			ヒガラ	<i>Periparus ater</i> (Linnaeus, 1758)		
34			シジュウカラ	<i>Parus minor</i> Temminck & Schlegel, 1848		
35		ツバメ科	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i> Linnaeus, 1758		
36			イワツバメ	<i>Delichon dasypus</i> (Bonaparte, 1850)		
37		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i> (Temminck, 1830)		
38		ウグイス科	ウグイス	<i>Cettia diphone</i> (Kittlitz, 1830)		
39			ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i> (Swinhoe, 1863)		
40		エナガ科	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i> (Linnaeus, 1758)		
41		ムシクイ科	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i> (Temminck & Schlegel, 1847)		NT-g
42		メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i> Temminck & Schlegel, 1845		
43		ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i> Linnaeus, 1758		
44		キバシリ科	キバシリ	<i>Certhia familiaris</i> Linnaeus, 1758		DD-2
45		ミソサザイ科	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i> (Linnaeus, 1758)		
46		カワガラス科	カワガラス	<i>Cinclus pallasi</i> Temminck, 1820		
47		ヒタキ科	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i> (Latham, 1790)		VU-g
48			シロハラ	<i>Turdus pallidus</i> Gmelin, 1789		
49			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i> Temminck, 1832		
50			コマドリ	<i>Luscinia akahige</i> (Temminck, 1835)		EN-r
51			ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i> (Pallas, 1773)		DD-2
52			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i> (Pallas, 1776)		
53			エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i> (Swinhoe, 1861)		NT-r
54			キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i> (Temminck, 1836)		NT-g
55			オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i> (Temminck, 1829)		NT-g
56			セセキレイ科	セセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> Tunstall, 1771	
57	アトリ科	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i> Linnaeus, 1758			
58		カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i> (Linnaeus, 1766)			
59		マヒワ	<i>Carduelis spinus</i> (Linnaeus, 1758)			
60		ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i> (Linnaeus, 1758)			
61		イカル	<i>Eophona personata</i> (Temminck & Schlegel, 1848)			
62	ホオジロ科	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i> Brandt, 1843			
63		ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i> Temminck, 1836			
64		アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i> Pallas, 1776			
65		クロジ	<i>Emberiza variabilis</i> Temminck, 1836			
66	チメドリ科	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i> (Scopoli, 1786)			
合計	11 目	32 科	66 種		8	22

※ 分類群の並び、科名・和名・学名等は、原則として「日本鳥類目録改訂第7版」（日本鳥学会，2012）に従った

### （3）両生類・爬虫類

文献調査及び現地調査の結果、5科7種の両生類、5科8種の爬虫類が確認された（表6）。

昨年度に綾町ユネスコエコパーク推進室が行った調査において、保存地区への変更候補地（現在は保全利用地区）でコガタブチサンショウウオとタカチホヘビが確認された。また、今年度の

現地調査では、同変更候補地において、ベッコウサンショウウオが確認された。

環境省レッドリスト 2017 または宮崎県レッドリスト 2015 に掲載されている種は、コガタブチサンショウウオ、ベッコウサンショウウオ、アカハライモリ、ニホンヒキガエル、タカチホヘビの5種である。

ベッコウサンショウウオは九州中央山地周辺の山塊に生息し、溪流の源流部とその周囲の森林を生息場所としている。これまで、前述の3つの調査や専門家による探索が行われてきたものの、当該地域を含む大森岳山塊では確認されていなかった。

表 6 両生類・爬虫類確認種一覧

No.	目	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)	H29 現地 調査
1	有尾目	サンショウウオ科	コガタブチサンショウウオ	<i>Hynobius stejnegeri</i> Dunn, 1923	NT	VU-g	
2			ベッコウサンショウウオ	<i>Hynobius ikioi</i> Matsui, Nishikawa et Tominaga, 2017	VU	EN-g	○
3		イモリ科	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i> (Boie, 1826)	NT		
4	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル	<i>Bufo japonicus japonicus</i> Temminck et Schlegel, 1838		NT-g	
5		アカガエル科	タゴガエル	<i>Rana tagoi</i> Okada, 1928			○
6			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i> Wemer, 1903			
7		アオガエル科	カジカガエル	<i>Buergeria buergeri</i> (Temminck et Schlegel, 1838)			
8		有隣目	トカゲ科	ニホントカゲ	<i>Plestiodon japonicus</i> (Peters, 1864)		
9	カナヘビ科		ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i> (Schlegel, 1838)			
10	タカチホヘビ科		タカチホヘビ	<i>Achalinus spinalis</i> Peters, 1869		DD-2	
11	ナミヘビ科		ジムグリ	<i>Euprepophis conspicillatus</i> (Boie, 1826)			
12			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i> (Boie, 1826)			
13			シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i> (Boie, 1826)			
14	クサリヘビ科		ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i> (Boie, 1826)			
15		ニホンマムシ	<i>Gloydus blomhoffii</i> (Boie, 1826)				
合計	3目	10科	15種		3	4	2

※ 分類群の並び、科名・和名・学名等は、原則として「日本産爬虫両生類標準和名リスト」に従った  
(日本爬虫両生類学会2017年12月9日版、[http://herpetology.jp/wamei/index\\_j.php](http://herpetology.jp/wamei/index_j.php))

#### (4) 昆虫類

文献及び既存資料調査の結果、15目135科841種の昆虫類が確認された(表7:巻末)。

当該地域の昆虫類については、綾照葉樹林の生態系調査でチョウ目(鱗翅目)の調査がなされ、その後、綾ユネスコエコパーク生物生育・基礎調査でコウチュウ目(鞘翅目)やカメムシ目(半翅目)を中心とした調査が行われた。また、モニタリングサイト1000では地表徘徊性甲虫類の調査が行われている。今回のリストは、これらの調査結果から綾森林生態系保護地域内(変更予定箇所を含む)で確認され、種名まで同定されている記録を抽出して作成した。

環境省レッドリスト2017または宮崎県レッドリスト2015に掲載されている種は、ヒラタミミズク、コツバメ、スギタニルリシジミ、キリシマミドリシジミ、シータテハ、オナガアゲハ、ヒサゴスズメ、ルリモンホソバ、ウスイロシマゲンゴロウ、マダラクワガタ、ヒゲナガカミキリ、セダカコブヤハズカミキリ、イヨヒメハナカミキリ、ムモンチャイロホソバネカミキリ、トゲアリの15種である。

昨年度に綾町ユネスコエコパーク推進室が行った調査において、保存地区への変更候補地(現在は保全利用地区)でトゲアリが確認された。また、今年度に行った森林調査中にも保全利用地区への変更候補地(現在は郷土の森)で同種が確認された。

(5) 陸産貝類

文献調査及び専門家への聞き取り調査を元に一覧を作成した。その結果、13科52種の陸産貝類が確認された(表8)。

注目すべき種としては、宮崎県固有種のサダマイマイ、九州中央部に分布するナンピギセルやカンダマイマイ、宮崎県固有種のシイバムシオイ等が挙げられる。昨年度に綾町ユネスコエコパーク推進室が行った調査において、保存地区への変更候補地(現在は保全利用地区)でサダマイマイとカンダマイマイが確認された。

表8 陸産貝類確認種一覧

No.	科	種名	学名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
1	ヤマタニシ科	ヤマタニシ	Cyclophorus herklotsi Martens, 1861		
2		アツブタガイ	Cyclotus (procyclus) campanulatus Martens, 1865		
3		ミジンヤマタニシ	Nakadaella micron (Pilsbry, 1900)		
4		ヤマクルマガイ	Spirostoma japonicum (A. Adams, 1867)		
5	ムシオイガイ科	サツمامシオイ	Chamalycaeus satsumanus (Pilsbry, 1902)	NT	NT-g
6		タネガシマムシオイ	Chamalycaeus tanegashimae (Pilsbry, 1902)	NT	
7		シイバムシオイ	Chamalycaeus shiibaensis Minato, 2005	CR+EN	CR-r
8	アズキガイ科	アズキガイ	Pupinella (pupinopsis) rufa (Sowerby, 1864)		
9	ゴマガイ科	ヒダリマキゴマガイ	Palaina (cylindropalina) pusilla (Martens, 1877)		
10		キュウシュウゴマガイ	Diplommatina (sinica) tanegashimae kyushuensis Pilsbry & Hirase, 1904		
11	キセルガイモドキ科	キセルガイモドキ	Mirus Reinianus (Kobelt, 1875)		
12	キセルガイ科	スグヒダギセル	Paganizapyx strictaluna (Boettger, 1877)		
13		アワジギセル	Pinguiphaedusa awajensis (Pilsbry, 1900)		OT-1
14		アラナミギセル	Tyrannophaedusa oxycyma (Pilsbry, 1902)		OT-1
15		シリオレギセル	Decoliphaedusa bilabrata (Smith, 1876)		
16		ナンピギセル	Pauciphaedusa tosiyukii Minato & Habe 1983	CR+EN	VU-r
17		シンチュウギセル	Vitriphaedusa aenea (Pilsbry, 1903)		CR-r
18		オキギセル	Vastina vasta (Boettger, 1877)		
19		オキモドキギセル	Vastina (Vastina) okimodoki Minato & Tada, 1990	NT	NT-g
20		カタギセル	Vastina (Mesophaedusa) interlamellaris (Martens, 1876)	NT	OT-1
21		アメイロギセル	Vastina (Mesophaedusa) viridiflava (Boettger, 1877)		
22		ナミハダギセル	Vastina (Mesophaedusa) cymatodes (Pilsbry, 1905)		OT-1
23	シイボルトコギセル	Phaedusa sieboldtii (Küster, 1847)			
24	オカクチキレガイ科	オカクチウジガイ	Allopeas clavulinum kyotoense (Pilsbry & Hirase, 1904)		
25	タワラガイ科	タワラガイ	Sinoennea iwakawa (Pilsbry, 1900)		
26	ナタネガイ科	ミジンナタネガイ	Punctum atomus Pilsbry & Hirase, 1904		
27	ナメクジ科	ヤマナメクジ	Meghimatium fruhstorferi (Collinge, 1901)		
28	ベッコウマイマイ科	カサキビ	Trochochlamys crenulata (Gude, 1900)		
29		ヒメカサキビ	Trochochlamys subcrenulata (Pilsbry, 1901)	NT	NT-g
30		サツマヒメカサキビ	Trochochlamys satsumana (Hirase, 1908)	DD	DD-1
31		トサキビ	Trochochlamys sororcula (Pilsbry, 1904)	DD	DD-1
32		ハリマキビ	Parakaliella harimensis (Pilsbry, 1901)		
33		ヒメベッコウ	Discoconulus sinapidium (Reinhardt, 1877)		
34		ヤクシマヒメベッコウ	Discoconulus yakuensis (Pilsbry, 1902)		
35		コシタカシトラガイ	Sitalina circumcincta (Reinhardt, 1883)		
36		ウメムラシトラガイ	Sitalina japonica Habe, 1964	NT	NT-g
37		オオクラヒメベッコウ	Yamatochlamys lampra (Pilsbry & Hirase, 1904)		
38		ハチジョウヒメベッコウ	Yamatochlamys circumdata (Pilsbry, 1902)	NT	EN-r
39		ツノイロヒメベッコウ	Ceratochlamys ceratodes (Gude, 1900)		
40		ヒラベッコウガイ	Bekkochlamys microgapta (Pilsbry, 1900)	DD	
41		ハクサンベッコウsp.	Nipponochlamys sp.		
42	レンズガイ	Otesiopsis japonica (Moellendorff, 1885)	VU	NT-g	
43	ナンバンマイマイ科	コベソマイマイ	Satsuma (Satsuma) myomphala myomphala (Martens, 1865)		
44		サダマイマイ	Satsuma sadami Kuroda & Minato, 1975	CR+EN	CR-r
45		シメクチマイマイ	Satsuma ferruginea (Pilsbry, 1900)		
46	オオシミロウドマイマイ	Nipponochloritis osumiensis (Pilsbry & Hirase, 1904)	NT	CR-r	
47	オナジマイマイ科	コウベマイマイ	Aegista kobensis (Schmacker & Boettger, 1890)		
48		ジタロウマイマイ	Aegista awajensis (Gude, 1900)		
49		カンダマイマイ	Aegista (Coelorus) kandai Azuma, 1970	CR+EN	VU-g
50		イロアセオトメマイマイ	Trishoplita collinsoni casta Pilsbry, 1901		OT-1
51		ツクシマイマイ	Euhadra herklotsi herklotsi (Martens, 1860)		
52		タカチホマイマイ	Euhadra herklotsi nesiotica (Pilsbry, 1902)		
合計	13科	52種		16	19





写真 18 クロホオヒゲコウモリ



写真 19 テングコウモリ



写真 20 コテングコウモリ



写真 21 キクガシラコウモリ



写真 22 ベッコウサンショウウオ



写真 23 ベッコウサンショウウオ生息環境



写真 24 トゲアリ



写真 25 サダミマイマイ

© 西 邦雄

## 6 保護林の区分及び区域変更の妥当性

### (1) 保護林区分

森林生態系保護地域（変更なし）

#### (2) 妥当性

##### 1) 保全利用地区から保存地区への変更（2046 は、は1、に、ほ、へ、ち：83.03ha）（図9）

2046 林班のは、は1、に、ほ、へ、ち小班は最新林齢80年生（ほ小班のみ66年生）の森林である。に、ほ小班には一部にスギ・ヒノキの人工林が見られ針広混交しているが、それ以外は発達した照葉樹林となっている。

今年度、調査プロットを標高500～550m付近（10518）と700～750m付近（10517）に2箇所設置して森林調査を行った。10518はスダジイ、タブノキ、イスノキ、イヌマキ等の巨木が高木層を優占しており、胸高直径112.6cmのタブノキや同92.1cmのイヌマキ、同91cmのスダジイが生育していた。また、これらの高木には着生植物も生育しており、オサラン、マメヅタラン、シノブ等が確認された。林床ではキリシマシャクジョウが確認された。10517はアカガシ、イスノキ、ウラジログシ、タブノキ、モミ等が高木層を優占しており、胸高直径99.1cmや同97.2cmのアカガシが生育していた。雲霧帯に近いのか着生植物が豊富で、ウチョウラン、ナゴラン、ムギラン、マメヅタラン、セッコク、キヨスミコケシノブ、タカノハウラボシ等が確認された。このほか、昨年度に綾町ユネスコエコパーク推進室が実施した調査において、低標高部でマツバラシ、ヒモラン、ヨコグラノキ、ギンリョウソウ、イワタバコ、ホンゴウソウ、ウエマツソウ、クロムヨウラン、フウラン、カシノキラン、ミヤマムギラン、ボウラン、ガンゼキラン、ナギラン、ヤクシマラン等の重要種も確認されている。

動物類については、今年度の調査でベッコウサンショウウオの生息が確認された。本種は九州中央山地周辺の山塊の山地溪流源流部に生息している小型サンショウウオの仲間で、宮崎県条例に基づく指定希少野生動植物に指定されている。大森岳山塊ではこれまでも本種の調査が行われてきたが生息が確認されていなかった。今回の生息確認により、2046林班が綾森林生態系保護地域において唯一の確認地点である。また、昨年度の調査では、ムササビ、コシジロヤマドリ、オオルリ、コガタブチサンショウウオ、ニホンヒキガエル、タカチホヘビ、サダマイマイ、カンダマイマイ、トゲアリ等の重要種も確認されている。

これらの調査結果を踏まえると、2046林班には我が国を代表する発達した照葉樹林が広がっており、さらに希少な動植物が多数生育・生息していることから、森林生態系保護地域の保存地区に変更することが妥当である。

##### 2) 郷土の森から保存地区への変更（2042 ほ1、2043 い：43.42ha）（図10）

2042 ほ1林小班は最新林齢96年生の森林で、一部にスギ・ヒノキの人工林が見られ針広混交しているが、それ以外は発達した照葉樹林となっている。今年度、調査プロットを標高400～450m付近（10516）に1箇所設置して森林調査を行った。10516はイチイガシ、タブノキ、ツブラジイ、ウラジログシ等が高木層を優占しており、胸高直径109.2cmのタブノキや同87.0cmのイチイガシが生育していた。着生植物は、アオガネシダ、カタヒバ、シノブ等が見られ、調査区域の外ではムギランとミヤマムギランが確認された。

2043 い林小班は最新林齢 97 年生の森林で、小班中央の谷部にスギ・ヒノキの人工林が見られる他は、発達した照葉樹林となっている。今年度、調査プロットを標高 250~300m 付近 (10515) に 1 箇所設置して森林調査を行った。10515 はイチイガシ、タブノキ、スダジイ、ハナガガシ、ツブラジイ等が高木層を優占しており、胸高直径 128.8cm のイチイガシや同 127.0cm のスダジイの巨木が生育していた。着生植物はフウランの株数が多く、そのほか、ナゴラン、アオガネシダ、ヒトツバ、カタヒバ等が確認された。また、林床ではナギランやギンリョウソウモドキ (調査区隣接外) が確認された。

2042 ほ 1 林小班と 2043 い林小班は、約 100 年生の林分であるが、その中には 150 年生以上と考えられるような巨木も点在している。動植物相に関する調査は十分ではないが、巨木が生育していることから着生植物の重要な生育地になっていると考えられ、また、巨木の存在は樹洞性の小型哺乳類をはじめとして鳥類、昆虫類に重要な生息環境を提供していると予想される。

以上のことから、2042 ほ 1 林小班と 2043 い林小班は森林生態系保護地域の保存地区に変更することが妥当である。

### 3) 郷土の森から保全利用地区への変更 (図 11)

(2041 い他 16 林小班、2042 い他 4 林小班、2043 ろ他 2 林小班、2044 い他 14 林小班、2091 は他 5 林小班 : 274.41ha)

当該地域は、綾南川左岸側に沿って位置する森林である。綾南川沿いの急傾斜斜面には非常に発達した照葉樹林が残っており、最新林齢は 37 年生から 175 年生となっている。このうち、発達した照葉樹林に 4 箇所の調査プロットが設置されており (10511、10512、10513、10514)、今年度に調査が実施された。これらの調査区では、胸高直径が 150cm を超えるイチイガシが見られるなど、巨木が多数生育しており、それでいて溪谷沿いで空中湿度が高いため、オサラン、カシノキラン、セッコク、ナゴラン、フウラン、ボウラン、ミヤマムギラン、ヒモラン、アオガネシダ、イワヤナギシダ、シノブ、カタヒバ、ヒトツバなどの着生植物が確認された。また、林床にはヤクシマランやナギランが見られ、菌類のキリノミタケも 10512 と 10513 の 2 箇所で確認された。

加えて、巨木が多いためか、樹洞性と考えられているクロホオヒゲコウモリ、テングコウモリ、コテングコウモリも今年度の調査で生息が確認されている。

当該地域には、発達した照葉樹林の他に、スギ・ヒノキの人工林も見られる。これらの人工林も含めて保全利用地区にすることで、保存地区に外部からの影響が直接及ばないよう緩衝の役割を果たすことができると考えられる。

以上のことから、当該地域は森林生態系保護地域の保全利用地区に変更することが妥当である。

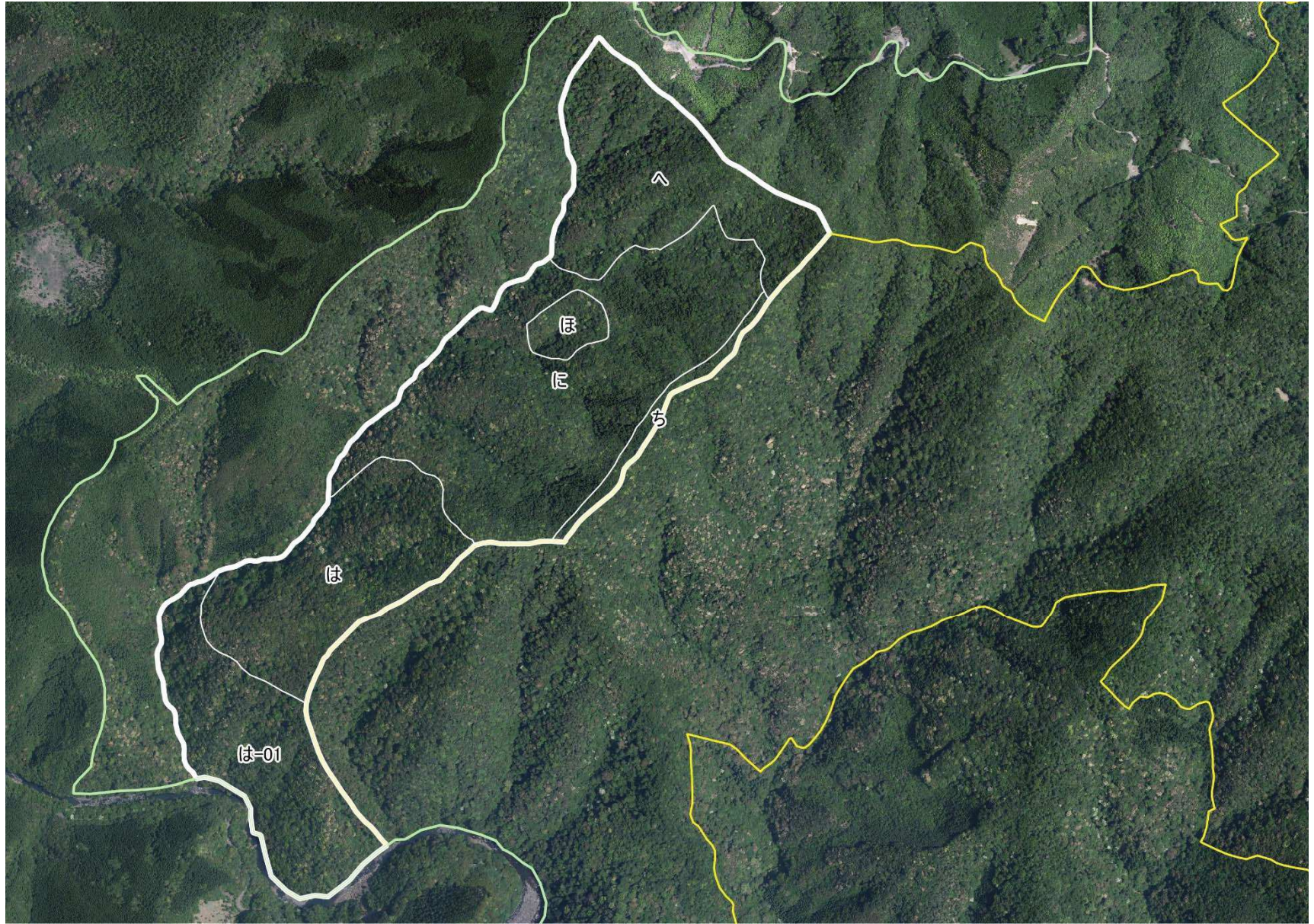


図9 保全利用地区から保存地区への変更

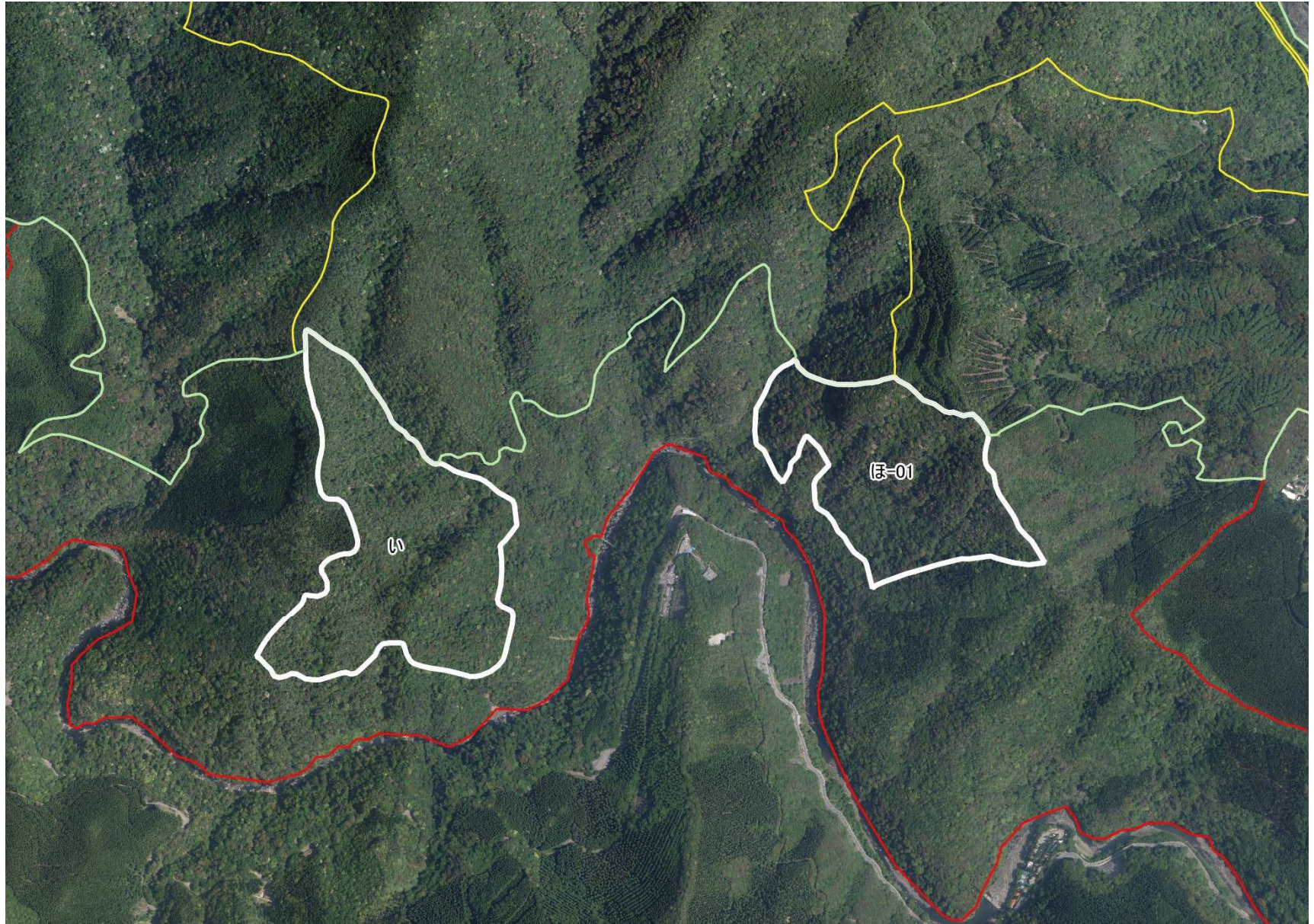


図 10 郷土の森から保存地区への変更

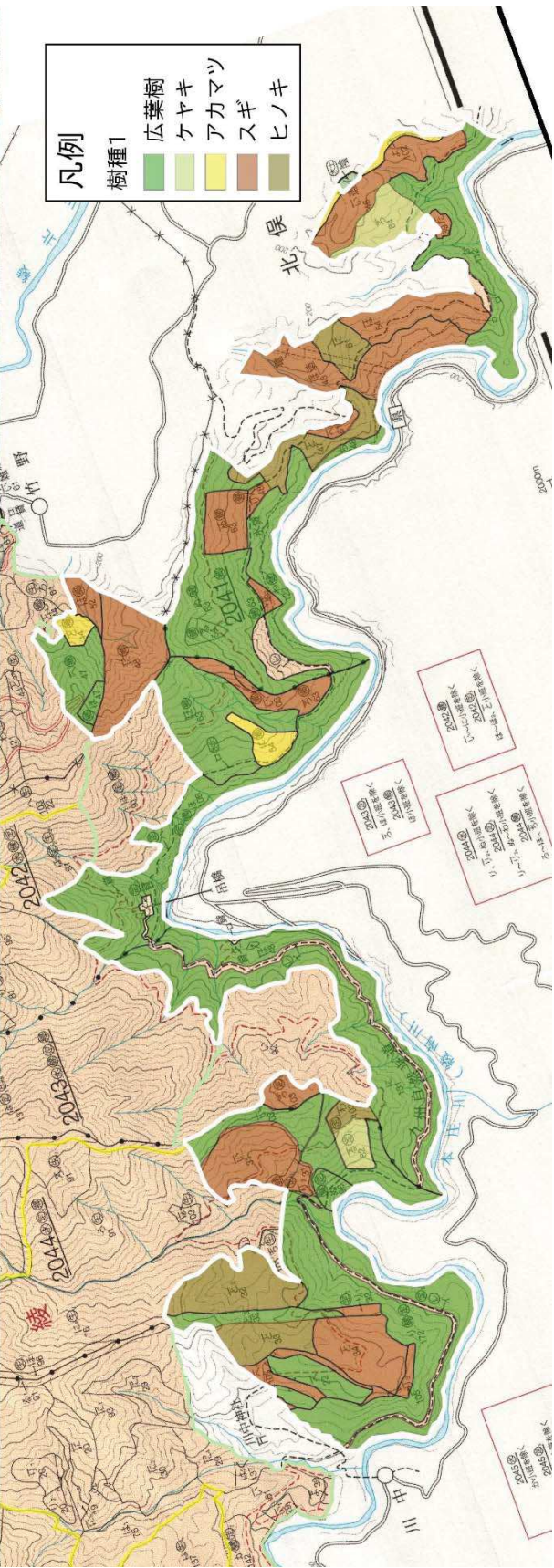
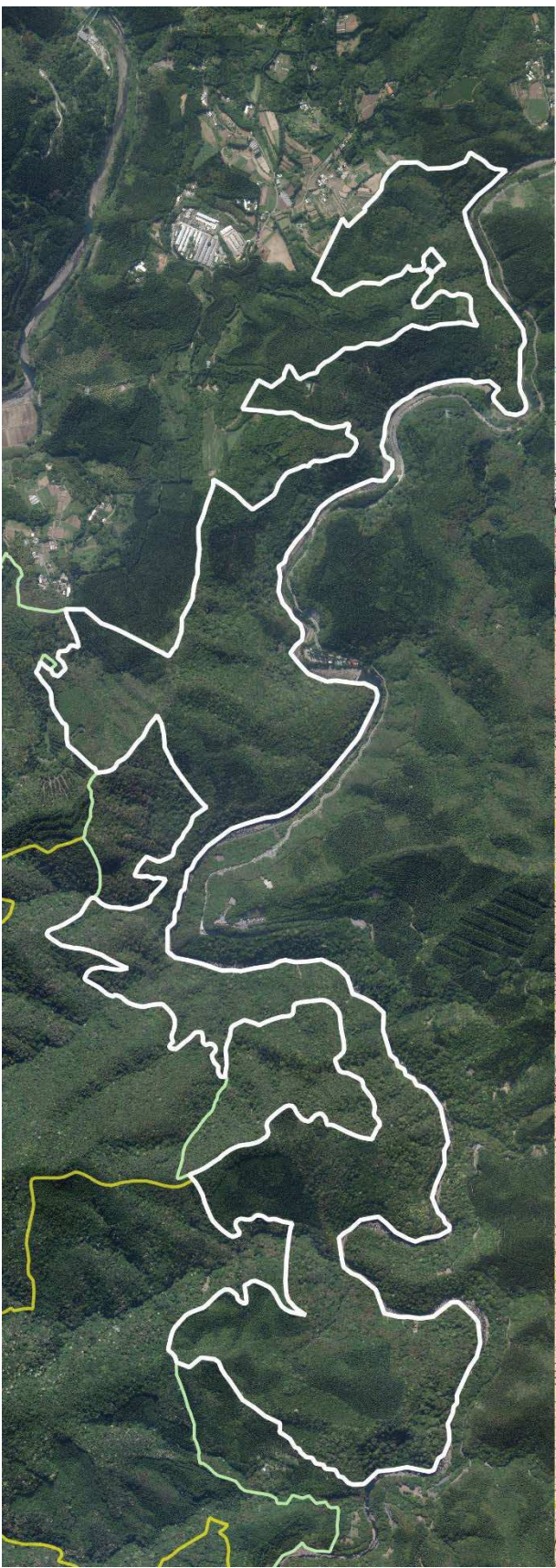


図11 郷土の森から保全利用地区への変更

## 保護林の設定要領（抜粋）

### 1 森林生態系保護地域

#### （１）目的

我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的とする。

#### （２）設定の基本的な考え方

森林管理局長は、我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を主体とした、森林生態系としてのまとまりを持つ区域であって、原則として2,000ヘクタール以上の規模を有するもの（ただし、島しょ、半島等特殊な環境にあつては、原則として500ヘクタール以上の規模を有する。）のうち、（１）の目的から特に保護・管理を必要とする区域を森林生態系保護地域として設定することができるものとする。なお、設定する区域には、我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林と一体的に保護・管理すべき草地、湿地、高山帯、岩石地等を含めることができるものとする。

#### （３）地帯区分

森林生態系保護地域は、一の区分について保存地区及び保全利用地区に区分するものとする。

ア 保存地区は、我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を主体とする区域とする。

イ 保全利用地区は、保存地区に外部からの影響が直接及ばないよう緩衝の役割を果たすために必要と考えられる広がりを持つ、原則として保存地区と同質の天然林を主体とする区域とし、天然林と一体的に保護・管理することが相応な人工林を含めることができるものとする。

#### （４）取扱いの方針

森林生態系保護地域の保存地区及び保全利用地区の取扱いは次のとおりとする。

##### ア 保存地区

原則として人為を加えずに自然の推移に委ねるものとする。

##### イ 保全利用地区

（ア）天然林については保存地区と同様とし、人工林については育成複層林施業等を行うことができるものとして、将来的には天然林への移行を図るものとする。

（イ）必要に応じて草地、湿地、高山帯、岩石地等の特異な環境を保護・管理することができるものとする。

ウ 次に掲げる行為については、必要に応じて行うことができるものとする。

（ア）学術の研究、自然観察教育、遺伝資源の利用、その他公益上の事由により必要と認められる行為（（エ）に掲げるものを除く。）

- (イ) 山火事の消火、大規模な林地崩壊・地すべり・噴火等の災害の復旧及びこれらに係る予防的措置等、非常災害に際して必要と認められる行為
- (ウ) 鳥獣・病害虫被害及び移入種対策として必要と認められる行為
- (エ) 学術の研究、自然観察教育等のための軽微な施設の設置
- (オ) 保全利用地区における枯損木及び被害木の伐倒・搬出
- (カ) 標識類の設置等
- (キ) その他法令等の規定に基づき行うべき行為

#### (5) その他

- ア 森林生態系保護地域に外接する森林においては、当該保護林の急激な環境変化を避けるため、原則として皆伐及び漸伐（以下「皆伐等」という。）による施業は行わないものとし、複層伐及び択抜を中心とした育成複層林施業又は天然性林施業を行うものとする。
- イ 森林生態系保護地域の区域は、原則として地勢線によるものとし、必要に応じ区域を明確にするため、標識の設置を行うものとする。
- イ 保全利用地区は、原則として地勢線を介し保存地区の周囲を全て取り囲むよう設定するものとする。ただし、森林の状況、立地条件等からみて、保全利用地区が保存地区の周囲を全て取り囲まなくても保存地区に外部の影響が及ばないと認められる場合を除くことができるものとする。

#### 4 モニタリング

- (1) 森林管理局長は、モニタリング、その他簡素な現況調査により既に設定した保護林の状況を的確に把握するものとする。
- (2) モニタリングは、各保護林の状況を勘案し、以下のいずれかの間隔で実施するものとする。
  - ア 5年未満ごと
    - 近い将来に当該地域における絶滅の危険性が極めて高い個体群を保護している保護林
  - イ 5年ごと
    - (ア) 遷移の途中段階にある保護林
    - (イ) 復元を行っている保護林
    - (ウ) 保護対象の個体群の持続性に問題がある保護林
    - (エ) 保護林外部からの影響を受けている保護林
    - (オ) 鳥獣・病害虫被害及び移入種による影響が顕著にある保護林
    - (カ) 温暖化による影響が顕著にある保護林
    - (キ) その他、短期間で大きな変化が想定される保護林
  - ウ 10年ごと
    - ア及びイに該当しない保護林



## 7 保護林の名称及び妥当性

### (1) 名称

綾森林生態系保護地域（変更なし）

### (2) 妥当性

（省略）

## 8 面積

1485.30 ヘクタール

## 9 小班別面積及びその林況等

小班別面積及びその林況等は、表9に示すとおりである。

また、林班ごとの面積の変化を表10に示す。

表9 小班別面積及びその林況等（その1）

林班	小班	林齢	現樹種1	割合	現樹種2	割合	現樹種3	割合	現樹種3	割合	面積	地帯区分(案)	施業細分	
2041	い	51	スギ	75	ヒノキ	25					8.15 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ろ	89	他広葉樹	100							4.35 ha	保全利用地区	育成天然林	
	は	59	スギ	60	ヒノキ	40					6.31 ha	保全利用地区	育成天然林	
	に	66	スギ	30	ヒノキ	70					2.91 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ほ	53	スギ	100							10.32 ha	保全利用地区	育成天然林	
	へ	66	スギ	60	ヒノキ	40					0.88 ha	保全利用地区	育成天然林	
	と	52	スギ	30	ヒノキ	50	他広葉樹	20			5.58 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ち	53	他広葉樹	100							0.75 ha	保全利用地区	天然生林	
	り	53	スギ	100							0.53 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ぬ	68	スギ	90	他広葉樹	10					3.96 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ぬ1	68	他針葉樹	25	他広葉樹	75					18.44 ha	保全利用地区	天然生林	
	ぬ2	68	スギ	100							0.85 ha	保全利用地区	育成天然林	
	る	59	ヒノキ	20	他針葉樹	56	他広葉樹	24			1.17 ha	保全利用地区	育成天然林	
	わ	127	他広葉樹	100							11.79 ha	保全利用地区	天然生林	
	か	117	他広葉樹	100							16.35 ha	保全利用地区	天然生林	
	よ	107	他針葉樹	60	他広葉樹	40					1.39 ha	保全利用地区	天然生林	
た	44	スギ	70	ヒノキ	30					0.53 ha	保全利用地区	育成天然林		
2042	い	108	スギ	80	ヒノキ	10	他針葉樹	10			0.18 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ろ	68	スギ	60	ヒノキ	25	他広葉樹	15			3.29 ha	保全利用地区	育成天然林	
	は	68	スギ	25	ヒノキ	15	他針葉樹	10	他広葉樹	50	13.68 ha	保全利用地区	育成天然林	
	に	59	他針葉樹	40	他広葉樹	60		0			2.25 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ほ	111	他広葉樹	100		0		0			21.27 ha	保全利用地区	天然生林	
	ほ1	96	ヒノキ	5	他針葉樹	5	他広葉樹	90			18.30 ha	保存地区	天然生林	
	ほ2	96	ヒノキ	5	他針葉樹	5	他広葉樹	90			16.18 ha	保存地区	天然生林	
	へ	108	ヒノキ	88				0			5.51 ha	保全利用地区	複層林	
		27			他広葉樹	12								
	と	101	スギ	20	ヒノキ	30	他広葉樹	50			1.84 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ち	101	スギ	9	ヒノキ	12	他針葉樹	4	他広葉樹	75	17.79 ha	保存地区	育成天然林	
	り	86	スギ	5	ヒノキ	10	他広葉樹	85			6.78 ha	保存地区	天然生林	
ぬ	86	他針葉樹	20	他広葉樹	80		0			10.54 ha	保存地区	天然生林		
2043	い	97	スギ	10	ヒノキ	15	他広葉樹	75			25.12 ha	保存地区	育成天然林	
	ろ	108	スギ	100		0	0			2.05 ha	保全利用地区	育成天然林		
	は	53	スギ	100		0	0			0.12 ha	保全利用地区	育成天然林		
	に	136	他広葉樹	100		0	0			34.26 ha	保全利用地区	天然生林		
	ほ	136	スギ	10	他針葉樹	5	他広葉樹	85			52.39 ha	保存地区	天然生林	
2044	い	36	スギ	70	ヒノキ	30					7.45 ha	保全利用地区	育成天然林	
	い1	108	スギ	45	ヒノキ	30	他針葉樹	20	他広葉樹	5	4.00 ha	保全利用地区	育成天然林	
	ろ	96	スギ	10	ヒノキ	20	他針葉樹	5	他広葉樹	65	30.51 ha	保全利用地区	天然生林	
	ろ1	96	ヒノキ	90	他針葉樹	10		0			4.83 ha	保全利用地区	育成天然林	
	は	108	スギ	100		0		0			0.74 ha	保全利用地区	育成天然林	
	に	81	スギ	1	ヒノキ	24	他針葉樹	5	他広葉樹	70	24.88 ha	保存地区	天然生林	
	に1	81	スギ	5	ヒノキ	20	他広葉樹	75			15.11 ha	保存地区	育成天然林	
	に2	81	スギ	80	他広葉樹	20		0			2.18 ha	保全利用地区	育成天然林	
	に3	101	他針葉樹	30	他広葉樹	70		0			1.18 ha	保存地区	育成天然林	
	に4	81	スギ	1	ヒノキ	24	他針葉樹	5	他広葉樹	70	26.48 ha	保全利用地区	天然生林	
	ほ	101	他針葉樹	10	他広葉樹	90		0			3.60 ha	保存地区	天然生林	
	ほ1	101	他針葉樹	10	他広葉樹	90		0			2.41 ha	保全利用地区	天然生林	
	へ	27	他広葉樹	100		0		0			3.97 ha	保全利用地区	育成天然林	
	へ1	110	スギ	90	他広葉樹	10		0			1.94 ha	保全利用地区	育成天然林	
	と	38	スギ	40	ヒノキ	60		0			4.62 ha	保全利用地区	育成天然林	
	と1	39	スギ	85	ヒノキ	15		0			7.86 ha	保全利用地区	育成天然林	
	と2	37	スギ	39	ヒノキ	51	他針葉樹	5	他広葉樹	5	7.81 ha	保全利用地区	育成天然林	
	と3	37	他広葉樹	100		0		0			4.91 ha	保全利用地区	天然生林	
	ち	110	ヒノキ	100		0		0			1.18 ha	保全利用地区	育成天然林	
	り	175	他広葉樹	100		0		0			33.27 ha	保全利用地区	天然生林	
り1	37	他広葉樹	100		0		0			0.72 ha	保全利用地区	天然生林		

表9 小班別面積及びその林況等（その2）

林班	小班	林齢	現樹種1	割合	現樹種2	割合	現樹種3	割合	現樹種3	割合	面積	地帯区分(案)	施業細分
2044	り2	36	スギ	100		0		0			1.32 ha	保全利用地区	育成天然林
	り3	110	スギ	70	他広葉樹	30		0			0.93 ha	保全利用地区	育成天然林
	ぬ	101	他広葉樹	100		0		0			1.41 ha	保全利用地区	天然生林
	る	87	他広葉樹	100		0		0			2.46 ha	保全利用地区	育成天然林
	わ	108	ヒノキ	80	他広葉樹	20		0			1.30 ha	保全利用地区	育成天然林
2045	い	66	スギ	80	ヒノキ	15	他広葉樹	5			5.92 ha	保全利用地区	育成天然林
	い1	34	スギ	80	他広葉樹	20		0			0.78 ha	保全利用地区	育成天然林
	ろ	66	スギ	100		0		0			1.05 ha	保全利用地区	育成天然林
	ろ1	55	スギ	100		0		0			0.43 ha	保全利用地区	育成天然林
	は	142	他針葉樹	15	他広葉樹	85		0			13.40 ha	保存地区	天然生林
	は1	81	スギ	5	ヒノキ	2	他針葉樹	3	他広葉樹	90	7.49 ha	保全利用地区	天然生林
	は2	142	他針葉樹	15	他広葉樹	85		0			0.92 ha	保全利用地区	天然生林
	に	25	他広葉樹	100		0		0			3.65 ha	保全利用地区	育成天然林
	に1	98	スギ	20	ヒノキ	10	他広葉樹	70			14.03 ha	保全利用地区	育成天然林
	に2	35	スギ	30	ヒノキ	53	他広葉樹	17			6.00 ha	保全利用地区	育成天然林
2045	に3	34	スギ	78	ヒノキ	22		0			4.58 ha	保全利用地区	育成天然林
	に4	34	スギ	63	ヒノキ	37		0			3.94 ha	保全利用地区	育成天然林
	に5	24	他広葉樹	100		0		0			1.45 ha	保全利用地区	天然生林
	ほ	81	スギ	5	ヒノキ	2	他針葉樹	3	他広葉樹	90	17.81 ha	保存地区	天然生林
	へ	82	スギ	10	ヒノキ	15	他広葉樹	75			13.70 ha	保存地区	育成天然林
	と	82	他広葉樹	100		0		0			44.55 ha	保存地区	天然生林
	ち	157	他広葉樹	100		0		0			5.73 ha	保存地区	天然生林
	り	82	スギ	30	ヒノキ	20	他広葉樹	50			21.21 ha	保全利用地区	育成天然林
	り1	25	他広葉樹	100		0		0			1.85 ha	保全利用地区	育成天然林
	り2	25	他広葉樹	100		0		0			1.03 ha	保全利用地区	天然生林
	ぬ	152	他広葉樹	100		0		0			15.58 ha	保存地区	天然生林
	る	96	他針葉樹	50	他広葉樹	50		0			0.51 ha	保存地区	天然生林
	る1	96	他針葉樹	50	他広葉樹	50		0			2.04 ha	保全利用地区	天然生林
	わ	152	他針葉樹	20	他広葉樹	80		0			2.82 ha	保存地区	天然生林
	2046	か	147	他広葉樹	100		0		0			3.59 ha	保全利用地区
よ		44	スギ	100		0		0			0.25 ha	保全利用地区	育成天然林
い		147	他広葉樹	100		0		0			2.79 ha	保全利用地区	天然生林
ろ		81	他針葉樹	20	他広葉樹	80		0			2.99 ha	保存地区	天然生林
は		80	他広葉樹	100		0		0			14.40 ha	保存地区	天然生林
は1		80	他広葉樹	100		0		0			14.61 ha	保存地区	天然生林
に		80	スギ	25	他針葉樹	10	他広葉樹	65			32.81 ha	保存地区	天然生林
ほ		66	ヒノキ	20	他広葉樹	80		0			1.95 ha	保存地区	天然生林
へ		80	他針葉樹	20	他広葉樹	80		0			17.53 ha	保存地区	天然生林
と		157	他針葉樹	15	他広葉樹	85		0			50.35 ha	保存地区	天然生林
2047	と1	157	他針葉樹	15	他広葉樹	85		0			1.75 ha	保全利用地区	天然生林
	ち	80	他広葉樹	100		0		0			1.73 ha	保存地区	天然生林
	に	44	スギ	76	ヒノキ	24		0			7.91 ha	保全利用地区	育成天然林
	に2	45	スギ	60	ヒノキ	40		0			7.00 ha	保全利用地区	育成天然林
	と	80	他広葉樹	100		0		0			16.12 ha	保全利用地区	天然生林
	と1	80	他広葉樹	100		0		0			17.27 ha	保全利用地区	天然生林
2091	ち	92	他針葉樹	5	他広葉樹	95		0			7.64 ha	保全利用地区	天然生林
	ち1	23	他広葉樹	100		0		0			0.31 ha	保全利用地区	天然生林
	い1	66	スギ	100		0		0			0.85 ha	保全利用地区	育成天然林
	ろ	66	他広葉樹	100		0		0			2.59 ha	保全利用地区	天然生林
	は	57	スギ	100		0		0			1.80 ha	保全利用地区	育成天然林
	に	53	スギ	63	他広葉樹	37		0			9.69 ha	保全利用地区	育成天然林
	ほ	52	他広葉樹	100		0		0			1.05 ha	保全利用地区	天然生林
	へ	52	スギ	44	ヒノキ	10	他針葉樹	10	他広葉樹	36	5.06 ha	保全利用地区	育成天然林
	と	49	スギ	41	ヒノキ	49	他針葉樹	5	他広葉樹	5	1.28 ha	保全利用地区	育成天然林
と1	49	ヒノキ	100		0		0			0.20 ha	保全利用地区	育成天然林	
と2	49	ヒノキ	100		0		0			1.14 ha	保全利用地区	育成天然林	

表9 小班別面積及びその林況等（その3）

林班	小班	林齢	現樹種1	割合	現樹種2	割合	現樹種3	割合	現樹種3	割合	面積	地帯区分(案)	施業細分
2091	ち	56	ヒノキ	55	他広葉樹	40	他広葉樹	5			6.41 ha	保全利用地区	育成天然林
	り	50	他広葉樹	100							1.74 ha	保全利用地区	天然生林
	ぬ	81	他広葉樹	100							0.83 ha	保全利用地区	天然生林
	る	66	スギ	55	ヒノキ	10	他針葉樹	20	他広葉樹	15	44.67 ha	保全利用地区	育成天然林
	わ	126	他針葉樹	5	他広葉樹	95					3.92 ha	保全利用地区	天然生林
	か	119	スギ	75	他広葉樹	25					0.90 ha	保全利用地区	育成天然林
	よ	106	他針葉樹	20	他広葉樹	80					2.87 ha	保全利用地区	天然生林
	た	147	他広葉樹	100							30.54 ha	保存地区	天然生林
	ヌ			0		0					0.23 ha	保存地区	
2092	い	187	他広葉樹	100							54.84 ha	保存地区	天然生林
	ろ	187	他針葉樹	15	他広葉樹	85					24.61 ha	保存地区	天然生林
	は	187	他広葉樹	100							49.91 ha	保存地区	天然生林
	に	187	他針葉樹	10	他広葉樹	90					12.27 ha	保存地区	天然生林
	ハ			0		0					0.37 ha	保存地区	
2093	い	187	他針葉樹	10	他広葉樹	90					104.98 ha	保存地区	天然生林
	い1	187	他針葉樹	1	他広葉樹	99					3.00 ha	保存地区	天然生林
	ろ	187	他広葉樹	100							7.11 ha	保存地区	天然生林
	ろ1	187	他広葉樹	100							16.34 ha	保存地区	天然生林
	は	187	他針葉樹	10	他広葉樹	90					12.61 ha	保存地区	天然生林
2094	い	177	他広葉樹	100							7.58 ha	保存地区	天然生林
	ろ	41	スギ	40	ヒノキ	60					4.88 ha	保全利用地区	育成天然林
	は	157	ヒノキ	5	他広葉樹	95					5.53 ha	保全利用地区	天然生林
	に	41	ヒノキ	100							3.45 ha	保全利用地区	育成天然林
	ほ	187	ヒノキ	10	他広葉樹	90					6.30 ha	保全利用地区	天然生林
	ほ1	98	他広葉樹	100							1.07 ha	保全利用地区	育成天然林
	へ	17	スギ	100							1.00 ha	保全利用地区	育成天然林
	へ1	17	他広葉樹	100							0.77 ha	保全利用地区	育成天然林
	と	132	他広葉樹	100							33.37 ha	保存地区	天然生林
	ち	19	他広葉樹	100							2.00 ha	保全利用地区	育成天然林
	ち1	28	他広葉樹	100							3.84 ha	保全利用地区	育成天然林
	ち2	27	他広葉樹	100							4.88 ha	保全利用地区	育成天然林
	ち3	19	他広葉樹	100							0.69 ha	保全利用地区	天然生林
	ち4	19	他広葉樹	100							1.56 ha	保全利用地区	育成天然林
	り	101	ヒノキ	3	他広葉樹	97					11.78 ha	保全利用地区	天然生林
	ぬ	157	他広葉樹	100							11.98 ha	保全利用地区	天然生林
	る	98	ヒノキ	5	他針葉樹	5	他広葉樹	90			29.72 ha	保全利用地区	天然生林
	る1	33	ヒノキ	100							0.65 ha	保全利用地区	育成天然林
	わ	98	他広葉樹	100							0.90 ha	保全利用地区	天然生林
	わ1	27	他広葉樹	100							0.53 ha	保全利用地区	天然生林
	わ2	26	他広葉樹	100							0.23 ha	保全利用地区	育成天然林
	わ3	27	他針葉樹	100							0.22 ha	保全利用地区	育成天然林
	わ4	21	他広葉樹	100							2.48 ha	保全利用地区	育成天然林
	か	98	他広葉樹	100							0.31 ha	保全利用地区	天然生林
	か1	21	他針葉樹	3	他広葉樹	97					3.24 ha	保全利用地区	育成天然林
	よ	29	他広葉樹	100							0.64 ha	保全利用地区	天然生林
	ニ			0		0					0.35 ha	保存地区	
2095	ほ2	28	他広葉樹	100							1.24 ha	保全利用地区	育成天然林
	ほ3	96	ヒノキ	30	他広葉樹	70					2.73 ha	保全利用地区	育成天然林
	ほ4	28	他広葉樹	100							0.35 ha	保全利用地区	育成天然林
	へ	25	他針葉樹	30	他広葉樹	70					4.08 ha	保全利用地区	育成天然林
	と2	94	ヒノキ	10	他広葉樹	90					0.61 ha	保全利用地区	天然生林
	ち8	20	他広葉樹	100							1.56 ha	保全利用地区	育成天然林
	ち10	94	他広葉樹	100							3.71 ha	保全利用地区	天然生林
り1	94	他針葉樹	15	他広葉樹	85					13.01 ha	保全利用地区	天然生林	
2096	は1	187	他針葉樹	15	他広葉樹	85					1.01 ha	保全利用地区	天然生林
	に1	167	他広葉樹	100							0.89 ha	保全利用地区	天然生林

表 10 林班別の面積の変化

区分	位 置				現状	変更	摘要				
	森林 計画区	森林 管理署	市町村	林班	面積 (ha)	面積 (ha)					
保存地区	大淀川	宮崎	綾町	2042	ほ2、ち、り、ぬ ほ1	51.29	18.30	旧郷土			
				2043	ほ い	52.39	25.12	旧郷土			
				2044	に、に1、に3、ほ	44.77					
				2045	は、ほ、へ、と、ち、ぬ、る、わ	114.10					
				2046	ろ、と は、は1、に、ほ、へ、ち	53.34	83.03	旧保全			
				2091	た、又	30.77		(又)0.23			
				2092	い、ろ、は、に、ハ	142.00		(ハ)0.37			
				2093	い、い1、ろ、ろ1、は	144.04					
				2094	い、と、ニ	41.30		(ニ)0.35			
				小 計					674.00	126.45	
				合 計					800.45		
保全利用地区	大淀川	宮崎	小林市	2047	に、に2、と、と1、ち、ち1	56.25					
			小 計				56.25	0.00			
			綾町	2041	い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ ぬ1、ぬ2、る、わ、か、よ、た		94.26	旧郷土			
				2042	へ、と い、ろ、は、に、ほ	7.35	40.67	旧郷土			
				2043	ろ、は、に		36.43	旧郷土			
				2044	ろ、ろ1、は、に2、に4、ほ1、ち い、い1、へ、へ1、と、と1、と2、と3、り り1、り2、り3、ぬ、る、わ	68.33	83.97	旧郷土			
				2045	い、い1、ろ、ろ1、は1、は2、に、に1 に2、に3、に4、に5、り、り1、り2 る1、か、よ	80.21					
				2046	い、と1 (は、は1、に、ほ、へ、ち)	4.54	83.03	-83.03	保存へ		
				2091	い1、ろ、と2、ち、り、ぬ、る、わ、か、よ は、に、ほ、へ、と、と1	65.92	19.08	旧郷土			
				2094	ろ、は、に、ほ、ほ1、へ、へ1、ち ち1、ち2、ち3、ち4、り、ぬ、る、る1 わ、わ1、わ2、わ3、わ4、か、か1、よ	98.65					
				2095	ほ2、ほ3、ほ4、へ、と2、ち8、ち10、り1	27.29					
				2096	は1、に1	1.90					
			小 計				437.22	191.38			
			合 計					684.85			
			森林生態系保護地域 計					1485.30			
森林生態系保護地域 保存地区					旧 674.00	新 800.45	差 126.45				
森林生態系保護地域 保全利用地区					旧 493.47	新 684.85	差 191.38				
森林生態系保護地域 全体					旧 1167.47	新 1485.30	差 317.83				

## 10 保護林修正案における地帯区分の考え方

当該地域の地帯区分について、原則として人為を加えずに自然の推移に委ねる保存地区と、保存地区に外部からの影響が直接及ばないように緩衝の役割を果たす保全利用地区を、図 11 に示すように変更する。

保存地区は、我が国の気候帯又は森林帯を代表する原生的な天然林を主体とする区域とすることとなっており、今回追加する箇所はこの条件を満たしている。

保全利用地区は、保存地区に外部からの影響が直接及ばないよう緩衝の役割を果たすために必要と考えられる広がりを持つ、原則として保存地区と同質の天然林を主体とする区域とし、天然林と一体的に保護・管理することが相応な人工林を含めることができるとされている。今回追加する箇所は保存地区と同質の天然林を主体とする区域と、天然林と一体的に保護・管理することが相応な人工林が含まれている。

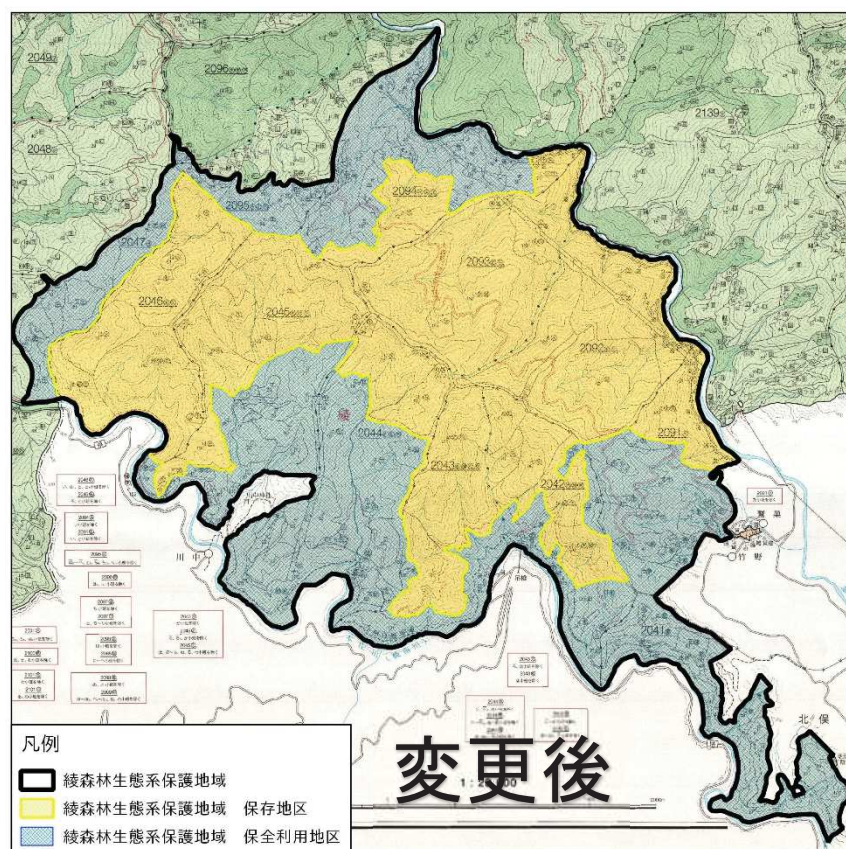


図 11 地帯区分の変更案

## 11 森林保全上の課題

### (1) 保護に関する事項

設定後の保護林の保護に関し、保存地区は原則として人為を加えずに自然の推移に委ねることとする。保存地区の天然林を形成している照葉樹林を一体的に保護することにより、当保護林を保護することが可能となる。

保護に関する課題として、当保護林には希少な野生動植物が多数生息・生育していることが確認されている。これらの種を盗採・盗掘・密猟から保護することが重要であることから、関係行政機関、地元住民等と連携した監視活動の強化や、定期的なモニタリングによる順応的管理が必要である。

### (2) 管理に関する事項

設定後の保護林の管理に関し、保護林内には人工林も存在している。これらのうち、保全利用地区に存在する人工林は、育成複層林施業等を行うことができるものとして、将来的には天然林への移行を図ることとする。また、保存地区内にある小規模なスギ林の取扱いについては歴史的、文化的な観点等から残置し、現在の環境を維持することとする。

全国的に問題となっているニホンジカの植生破壊については、当保護林では深刻な問題となっている。このままの状態が続けば、希少種の消滅のみならず、土壌の流出から樹木の枯損・倒れが起り、森林が崩壊する危険性まではらんでいる。関係行政機関と連携し、継続した取組が必要である。

また、近年、宮崎県ではカシノナガキクイムシによると考えられるナラ類集団枯損被害が発生している。当保護林でも発生しており、本年度の調査でもカシノナガキクイムシと思われる穿入痕が確認されており、枯死木も発生している。カシノナガキクイムシは高齢の大径木を好んで繁殖すると言われていることから、大径木が多数存在する当保護林のカシノナガキクイムシ被害状況についても、継続的なモニタリングの必要がある。

### (3) モニタリング間隔に関する事項

モニタリング調査の実施間隔については、現時点でニホンジカによる植生被害が進んでおり、林床植生が危機的状況にあること、また、現在進行形でカシノナガキクイムシによる森林被害が発生していることを考慮すると、10年間隔では森林の状況を正確に把握できないことから、5年間隔で実施することが妥当と考えられる。その後は、モニタリング調査結果をもとに、保護林管理委員会で検討して判断していくこととする。



生態2 保護林管理方針書(案)

名称	綾森林生態系保護地域	管理(支)署	宮崎森林管理署
面積 (ha)	1,485.30ha	設定年月日	平成20年3月25日
	保存地区 : 800.45ha 保全利用地区 : 684.85ha	変更年月日	平成〇年〇月〇日
位置及び区域 (森林生態系保護地域及び生物群 集保護林においては 保存地区、保全利用地区それぞれ の位置及び区域)	宮崎県 東諸県郡 綾町 中尾、竹野前坂国有林 2041 い 林小班外 宮崎県 小林木市 柳園国有林 2047 に 林小班外		
保護・管理を図るべき 森林生態系、個体群に 関する事項	当保護林は、標高差や起伏が大きい特徴を持ち、斜面下部ではイチイガシ、ツブラジイ、ハナガガシ、タブノキなどが優先する森林が、中腹部から尾根部にかけてはイスノキ、ウラジロガシ、アカガシなどの優先する森林が広がっている。これらの森林には多様な着生植物、菌従属栄養植物、寄生植物が生育しており、種の多様性が高い照葉樹林が低標高から高標高まで連続して分布しており、日本の照葉樹林帯を代表する原生的な天然林が広がっていることから、これらを保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究などに役立つとともに、これらの森林を後世に引き継ぐこととする。 なお、本地域を含む周辺の国有林等を対象に、九州森林管理局、綾町、宮崎県、日本自然保護協会、てるのはの森の会の5者が「綾川流域照葉樹林帯保護・復元計画(綾の照葉樹林プロジェクト)」の協定を結び、照葉樹林の保護・復元を進めているところであり、その中で本地域は照葉樹林の保護を図るエリアとして位置付けられている。		
保護・管理及び利用に 関する事項	綾森林生態系保護地域の保護・管理については、平成20年3月に策定した「綾森林生態系保護地域計画」に基づき下記のとおり取り扱うこととする。 ○保存地区は、森林生態系の厳正な維持を図ることとし、次に掲げる行為を除き保存地区の森林に原則として人手を加えず、自然の推移に委ねることとする。 ア モニタリング(長期的変化の継続的観測・記録)、生物遺伝資源の利用に係る行為等、学術研究その他公益上の理由により必要と認められる行為 イ 非常災害のため応急措置として行う次の行為 (ア)山火事の消火等 (イ)大規模な林地崩壊、地すべり等の災害の復旧措置 ウ 標識類の設置、既設道路の補修等 エ その他法令等の規定に基づき行うべき行為 また、保存地区では、山菜の採集、キャンプ等は行わないよう入林者へ協力を求める必要があることから、標識の設置やハットロール等を通して入林者への協力要請に努めることとする。 ○保全利用地区は、保存地区の森林生態系に外部の環境変化の影響が直接及ばないよう、緩衝の役割を果たすこととする。 保全利用地区の森林は、木材生産を目的とする森林施業は行わないものとする。 ただし、人工林については、間伐の繰返し等により将来的に照葉樹林へ復元することを基本とする。 また、枯損木・被害木及び支障木の伐倒、並びに上記行為に伴い発生する伐採木の搬出は行うことができるものとする。 保全利用地区は、原則として保存地区に準ずる扱いとするが、自然条件等に依り森林の教育的な利用や森林レクリエーションの場としての活用を行う場合は、保全利用地区の設定趣旨に反しない範囲で行うこととし、このために必要な建物道路等の施設は設置することが出来ることとする。 <b>なお、具体的な保護・管理及び利用に関する取扱いの内容については、保護林管理委員会の意見を聞きながら、検討していくこととする。</b>		
モニタリングの実施間隔 及び留意事項	5年		
法令等に基づく指定 概況	※モニタリングの調査項目は、保護林管理委員会において検討することとする。 保安林(水源涵養・土砂流出防備・保健)、九州中央山地国定公園(特2・特3)		
その他留意事項	プロット位置情報 10501(N32°02'07.1"E131°09'54.4"),10502(N32°02'24.7"E131°12'15.6") 10503(N32°02'40.8"E131°11'56.3"),10504(N32°02'34.6"E131°12'25.7") 10505(N32°03'00.8"E131°10'41.2"),10506(N32°02'35.8"E131°11'22.6") 10507(N32°03'05.8"E131°11'07.4"),10508(N32°03'44.9"E131°11'05.5") 10509(N32°02'22.1"E131°09'39.9"),10510(N32°02'20.2"E131°10'06.2") 10511(N32°01'44.0"E131°11'25.1"),10512(N32°01'30.0"E131°11'03.0") 10513(N32°01'34.1"E131°10'32.0"),10514(N32°01'41.5"E131°10'20.0") 10515(N32°01'38.9"E131°11'16.8"),10516(N32°01'52.3"E131°11'59.2") 10517(N32°03'11.0"E131°10'10.1"),10518(N32°02'45.5"E131°09'47.3")		

林小班一覽表

区分	位置				現状	変更	摘要	
	森林計画区	森林管理署	市町村	林班	小班	面積 (ha)		面積 (ha)
保存地区	大淀川	宮崎	綾町	2042	ほ2、ち、り、ぬ	51.29		
					ほ1		18.30	旧郷土
				2043	ほ	52.39		
					い		25.12	旧郷土
				2044	に、に1、に3、ほ	44.77		
				2045	は、ほ、へ、と、ち、ぬ、る、わ	114.10		
				2046	ろ、と	53.34		
					は、は1、に、ほ、へ、ち		83.03	旧保全
				2091	た、又	30.77		(又)0.23
				2092	い、ろ、は、に、ハ	142.00		(ハ)0.37
				2093	い、い1、ろ、ろ1、は	144.04		
2094	い、と、ニ	41.30		(ニ)0.35				
小 計					674.00	126.45		
合 計					800.45			
保全利用地区	大淀川	宮崎	小林市	2047	に、に2、と、と1、ち、ち1	56.25		
				小 計		56.25	0.00	
			綾町	2041	い、ろ、は、に、ほ、へ、と、ち、り、ぬ ぬ1、ぬ2、る、わ、か、よ、た		94.26	旧郷土
					2042	へ、と	7.35	
				2043	い、ろ、は、に、ほ		40.67	旧郷土
					ろ、は、に		36.43	旧郷土
				2044	ろ、ろ1、は、に2、に4、ほ1、ち	68.33		
					い、い1、へ、へ1、と、と1、と2、と3、り り1、り2、り3、ぬ、る、わ		83.97	旧郷土
				2045	い、い1、ろ、ろ1、は1、は2、に、に1 に2、に3、に4、に5、り、り1、り2 る1、か、よ	80.21		
					2046	い、と1	4.54	
				(は、は1、に、ほ、へ、ち)		83.03	-83.03	保存へ
				2091	い1、ろ、と2、ち、り、ぬ、る、わ、か、よ	65.92		
					は、に、ほ、へ、と、と1		19.08	旧郷土
				2094	ろ、は、に、ほ、ほ1、へ、へ1、ち ち1、ち2、ち3、ち4、り、ぬ、る、る1 わ、わ1、わ2、わ3、わ4、か、か1、よ	98.65		
					2095	ほ2、ほ3、ほ4、へ、と2、ち8、ち10、り1	27.29	
				2096	は1、に1	1.90		
小 計					437.22	191.38		
合 計					684.85			
森林生態系保護地域 計					1485.30			
森林生態系保護地域 保存地区					旧 674.00	新 800.45	差 126.45	
森林生態系保護地域 保全利用地区					旧 493.47	新 684.85	差 191.38	
森林生態系保護地域 全体					旧 1167.47	新 1485.30	差 317.83	

表7 昆虫類確認種一覧

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
1	トンボ目 (蜻蛉目)	ヤンマ科	ヤブヤンマ		
2	トンボ目 (蜻蛉目)	サナエトンボ科	ダビドサナエ		
3	トンボ目 (蜻蛉目)	オニヤンマ科	オニヤンマ		
4	トンボ目 (蜻蛉目)	トンボ科	シオカラトンボ		
5	トンボ目 (蜻蛉目)	トンボ科	ウスバキトンボ		
6	ゴキブリ目 (網翅目)	オオゴキブリ科	オオゴキブリ		
7	ゴキブリ目 (網翅目)	オオゴキブリ科	エサキクチキゴキブリ		
8	ゴキブリ目 (網翅目)	チャバネゴキブリ科	クロモンチビゴキブリ		
9	ゴキブリ目 (網翅目)	チャバネゴキブリ科	ヒメクロゴキブリ		
10	ゴキブリ目 (網翅目)	チャバネゴキブリ科	キスジゴキブリ		
11	ゴキブリ目 (網翅目)	マダラゴキブリ科	マダラゴキブリ		
12	カマキリ目 (蟷螂目)	ヒメカマキリ科	ヒメカマキリ		
13	カマキリ目 (蟷螂目)	カマキリ科	ヒナカマキリ		
14	シロアリ目	ミゾガシラシロアリ科	イエシロアリ		
15	バッタ目 (直翅目)	コロギス科	ハネナシコロギス		
16	バッタ目 (直翅目)	キリギリス科	ホシササキ		
17	バッタ目 (直翅目)	キリギリス科	ミナミササキモドキ		
18	バッタ目 (直翅目)	キリギリス科	ササキモドキ		
19	バッタ目 (直翅目)	マツムシ科	マツムシモドキ		
20	バッタ目 (直翅目)	ヒシバッタ科	コバネヒシバッタ		
21	ナナフシ目 (竹節虫目)	ナナフシ科	ニホントビナナフシ		
22	ナナフシ目 (竹節虫目)	ナナフシ科	エダナナフシ		
23	カメムシ目 (半翅目)	ヒシウンカ科	オビカワウンカ		
24	カメムシ目 (半翅目)	ヒシウンカ科	ヨモギヒシウンカ		
25	カメムシ目 (半翅目)	ハネナガウンカ科	マダラハネナガウンカ		
26	カメムシ目 (半翅目)	ハネナガウンカ科	アカメガシワハネビロウンカ		
27	カメムシ目 (半翅目)	アオバハゴロモ科	アオバハゴロモ		
28	カメムシ目 (半翅目)	マルウンカ科	マルウンカ		
29	カメムシ目 (半翅目)	マルウンカ科	キボシマルウンカ		
30	カメムシ目 (半翅目)	ハゴロモ科	ベッコウハゴロモ		
31	カメムシ目 (半翅目)	ハゴロモ科	アミガサハゴロモ		
32	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	ヒメハルゼミ		
33	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	アブラゼミ		
34	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	ツクツクボウシ		
35	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	ミンミンゼミ		
36	カメムシ目 (半翅目)	セミ科	ヒグラシ		
37	カメムシ目 (半翅目)	アワフキムシ科	マダラアワフキ		
38	カメムシ目 (半翅目)	ヨコバイ科	サツマオモナガヨコバイ		
39	カメムシ目 (半翅目)	ヨコバイ科	クスサジヨコバイ		
40	カメムシ目 (半翅目)	ヨコバイ科	マエジロオオヨコバイ		
41	カメムシ目 (半翅目)	ヨコバイ科	コミミズク		
42	カメムシ目 (半翅目)	ヨコバイ科	ツماغロヨコバイ		
43	カメムシ目 (半翅目)	ヨコバイ科	ヒラタミズク		NT-g
44	カメムシ目 (半翅目)	サシガメ科	ヒゲナガサシガメ		
45	カメムシ目 (半翅目)	サシガメ科	チャイロサシガメ		
46	カメムシ目 (半翅目)	グンバイムシ科	アワダチソウグンバイ		
47	カメムシ目 (半翅目)	ヒラタカメムシ科	ヒメヒラタカメムシ		
48	カメムシ目 (半翅目)	ヒラタカメムシ科	クロヒラタカメムシ		
49	カメムシ目 (半翅目)	ヒラタカメムシ科	チャイロナガヒラタカメムシ		
50	カメムシ目 (半翅目)	ヒラタカメムシ科	ミナミヒメヒラタカメムシ		
51	カメムシ目 (半翅目)	ハナカメムシ科	ケブカハナカメムシ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
52	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	ブチヒゲクロカスミカメ		
53	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	マツノヒゲボソカスミカメ		
54	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	シオジツヤマルカスミカメ		
55	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	クロバカスミカメ		
56	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	コアカソカスミカメ		
57	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	アジアカクロカスミカメ		
58	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	ネムチビトビカスミカメ		
59	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	クロスジツヤカスミカメ		
60	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	ハナダカカスミカメ		
61	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	コモンミドリカスミカメ		
62	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	オオチャイロカスミカメ		
63	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	オオマダラカスミカメ		
64	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	ズグロマツカスミカメ		
65	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	アカスジカスミカメ		
66	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	ウスモンミドリカスミカメ		
67	カメムシ目 (半翅目)	カスミカメムシ科	ツヤカスミカメダマシ		
68	カメムシ目 (半翅目)	オオホシカメムシ科	ヒメホシカメムシ		
69	カメムシ目 (半翅目)	オオホシカメムシ科	オオホシカメムシ		
70	カメムシ目 (半翅目)	ヘリカメムシ科	ホソハリカメムシ		
71	カメムシ目 (半翅目)	ヒゲナガカメムシ科	クロスジヒゲナガカメムシ		
72	カメムシ目 (半翅目)	ヒョウタンナガカメムシ科	ウスイロナガカメムシ		
73	カメムシ目 (半翅目)	ヒョウタンナガカメムシ科	オオチャイロナガカメムシ		
74	カメムシ目 (半翅目)	ヒョウタンナガカメムシ科	チャイロナガカメムシ		
75	カメムシ目 (半翅目)	ヒョウタンナガカメムシ科	ルイスチャイロナガカメムシ		
76	カメムシ目 (半翅目)	ヒョウタンナガカメムシ科	ヨツボシヒョウタンナガカメムシ		
77	カメムシ目 (半翅目)	ヒョウタンナガカメムシ科	ホソヒョウタンナガカメムシ		
78	カメムシ目 (半翅目)	マダラナガカメムシ科	イシハラナガカメムシ		
79	カメムシ目 (半翅目)	マダラナガカメムシ科	コマダラナガカメムシ		
80	カメムシ目 (半翅目)	ホソメダカナガカメムシ科	ホソメダカナガカメムシ		
81	カメムシ目 (半翅目)	メダカナガカメムシ科	メダカナガカメムシ		
82	カメムシ目 (半翅目)	ツノカメムシ科	セアカツノカメムシ		
83	カメムシ目 (半翅目)	ツノカメムシ科	ハサミツノカメムシ		
84	カメムシ目 (半翅目)	ツノカメムシ科	エサキモンキツノカメムシ		
85	カメムシ目 (半翅目)	ツチカメムシ科	ヒメツチカメムシ		
86	カメムシ目 (半翅目)	ツチカメムシ科	ツチカメムシ		
87	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	アオクチプトカメムシ		
88	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	ツヤアオカメムシ		
89	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	クサギカメムシ		
90	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	トホシカメムシ		
91	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	ナカボシカメムシ		
92	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	エゾアオカメムシ		
93	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	ツノアオカメムシ		
94	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	チャバネアオカメムシ		
95	カメムシ目 (半翅目)	カメムシ科	オオクロカメムシ		
96	カメムシ目 (半翅目)	キンカメムシ科	アカスジキンカメムシ		
97	カメムシ目 (半翅目)	クスギカメムシ科	サジクスギカメムシ		
98	ヘビトンボ目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ		
99	アミメカゲロウ目 (脈翅目)	カマキリモドキ科	オオカマキリモドキ		
100	アミメカゲロウ目 (脈翅目)	ツノトンボ科	オオツノトンボ		
101	アミメカゲロウ目 (脈翅目)	ウスバカゲロウ科	モイワウスバカゲロウ		
102	アミメカゲロウ目 (脈翅目)	ウスバカゲロウ科	ホシウスバカゲロウ		
103	シリアゲムシ目 (長翅目)	シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
104	シリアゲムシ目 (長翅目)	シリアゲムシ科	スカシシリアゲモドキ		
105	シリアゲムシ目 (長翅目)	シリアゲムシ科	ヒメシリアゲモドキ		
106	トビケラ目 (毛翅目)	シマトビケラ科	オオシマトビケラ		
107	トビケラ目 (毛翅目)	ヒゲナガカワトビケラ科	チャバネヒゲナガカワトビケラ		
108	トビケラ目 (毛翅目)	ニンギョウトビケラ科	ニンギョウトビケラ		
109	チョウ目 (鱗翅目)	イラガ科	クロシタアオイラガ		
110	チョウ目 (鱗翅目)	マダラガ科	オキナワルリチラシ		
111	チョウ目 (鱗翅目)	セセリチョウ科	アオバセセリ		
112	チョウ目 (鱗翅目)	セセリチョウ科	クロセセリ		
113	チョウ目 (鱗翅目)	セセリチョウ科	コチャバネセセリ		
114	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	コツバメ		NT-g
115	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	サツマシジミ		
116	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	ルリシジミ		
117	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	ヤクシマルリシジミ		
118	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	スギタニルリシジミ		NT-g
119	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	キリシマミドリシジミ		NT-g
120	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	ウラギンシジミ		
121	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	ベニシジミ		
122	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	ムラサキツバメ		
123	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	ムラサキシジミ		
124	チョウ目 (鱗翅目)	シジミチョウ科	ヤマトシジミ		
125	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	テングチョウ		
126	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	アサギマダラ		
127	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	サカハチチョウ		
128	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	ツマグロヒョウモン		
129	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	ヒメアカタテハ		
130	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	イシガケチョウ		
131	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	ルリタテハ		
132	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	コミスジ		
133	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	シータテハ		NT-g
134	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	キタテハ		
135	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	アカタテハ		
136	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	クロコノマチョウ		
137	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	コジャノメ		
138	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	ヒメジャノメ		
139	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	キマダラヒカゲ		
140	チョウ目 (鱗翅目)	タテハチョウ科	ヒメウラナミジャノメ		
141	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ		
142	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ		
143	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	カラスアゲハ		
144	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	モンキアゲハ		
145	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	ミヤマカラスアゲハ		
146	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	オナガアゲハ		NT-g
147	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	ナガサキアゲハ		
148	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	クロアゲハ		
149	チョウ目 (鱗翅目)	アゲハチョウ科	アゲハ		
150	チョウ目 (鱗翅目)	シロチョウ科	ツマキチョウ		
151	チョウ目 (鱗翅目)	シロチョウ科	キタキチョウ		
152	チョウ目 (鱗翅目)	シロチョウ科	スジグロシロチョウ		
153	チョウ目 (鱗翅目)	シロチョウ科	モンシロチョウ		
154	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	キンモンノメイガ		
155	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	クロウスムラサキノメイガ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
156	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	シロヒトモンノメイガ		
157	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ツトガ		
158	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	フチムラサキノメイガ		
159	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	シロモンノメイガ		
160	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	オオキノメイガ		
161	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	オオシロモンノメイガ		
162	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ケベリハネボソノメイガ		
163	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ナカアカクルマメイガ		
164	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	コブノメイガ		
165	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	シロスジツトガ		
166	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ミツシロモンノメイガ		
167	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	フタホシノメイガ		
168	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	シロマダラノメイガ		
169	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	クロヘリキノメイガ		
170	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ヘリグロノメイガ		
171	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	キマダラクロノメイガ		
172	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	マメノメイガ		
173	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	シロテンキノメイガ		
174	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	サツマキノメイガ		
175	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ヘリジロキンノメイガ		
176	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	マエベニノメイガ		
177	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	マエウスモンキノメイガ		
178	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	マエアカスカシノメイガ		
179	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ヒロバウスグロノメイガ		
180	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ハンダクロキノメイガ		
181	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ウグイスノメイガ		
182	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ツマグロシロノメイガ		
183	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ホソスジツトガ		
184	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	シロオビノメイガ		
185	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	ヨツボシノメイガ		
186	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	フタオビモンメイガ		
187	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	クロスジノメイガ		
188	チョウ目 (鱗翅目)	ツトガ科	キンバネスジノメイガ		
189	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	ケベリトガリメイガ		
190	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	ウスムラサキシマメイガ		
191	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	ナカムラサキフトメイガ		
192	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	アカマダラメイガ		
193	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	フタスジシマメイガ		
194	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	マエジロホソマダラメイガ		
195	チョウ目 (鱗翅目)	メイガ科	ギンモンシマメイガ		
196	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	マエキカギバ		
197	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ヒトツメカギバ		
198	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	オオギンモンカギバ		
199	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	オビカギバ		
200	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	アカウラカギバ		
201	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ウスギヌカギバ		
202	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ヤマトカギバ		
203	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	オオフトカギバ		
204	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	アシベニカギバ		
205	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ヒメハイイロカギバ		
206	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ウコンカギバ		
207	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	タケウチトガリバ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
208	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ムラサキトガリバ		
209	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	オオアヤトガリバ		
210	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	カワムラトガリバ		
211	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	オオマエベントガリバ		
212	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	ホソトガリバ		
213	チョウ目 (鱗翅目)	カギバガ科	モントガリバ		
214	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	クロマダラエダシャク		
215	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	アシプトチズモンアオシャク		
216	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ナカウスエダシャク		
217	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	オオツバメエダシャク		
218	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	キムジシロナミシャク		
219	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	アマミアオナミシャク		
220	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ルリモシエダシャク		
221	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヤクシマフトスジエダシャク		
222	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヘリグロキエダシャク		
223	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウコンエダシャク		
224	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	セプトエダシャク		
225	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	マツオオエダシャク		
226	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	クロフシロエダシャク		
227	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウスアオシャク		
228	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	キヒロエダシャク		
229	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	フタテンナカジロナミシャク		
230	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	オオハガタナミシャク		
231	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウストビスジエダシャク		
232	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	オオトビスジエダシャク		
233	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	モミジツマキリエダシャク		
234	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヘリスジナミシャク		
235	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	キアミメナミシャク		
236	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ハガタナミシャク		
237	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	エグリエダシャク		
238	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ナシモンエダシャク		
239	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	キバラエダシャク		
240	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ケブカチビナミシャク		
241	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	マエモンキエダシャク		
242	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	シロシタトビイロナミシャク		
243	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウラキトガリエダシャク		
244	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウスバミスジエダシャク		
245	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヨスジキヒメシャク		
246	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ツマジロエダシャク		
247	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	スカシエダシャク		
248	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	フタホシシロエダシャク		
249	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	クロズウスキエダシャク		
250	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	バラシロエダシャク		
251	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	トビカギバエダシャク		
252	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウスクモエダシャク		
253	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	フタモントガリエダシャク		
254	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	オオマエキトビエダシャク		
255	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	エグリツマエダシャク		
256	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヨツメエダシャク		
257	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	キスジシロエダシャク		
258	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウスキツバメエダシャク		
259	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	アカモンコナミシャク		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
260	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウスアオエダシャク		
261	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヒロバウスアオエダシャク		
262	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ツマキリウスエダシャク		
263	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヤマトエダシャク		
264	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ハネナガナミシャク		
265	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ウスアオアヤシャク		
266	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	コナフキエダシャク		
267	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	クロフオオシロエダシャク		
268	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	オレクギエダシャク		
269	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	フタテンソトグロキエダシャク		
270	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	フタナミトビヒメシャク		
271	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ナカジロネグロエダシャク		
272	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	フタスジオエダシャク		
273	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	フタヤマエダシャク		
274	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ソトキクロエダシャク		
275	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ハガタムラサキエダシャク		
276	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ビロードナミシャク		
277	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	クロハグルマエダシャク		
278	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ハグルマエダシャク		
279	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	カギバアオシャク		
280	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	テンヅマナミシャク		
281	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ノコバアオシャク		
282	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	シタコバナナミシャク		
283	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	ヒロオビオオエダシャク		
284	チョウ目 (鱗翅目)	シャクガ科	モンシロツマキリエダシャク		
285	チョウ目 (鱗翅目)	ツバメガ科	キスジシロフタオ		
286	チョウ目 (鱗翅目)	ツバメガ科	ハガタフタオ		
287	チョウ目 (鱗翅目)	ツバメガ科	カバイロフタオ		
288	チョウ目 (鱗翅目)	カイコガ科	カギバモドキ		
289	チョウ目 (鱗翅目)	カレハガ科	タケカレハ		
290	チョウ目 (鱗翅目)	カレハガ科	ウスマダラカレハ		
291	チョウ目 (鱗翅目)	カレハガ科	ギンモンカレハ		
292	チョウ目 (鱗翅目)	ヤママユガ科	ヤママユ		
293	チョウ目 (鱗翅目)	ヤママユガ科	ウスタバガ		
294	チョウ目 (鱗翅目)	スズメガ科	ブドウスズメ		
295	チョウ目 (鱗翅目)	スズメガ科	ハネナガブドウスズメ		
296	チョウ目 (鱗翅目)	スズメガ科	フトオビホソバスズメ		
297	チョウ目 (鱗翅目)	スズメガ科	ホシホウジャク		
298	チョウ目 (鱗翅目)	スズメガ科	クロホウジャク		
299	チョウ目 (鱗翅目)	スズメガ科	ヒサゴスズメ		DD-2
300	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	ツマアカシャチホコ		
301	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	ホソバシャチホコ		
302	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	ツマジロシャチホコ		
303	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	ウグイスシャチホコ		
304	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	オオエグリシャチホコ		
305	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	クビワシャチホコ		
306	チョウ目 (鱗翅目)	シャチホコガ科	ナチアオシャチホコ		
307	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ハガタバニコケガ		
308	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ルリモンホソバ		NT-g
309	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	マエグロホソバ		
310	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	アカスジシロコケガ		
311	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ヒメキホソバ		



No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
312	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ムジホソバ		
313	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	キマエホソバ		
314	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ニセキマエホソバ		
315	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ヒメホシキコケガ		
316	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ウスバフタホシコケガ		
317	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	フトスジモンヒトリ		
318	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	スジモンヒトリ		
319	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	オビヒトリ		
320	チョウ目 (鱗翅目)	ヒトリガ科	ナガサキムジホソバ		
321	チョウ目 (鱗翅目)	ドクガ科	サカグチキドクガ		
322	チョウ目 (鱗翅目)	ドクガ科	ブドウドクガ		
323	チョウ目 (鱗翅目)	ドクガ科	ヤクシマドクガ		
324	チョウ目 (鱗翅目)	ドクガ科	ゴマフリドクガ		
325	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ナカジロシタバ		
326	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスベリケンモン		
327	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	クロテンヨトウ		
328	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヒメサビスジヨトウ		
329	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ツマトビコヤガ		
330	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヤマガタアツバ		
331	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスアオモンコヤガ		
332	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	シロスジツマキリヨトウ		
333	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヒトテンヨトウ		
334	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ホソバネグロヨトウ		
335	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	オオホシミヨトウ		
336	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	フタスジシマコヤガ		
337	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	シマケンモン		
338	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	イボタケンモン		
339	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ミツモンキンウワバ		
340	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ハガタクチバ		
341	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスアカヤガ		
342	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	コウスチャヤガ		
343	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヨツモンムラサキアツバ		
344	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスクロモクメヨトウ		
345	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ケンモンキリガ		
346	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスムラサキクチバ		
347	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	アカガネヨトウ		
348	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ブライヤキリバ		
349	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ナンキシマアツバ		
350	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	クロクモヤガ		
351	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヒロオビウスグロアツバ		
352	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	クロキシタアツバ		
353	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	モンキコヤガ		
354	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスズミクチバ		
355	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヤマトホソヤガ		
356	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ネジロコヤガ		
357	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	アワヨトウ		
358	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヒゲブクロアツバ		
359	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスモモイロアツバ		
360	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	シロヘリキリガ		
361	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ヨシノクマルコヤガ		
362	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	ウスグロセニジモンアツバ		
363	チョウ目 (鱗翅目)	ヤガ科	モクメクチバ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
364	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	フタスジヨトウ		
365	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	マエテンアツバ		
366	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロチャマダラキリガ		
367	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	チャマダラキリガ		
368	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	テンオビヨトウ		
369	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	オオアカマエアツバ		
370	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスベニコヤガ		
371	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハスモンヨトウ		
372	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロナヨトウ		
373	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	クロシラフクチバ		
374	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	チョウセンツマキリアツバ		
375	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ウスベニツマキリアツバ		
376	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	シロフアオヨトウ		
377	チョウ目(鱗翅目)	ヤガ科	ハネナガモクメキリガ		
378	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	ギンボシリンガ		
379	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	キノカワガ		
380	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	カバシタリンガ		
381	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	ミドリリンガ		
382	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	クロオビリンガ		
383	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	ツクシアオリンガ		
384	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	アミメリンガ		
385	チョウ目(鱗翅目)	コブガ科	ソトジロコブガ		
386	チョウ目(鱗翅目)	コバネガ科	サンダンキョウヒロコバネ		
387	チョウ目(鱗翅目)	ヒゲナガガ科	ホソフタオビヒゲナガ		
388	チョウ目(鱗翅目)	マガリガ科	ムラサキツヤマガリガ		
389	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	オオギンスジアカハマキ		
390	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	オオギンスジハマキ		
391	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	オオシロアシヒメハマキ		
392	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	クロシオハマキ		
393	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	コシロアシヒメハマキ		
394	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	センダンヒメハマキ		
395	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	チャハマキ		
396	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	トビモンコハマキ		
397	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	ナカジロハマキ		
398	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	ヒロオビヒメハマキ		
399	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	フタモンコハマキ		
400	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	ヨツメヒメハマキ		
401	チョウ目(鱗翅目)	ハマキガ科	リングコカクモンハマキ		
402	チョウ目(鱗翅目)	ヒロズコガ科	クシヒゲキヒロズコガ		
403	チョウ目(鱗翅目)	ヒロバキバガ科	ツガヒロバキバガ		
404	ハエ目(双翅目)	コガシラアブ科	セダカコガシラアブ		
405	ハエ目(双翅目)	ツリアブ科	ビロウドツリアブ		
406	ハエ目(双翅目)	ハナアブ科	ムツボシナガハナアブ		
407	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガヒラタムシ科	ナガヒラタムシ		
408	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	カワツブアトキリゴミムシ		
409	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ウスモンミズギワゴミムシ		
410	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオアオミズギワゴミムシ		
411	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオホソクビゴミムシ		
412	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	マイマイカブリ		
413	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオオサムシ		
414	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメオサムシ		
415	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	キュウシュウクロナガオサムシ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
416	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アトポシアオゴミムシ		
417	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ムナビロアトポシアオゴミムシ		
418	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ニワハンミョウ		
419	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ハンミョウ		
420	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ケナシヒラタゴミムシ		
421	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオアオモリヒラタゴミムシ		
422	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ハラアカモリヒラタゴミムシ		
423	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コハラアカモリヒラタゴミムシ		
424	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	イクビモリヒラタゴミムシ		
425	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビアカモリヒラタゴミムシ		
426	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コキノコゴミムシ		
427	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ハギキノコゴミムシ		
428	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオアオホソゴミムシ		
429	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオスナハラゴミムシ		
430	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	コヨツボシアトキリゴミムシ		
431	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ベーツホソアトキリゴミムシ		
432	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ホソアトキリゴミムシ		
433	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ベーツヒラタゴミムシ		
434	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クビソゴミムシ		
435	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	スジアオゴミムシ		
436	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヒメケゴモクムシ		
437	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ニセクロゴモクムシ		
438	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フタホシアトキリゴミムシ		
439	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フトキノカワゴミムシ		
440	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フトクチヒゲヒラタゴミムシ		
441	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	トカラコミズギワゴミムシ		
442	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	アオヘリアトキリゴミムシ		
443	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロヘリアトキリゴミムシ		
444	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ダイミョウツブゴミムシ		
445	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	カタボシホナシゴミムシ		
446	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロズホナシゴミムシ		
447	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロボシホナシゴミムシ		
448	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	フタホシスジバネゴミムシ		
449	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	モモブトナガゴミムシ		
450	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ムナビロヒメナガゴミムシ		
451	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ナガヒョウタンゴミムシ		
452	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	シラハタクロツヤヒラタゴミムシ		
453	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	クロツヤヒラタゴミムシ		
454	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	オオクロツヤヒラタゴミムシ		
455	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ヤスマツツヤヒラタゴミムシ		
456	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ムラサキオオゴミムシ		
457	コウチュウ目(鞘翅目)	オサムシ科	ルイスオオゴミムシ		
458	コウチュウ目(鞘翅目)	ゲンゴロウ科	ウスイロシマゲンゴロウ		NT-r
459	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	トゲバゴマフガムシ		
460	コウチュウ目(鞘翅目)	ガムシ科	モンケシガムシ		
461	コウチュウ目(鞘翅目)	エンマムシ科	ホソエンマムシ		
462	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	ツヤマルタマキノコムシ		
463	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	オオヒゲブトチビシデムシ		
464	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	サツマヒゲブトチビシデムシ		
465	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	オチバヒメタマキノコムシ		
466	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	キイロオオタマキノコムシ		
467	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	モモナガオオタマキノコムシ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
468	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	ホソムネコチビシデムシ		
469	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	ウスイロヒメタマキノコムシ		
470	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	チャイロヒメタマキノコムシ		
471	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシ科	カバイロコチビシデムシ		
472	コウチュウ目(鞘翅目)	シデムシ科	ベッコウヒラタシデムシ		
473	コウチュウ目(鞘翅目)	シデムシ科	オオモモフトシデムシ		
474	コウチュウ目(鞘翅目)	シデムシ科	クロシデムシ		
475	コウチュウ目(鞘翅目)	シデムシ科	ヨツボシモンシデムシ		
476	コウチュウ目(鞘翅目)	シデムシ科	コクロシデムシ		
477	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロニセトガリハネカクシ		
478	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	オオクロバネハネカクシ		
479	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ムネビロハネカクシ		
480	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ツヤケシブチヒゲハネカクシ		
481	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	チビクロセスジハネカクシ		
482	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	シワバネセスジハネカクシ		
483	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	トビイロセスジハネカクシ		
484	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ホソヒメアリヅカムシ		
485	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ハヤトナガスネアリヅカムシ		
486	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	チャバネキノコハネカクシ		
487	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ホソミズギワハネカクシ		
488	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカニセセミゾハネカクシ		
489	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ハイイロハネカクシ		
490	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ヤマオオトゲアリヅカムシ		
491	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロズトガリハネカクシ		
492	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	シャープキノコハネカクシ		
493	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ネアカトガリハネカクシ		
494	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	マメアリヅカムシ		
495	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	オニマメアリヅカムシ		
496	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	チビドウガネハネカクシ		
497	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ツノフトツハネカクシ		
498	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ		
499	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	フタイロコガシラハネカクシ		
500	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	キアシチビコガシラハネカクシ		
501	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	アカバハネカクシ		
502	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロツヤハネカクシ		
503	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロゲヒメキノコハネカクシ		
504	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	オオヒメキノコハネカクシ		
505	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	クロヒメキノコハネカクシ		
506	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ココロメダカハネカクシ		
507	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ニセヤマトマルクビハネカクシ		
508	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	マルムネアリヅカムシ		
509	コウチュウ目(鞘翅目)	ハネカクシ科	ナミエンマアリヅカムシ		
510	コウチュウ目(鞘翅目)	センチコガネ科	オオセンチコガネ		
511	コウチュウ目(鞘翅目)	センチコガネ科	センチコガネ		
512	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	ネプトクワガタ		
513	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	マダラクワガタ		NT-r
514	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	スジクワガタ		
515	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	コクワガタ		
516	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	アカアシクワガタ		
517	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	ミヤマクワガタ		
518	コウチュウ目(鞘翅目)	クワガタムシ科	ノコギリクワガタ		
519	コウチュウ目(鞘翅目)	アカマダラセンチコガネ科	アカマダラセンチコガネ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
520	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コイチャコガネ		
521	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	オオスジコガネ		
522	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ドウガネブイブイ		
523	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	サクラコガネ		
524	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒラタアオコガネ		
525	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒメコガネ		
526	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	チャグロマグソコガネ		
527	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	セマダラコガネ		
528	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	アオハナムグリ		
529	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ゴホンダイコクコガネ		
530	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コヒゲシマビロウドコガネ		
531	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ナガチャコガネ		
532	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ヒゲナガクロコガネ		
533	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ビロウドコガネ		
534	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マルガタビロウドコガネ		
535	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	サツマコフキコガネ		
536	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	タケムラスジコガネ		
537	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	クリイロコガネ		
538	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ワタリビロウドコガネ		
539	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ハラゲビロウドコガネ		
540	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	コブマルエンマコガネ		
541	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	フトカドエンマコガネ		
542	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	ツヤエンマコガネ		
543	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マメダルマコガネ		
544	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	オオキイロコガネ		
545	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	マメコガネ		
546	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	セスジカクマグソコガネ		
547	コウチュウ目(鞘翅目)	コガネムシ科	キュウシュウオオトラフコガネ		
548	コウチュウ目(鞘翅目)	タマキノコムシモドキ科	ニホンタマキノコムシモドキ		
549	コウチュウ目(鞘翅目)	マルハナノミ科	ルイスキムネマルハナノミ		
550	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	クロナガタマムシ		
551	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ブドウナガタマムシ		
552	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ツヤゲシナガタマムシ		
553	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ウグイスナガタマムシ		
554	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ミツボシナガタマムシ		
555	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ウエノナガタマムシ		
556	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	アオグロナガタマムシ		
557	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	ヤクシマナガタマムシ		
558	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	アヤムネスジタマムシ		
559	コウチュウ目(鞘翅目)	タマムシ科	シロウズヒラタチビタマムシ		
560	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキダマシ科	フチトリコメツキダマシ		
561	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキダマシ科	ミナミヒメミゾコメツキダマシ		
562	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキダマシ科	ホソナガコメツキダマシ		
563	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲブトコメツキ科	ナガヒゲブトコメツキ		
564	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲブトコメツキ科	チャイロヒゲブトコメツキ		
565	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	シロオビチビサビキコリ		
566	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒメホソキコメツキ		
567	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ムナビロサビキコリ		
568	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒメクロコメツキ		
569	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	アカハラクロコメツキ		
570	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	クロコメツキ		
571	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	アカアシクロコメツキ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
572	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ツماغロコメツキ		
573	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	アカコメツキ		
574	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ケブカクロコメツキ		
575	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ホソハナコメツキ		
576	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	フタモンウバタマコメツキ		
577	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	オオハナコメツキ		
578	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	キバネホソコメツキ		
579	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	キバネクチボソコメツキ		
580	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	クチボソコメツキ		
581	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	フトツヤハダコメツキ		
582	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	チャイロコメツキ		
583	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ホソツヤケシコメツキ		
584	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒメクロツヤハダコメツキ		
585	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	クロツヤハダコメツキ		
586	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	クロアメイロコメツキ		
587	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	オオサビコメツキ		
588	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	コガタノサビコメツキ		
589	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ハネアカカネコメツキ		
590	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ムネアカツヤケシコメツキ		
591	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ニホンツヤケシコメツキ		
592	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒラタクロクシコメツキ		
593	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	コガタクシコメツキ		
594	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	クシコメツキ		
595	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ナルカワナガクシコメツキ		
596	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ナガチャクシコメツキ		
597	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒゲナガコメツキ		
598	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	オオナガコメツキ		
599	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒメクロナガコメツキ		
600	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	クロオオヒラタコメツキ		
601	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒゲコメツキ		
602	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	クリイロアシプトコメツキ		
603	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ニホンチビマメコメツキ		
604	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	タカクラチビマメコメツキ		
605	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ミヤコアラハダチャイロコメツキ		
606	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	アラハダチャイロコメツキ		
607	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	シリプトヒラタコメツキ		
608	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	トビイロクチボソコメツキ		
609	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヒラタクシコメツキ		
610	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	オオクシヒゲコメツキ		
611	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヘリムネマメコメツキ		
612	コウチュウ目(鞘翅目)	コメツキムシ科	ヘリマメコメツキ		
613	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ムネアカクロジョウカイ		
614	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ミエコジョウカイ		
615	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	セボシジョウカイ		
616	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	マルムネジョウカイ		
617	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	クリイロジョウカイ		
618	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイボン科	ニシジョウカイボン		
619	コウチュウ目(鞘翅目)	ホタル科	カタモンミナミボタル		
620	コウチュウ目(鞘翅目)	ホタル科	オオオバボタル		
621	コウチュウ目(鞘翅目)	ホタル科	オバボタル		
622	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	ムナビロカッコウムシ		
623	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	クロフアシナガカッコウムシ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
624	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	キオビナガカッコウムシ		
625	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	クリイロカッコウムシ		
626	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	ルリホソカッコウムシ		
627	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	キムネツツカッコウムシ		
628	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	アリモドキカッコウムシ		
629	コウチュウ目(鞘翅目)	カッコウムシ科	イガラシカッコウムシ		
630	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイモドキ科	ヒロオビジョウカイモドキ		
631	コウチュウ目(鞘翅目)	ジョウカイモドキ科	ヒメジョウカイモドキ		
632	コウチュウ目(鞘翅目)	ムクゲクスイ科	アカグロムクゲクスイ		
633	コウチュウ目(鞘翅目)	ムクゲクスイ科	オオムクゲクスイ		
634	コウチュウ目(鞘翅目)	ムクゲクスイ科	クリイロムクゲクスイ		
635	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒメキノコムシ科	マルヒメキノコムシ		
636	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ツマグロヒメコメツキモドキ		
637	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	シリグロオオキノコムシ		
638	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ヒメオビオオキノコムシ		
639	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ミヤマオビオオキノコムシ		
640	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ミヤマオビオオキノコムシ		
641	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ルイスコメツキモドキ		
642	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ヒゴノムネビロオオキノコムシ		
643	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ベニモンムネビロオオキノコムシ		
644	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	フタオビチビオオキノコムシ		
645	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ミツボシチビオオキノコムシ		
646	コウチュウ目(鞘翅目)	オオキノコムシ科	ハラアカチビオオキノコムシ		
647	コウチュウ目(鞘翅目)	ネスイムシ科	ニセケブカネスイ		
648	コウチュウ目(鞘翅目)	クスイムシ科	ヒゲトクスイ		
649	コウチュウ目(鞘翅目)	ホソヒラタムシ科	フタトゲホソヒラタムシ		
650	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒラタムシ科	ベニヒラタムシ		
651	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒラタムシ科	クロムネキカワヒラタムシ		
652	コウチュウ目(鞘翅目)	ツツヒラタムシ科	ツツヒラタムシ		
653	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシクスイ科	カクアシヒラタケシクスイ		
654	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシクスイ科	マメヒラタケシクスイ		
655	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシクスイ科	クロヒラタケシクスイ		
656	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシクスイ科	アカマダラケシクスイ		
657	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシクスイ科	ネアカマルケシクスイ		
658	コウチュウ目(鞘翅目)	ケシクスイ科	クロモンカクケシクスイ		
659	コウチュウ目(鞘翅目)	ムキヒゲホソカタムシ科	ミスジホソカタムシ		
660	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシダマシ科	トウヨウダナエテントウダマシ		
661	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシダマシ科	キスジテントウダマシ		
662	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシダマシ科	タイワンオオテントウダマシ		
663	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	アミダテントウ		
664	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ムーアシロホシテントウ		
665	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	シロジュウシホシテントウ		
666	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	フタホシテントウ		
667	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ヨツボシテントウ		
668	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ハレヤヒメテントウ		
669	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	ベニヘリテントウ		
670	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	バイゼヒメテントウ		
671	コウチュウ目(鞘翅目)	テントウムシ科	クロツヤテントウ		
672	コウチュウ目(鞘翅目)	コキノコムシ科	コマダラコキノコムシ		
673	コウチュウ目(鞘翅目)	キノコムシダマシ科	モンキナガクチキムシ		
674	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	フタオビホソナガクチキ		
675	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	モリモトヒメナガクチキ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
676	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	アヤモンヒメナガクチキ		
677	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	トゲムネツツナガクチキ		
678	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	アオバナナガクチキ		
679	コウチュウ目(鞘翅目)	ナガクチキムシ科	クロホソナガクチキ		
680	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナノミ科	オオキボシハナノミ		
681	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナノミ科	ニセキボシハナノミ		
682	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナノミ科	シラホシハナノミ		
683	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナノミ科	アラキハナノミ		
684	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナノミ科	チャオビヒメハナノミ		
685	コウチュウ目(鞘翅目)	アトコブゴミムシダマシ科	ノコギリホソカタムシ		
686	コウチュウ目(鞘翅目)	アトコブゴミムシダマシ科	ヒサゴホソカタムシ		
687	コウチュウ目(鞘翅目)	アトコブゴミムシダマシ科	サシゲホソカタムシ		
688	コウチュウ目(鞘翅目)	アトコブゴミムシダマシ科	ダルマチビホソカタムシ		
689	コウチュウ目(鞘翅目)	アトコブゴミムシダマシ科	ツヤナガヒラタホソカタムシ		
690	コウチュウ目(鞘翅目)	アトコブゴミムシダマシ科	メダカヒメヒラタホソカタムシ		
691	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ウスイロクチキムシ		
692	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	コブスジツノゴミムシダマシ		
693	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	キイロクチキムシ		
694	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	クロホシテントウゴミムシダマシ		
695	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	クロホソゴミムシダマシ		
696	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ハムシダマシ		
697	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ナガハムシダマシ		
698	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	キイロチビゴミムシダマシ		
699	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	サツマヒサゴゴミムシダマシ		
700	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	マルツヤキノコゴミムシダマシ		
701	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	キマワリ		
702	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ヒメニシキマワリモドキ		
703	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ウスイロゴミムシダマシ		
704	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	クロナガキマワリ		
705	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	ニジゴミムシダマシ		
706	コウチュウ目(鞘翅目)	ゴミムシダマシ科	モトヨツコブゴミムシダマシ		
707	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリモドキ科	アオグロカミキリモドキ		
708	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリモドキ科	シリナガカミキリモドキ		
709	コウチュウ目(鞘翅目)	ツチハンミョウ科	キイロゲンセイ		
710	コウチュウ目(鞘翅目)	チビキカワムシ科	ドウチビキカワムシ		
711	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	クロチビアリモドキ		
712	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	アトグロホソアリモドキ		
713	コウチュウ目(鞘翅目)	アリモドキ科	アカホソアリモドキ		
714	コウチュウ目(鞘翅目)	ハナノミダマシ科	タケイフナガタハナノミ		
715	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ニセビロウドカミキリ		
716	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ウスバカミキリ		
717	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	キマダラカミキリ		
718	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ツヤゲシハナカミキリ		
719	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ミヤマクロハナカミキリ		
720	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クワカミキリ		
721	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	シロスジカミキリ		
722	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヨコヤマヒメカミキリ		
723	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	エグリトラカミキリ		
724	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	フタオビミドリトラカミキリ		
725	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	タキグチモモプトホソカミキリ		
726	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	トゲヒゲトラカミキリ		
727	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ホタルカミキリ		



No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
728	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ホソカミキリ		
729	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	リュウブモモブトヒメコバナカミキリ		
730	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	コゲチャヒラタカミキリ		
731	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヤツメカミキリ		
732	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ガロアケシカミキリ		
733	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	アトモンマルケシカミキリ		
734	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	リュウキュウルリボシカミキリ		
735	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ゴマダラモモブトカミキリ		
736	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	キバナニセハムシハナカミキリ		
737	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	カタシロゴマフカミキリ		
738	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ナガゴマフカミキリ		
739	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クワサビカミキリ		
740	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ドイカミキリ		
741	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒゲナガカミキリ		NT-r
742	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒメヒゲナガカミキリ		
743	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	サツمامネスジウスバ		
744	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	サツマリンゴカミキリ		
745	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	オオシロカミキリ		
746	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ベニバナハナカミキリ		
747	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ニンフホソハナカミキリ		
748	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	タテジマホソハナカミキリ		
749	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	セダカコブヤズカミキリ		NT-r
750	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ニセシラホシカミキリ		
751	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	キイロアラゲカミキリ		
752	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	チャイロヒメハナカミキリ		
753	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	トサヒメハナカミキリ		
754	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	イヨヒメハナカミキリ		NT-r
755	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒミコヒメハナカミキリ		
756	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	フタオビヒメハナカミキリ		
757	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ナガバヒメハナカミキリ		
758	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ニセノコギリカミキリ		
759	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	キボシカミキリ		
760	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ワモンサビカミキリ		
761	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒメナガサビカミキリ		
762	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クスベニカミキリ		
763	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ホンドニセハイイロハナカミキリ		
764	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	セミスジコブヒゲカミキリ		
765	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ヒトオビアラゲカミキリ		
766	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ルリボシカミキリ		
767	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	クロカミキリ		
768	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	アメイロカミキリ		
769	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	キボシチビカミキリ		
770	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ムモンチャイロホソバナカミキリ		NT-r
771	コウチュウ目(鞘翅目)	カミキリムシ科	ニイジマトラカミキリ		
772	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キクビアオハムシ		
773	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	トゲアシトビハムシ		
774	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ムナグロツヤハムシ		
775	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	セモンジンガサハムシ		
776	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤナギハムシ		
777	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	カシワツツハムシ		
778	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヒゴトゲハムシ		
779	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	タケトゲハムシ		

No.	目	科	種名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
780	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	チビカサハラハムシ		
781	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	マダラアラゲサルハムシ		
782	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	カサハラハムシ		
783	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ニセキバラヒメハムシ		
784	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ズグロアカハムシ		
785	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	クルミハムシ		
786	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ヤマイモハムシ		
787	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	セアカケブカサルハムシ		
788	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	ルリナガスネトビハムシ		
789	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	キボシルリハムシ		
790	コウチュウ目(鞘翅目)	ハムシ科	イチモンジカメノコハムシ		
791	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒゲナガゾウムシ科	ウンモンヒゲナガゾウムシ		
792	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	チャイロチョッキリ		
793	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ウスモンオトシブミ		
794	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ヒメクロオトシブミ		
795	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	イタヤハマキチョッキリ		
796	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	アカクビナガオトシブミ		
797	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	コナライクビチョッキリ		
798	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ホソチョッキリ		
799	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	キアシホソチョッキリ		
800	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ヒゲナガオトシブミ		
801	コウチュウ目(鞘翅目)	オトシブミ科	ゴマダラオトシブミ		
802	コウチュウ目(鞘翅目)	ミツギリゾウムシ科	ミツギリゾウムシ		
803	コウチュウ目(鞘翅目)	ミツギリゾウムシ科	ムツモンミツギリゾウムシ		
804	コウチュウ目(鞘翅目)	ミツギリゾウムシ科	ツヤヒメミツギリゾウムシ		
805	コウチュウ目(鞘翅目)	オサゾウムシ科	オオゾウムシ		
806	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	オビモンヒョウタンゾウムシ		
807	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	サビクチフトゾウムシ		
808	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	マルオナガキクイムシ		
809	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ツバキシギゾウムシ		
810	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	マダラアシゾウムシ		
811	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アシナガオニゾウムシ		
812	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	アラムネクチカクシゾウムシ		
813	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	カシワクチフトゾウムシ		
814	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	コクロアナアキゾウムシ		
815	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ケブカキクイムシ		
816	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ミカドキクイムシ		
817	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	クロツブゾウムシ		
818	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	ルイスザイノキクイムシ		
819	コウチュウ目(鞘翅目)	ゾウムシ科	サクキクイムシ		
820	ハチ目(膜翅目)	アリ科	アシナガアリ		
821	ハチ目(膜翅目)	アリ科	クロオオアリ		
822	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ミカドオオアリ		
823	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ムネアカオオアリ		
824	ハチ目(膜翅目)	アリ科	トゲズネハリアリ		
825	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ハヤシクロヤマアリ		
826	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ニセハリアリ		
827	ハチ目(膜翅目)	アリ科	オオハリアリ		
828	ハチ目(膜翅目)	アリ科	アメイロアリ		
829	ハチ目(膜翅目)	アリ科	トゲアリ	VU	
830	ハチ目(膜翅目)	アリ科	テラニシハリアリ		
831	ハチ目(膜翅目)	アリ科	ウロコアリ		

No.	目	科	種 名	環境省 レッドリスト (2017)	宮崎県 レッドリスト (2015)
832	ハチ目（膜翅目）	アリ科	タテナシウメマツアリ		
833	ハチ目（膜翅目）	ドロバチ科	カタグロチビドロバチ		
834	ハチ目（膜翅目）	スズメバチ科	ヒメホソアシナガバチ		
835	ハチ目（膜翅目）	スズメバチ科	ヒメスズメバチ		
836	ハチ目（膜翅目）	スズメバチ科	オオスズメバチ		
837	ハチ目（膜翅目）	スズメバチ科	キイロスズメバチ		
838	ハチ目（膜翅目）	スズメバチ科	クロスズメバチ		
839	ハチ目（膜翅目）	ミツバチ科	スジボソコシブトハナバチ		
840	ハチ目（膜翅目）	ミツバチ科	ニホンミツバチ		
841	ハチ目（膜翅目）	ハキリバチ科	ヤノトガリハナバチ		
	15 目	135 科	841 種	1	14

有識者 聞き取り対象者

河野耕三氏（維管束植物、植物群落）

西邦雄氏（陸産貝類）

動植物資料調査 参考文献・資料一覧

No.	文献・資料名	発行者	発行年	入手先・保存先
1	綾照葉樹林の生態系調査業務委託 調査報告書	宮崎県	平成16年	岩切環境技研 株式会社所蔵
2	平成18年度綾川上流照葉樹林森林環境 基礎調査 報告書	九州森林 管理局	平成19年	九州森林管理局
3	綾森林生態系保護地域計画	九州森林 管理局	平成20年	九州森林管理局
4	平成22年度綾森林生態系保護地域 保全管理計画策定のための基礎資料 調査報告書	九州森林 管理局	平成23年	九州森林管理局
5	平成23年度綾川上流における保護林 モニタリング等調査 報告書	九州森林 管理局	平成24年	九州森林管理局
6	平成24・25年度綾ユネスコエコパーク 生物生育・生息基礎調査 報告書	綾生物多様性 協議会	平成26年	綾町ユネスコ エコパーク推進室
7	平成28年度保護林モニタリング調査業務 報告書	九州森林 管理局	平成29年	九州森林管理局
8	平成28年度綾森林生態系保護地域 保存地域拡張検討基礎調査 報告書	綾町ユネスコ エコパーク 推進室	平成29年	綾町ユネスコ エコパーク推進室
9	モニタリングサイト1000 (森林・草原調査 繁殖鳥類調査)	環境省自然環境局 生物多様性センター	平成18-26年度	環境省 生物多様性センター
10	みやざきの自然12号 みやざきの森林植生(12) 大森岳南東稜山塊の植生 河野耕三著	坂元守雄	平成4年	岩切環境技研 株式会社所蔵
11	タテハモドキNo.1-52	宮崎昆虫同好会	昭和41年～ 平成28年	岩切環境技研 株式会社所蔵
12	綾山系の植物(概要)(目録) 宮崎植物研究会誌第11号	宮崎植物研究会	平成21年	岩切環境技研 株式会社所蔵